

# 平成21年度 事務事業評価結果一覧表

(評価対象 20年度)

新温泉町

## 【目次】

1	《自立と協働》人と人との豊かな関係づくり	1
2	《安心》安心な暮らしづくり	17
3	《誇り・生きがい》こころ豊かな人づくり	40
4	《活力》豊かな地域産業づくり	61
5	《快適・生活環境》住みたくなる環境づくり	74

## 【表の見方】

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円					必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費 一般財源	人件費									
	事務事業名 担当課名	事務事業の目的を「対象」…事業を通して働きかける相手と「意図」…対象をどのような状態にしたいかに分けて記載しています。		18	「総事業費」=事業費+人件費 「一般財源」=事業費のうち特定財源を除いた額 「人件費」=業務割合×平均単価 18・19・20年度…決算額 21年度…予算額 ただし、段階的に事務事業評価を導入したため、19年度以前			「指標1」…各年度ごとの成果指標(実績)を記載しています。ただし、段階的に事務事業評価を導入したため、19年度以前の指標は空欄としている事業あり。 「指標2」…指標が2つある場合に		一次評価結果の内容 個別評価「必要性・有効性・達成度・効率性」と総合評価を記載して					一次評価結果の内容を次により記載しています。 「区分」…21年度以降の方向性を「廃止・休止・抜本的見直し・内容拡大・内容縮小・事業のやり方改善・継続・終了」の区分により記載しています。 「改革・改善案」…評価に基づき、課題等に対する改善・改革内容を記載しています。	
				21				成果指標 の単位	成果指標 の単位	二次評価結果の内容を記載しています。 「総合評価」「区分」「改革・改善案」						

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案	
					総事業費	事業費	一般財源	人件費										
政策	1<<自立と協働>>人と人との豊かな関係づくり																	
施策	1-1住民が積極的に社会活動に参加するまちづくり																	
基本	1-1(1)①住民に分かりやすい情報を提供します																	
111101	広報活動事業	町民、ホームページ閲覧者	町の情報を定期的に分かりやすく町民に提供することで、町に対する理解と協力を得る。知りたい行政情報を得ることができる。	18	13,714	5,322	5,322	8,392	広報誌を読んでいる町民の割合	HPアクセス件数	230295	4	4	4	4	A	継続	広報に関連する予算が年々削減されている中で、効率的に効果を発揮できる広報活動が必要である。
				19	11,970	3,578	3,578	8,392			236178							
	20			12,181	3,789	3,789	8,392	222732										
	21			13,358	4,966	4,966	8,392	%	件									
	企画課																	
111102	予算テキスト作成事業	町民	町の予算、仕事内容を理解してもらう	18					区長・町内会長便配布率	100		4	4	4	4	A	継続	引き続き解りやすい予算テキストの発行に努める。
				19							100							
	20			864	205	205	659	100										
	21			883	224	224	659	%										
	企画課																	
111103	CATV自主放送	ケーブルテレビ加入者	行政情報、町の行事等を自主放送番組として制作し、温泉地域住民に情報伝達を行う。視覚障害者に対し、文字(無音声)放送番組による情報伝達を行う。	18					放送回数(5ch)	リクエスト回数		4	4	-	4	A	継続	ダビングサービスの導入など、情報伝達の方法を検討する。
				19														
	20			10,634			10,634	5760			6559							
	21			10,634			10,634	回	回									
	CATV事業室																	
111104	出前講座	町民	「情報公開」「説明責任」を柱に住民の皆様への町政に対する理解と信頼を深めることで、町民の皆さんとの参画と協働によるまちづくりを実践する	18	659			659	実施回数	12	参加人数	4	4	4	4	A	継続	行政の仕事を直接町民に説明する制度であり、町民の行政に対する理解を深めることができる機会であるとともに、制度に対する町民の生の声を聞くことのできる機会でもある。今後もメニューを充実させ、事業を継続する。
				19	659			659										
	20			659			659	18										
	21			659			659	回	人									
	企画課																	
基本	1-1(1)②住民の声を積極的に聴取します																	
111201	選挙管理委員会事務	選挙管理委員会委員	選挙事務に関する議案を審議及び議決し、公正な選挙の執行について管理する。	18	1,281			1,281	議決率	100		4	4	4	3	A	継続	行革実施計画に掲げる項目(投票区見直し)について、慎重に検討する。
				19	1,603	322	322	1,281			100							
	20			2,411	313	313	2,098	100										
	21			2,438	340	340	2,098	%										
	総務課																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費									
111207	選挙執行事務(但馬海区漁業調整委員会委員選挙)	有権者	公正な選挙執行、投票率の向上	18					投票率	選挙時のトラブル件数	4	4	4	4	A	終了	4年に1度、事務を行う必要がある。
				19													
	20			832	113		719										
	21							%	件								
	総務課																
111208	選挙執行事務(農業委員会委員選挙)	有権者	公正な選挙執行、投票率の向上	18					投票率	選挙時のトラブル件数	4	4	4	3	A	終了	3年に1度、事務を行う必要がある。
				19													
	20			4,107	2,249	2,249	1,858	81.92									
	21							%	件								
	総務課																
111209	選挙執行事務(湯財産議会議員選挙)	有権者	公正な選挙執行、投票率の向上	18					投票率	選挙時のトラブル件数	4	4	4	4	A	終了	4年に1度、事務を行う必要がある。
				19													
	20			1,259			1,259	-									
	21							%	件								
	総務課																
111211	選挙啓発事業	有権者	・有権者等の政治・選挙への関心を高め、投票率の向上を図る。 ・選挙違反のない明るい正しい選挙を実現する。	18					投票率	選挙違反件数	4	4	4	3	A	継続	引き続き、明るい選挙推進協議会による啓発活動、ポスター募集等を実施し、選挙時には、走ろう会による啓発マラソンを実施する。
				19	172	111	111	61									
	20			708	49	49	659										
	21							%	件								
	総務課																
基本	1-1(2)①住民の参画と協働を進めます																
112101	協働まちづくり委員会	委員 12名	参画と協働のまちづくりを進めるための意見交換をするとともに、新温泉町住民参画と協働の推進指針、自治基本条例制定に取り組む。	18					協働まちづくり委員会		4	4	4	4	A	継続	新温泉町住民参画と協働の推進指針、自治基本条例制定に取り組む。
				19	3,651	55	55	3,596									
	20			3,719	123	123	3,596	4									
	21			4,336	740	740	3,596										
	企画課																

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
基本	1-1(2)②自主活動団体等を支援します																	
112201	新温泉町自治連合会等活動促進	自治連合会組織	自治連合会事務局として、各区、町内会等の活動をサポートすることにより、健全なコミュニティの育成と活性化を図る。	18												事業のやり方改善	事務局としての町の関わり方を整理(軽減)しながら、組織内における事業実施のあり方を検討する。いずれは各支部活動には事務局が全く関わらない形の運営を目指す(会則にこだわらず、合同で行う事業の数を増やすことで、活動の面では、1つの組織として、認識できる形に導きたい。	
				19	2,331	501	501	1,830			4	4	2	2	B			
	20			1,400	501	501	899											
	21																	
	総務課																	
112204	新温泉町婦人会育成事業	婦人会会員	婦人会活動が継続できる財政基盤の確立と、事務局の自主運営。婦人会員が主体的に活動し、社会的な貢献を行うとともに自ら達成感・充実感を実感する。	18												事業のやり方改善	婦人は地域づくりに大切な役割を担っていることを認識するとともに、自信を持って活動できることや、達成感や満足感を得るようにすることが必要である。また、行政・各種審議会等においても婦人会の参画・協力は大きなウエイトを占めており、行政・まちづくりの立場からも重要な組織である。補助金は確保するが、事務局を自主運営できるよう支援する。	
				19	1,209	294	294	915	実施事業数	2	事業参加数	85	4	4	3			2
	20			1,542	344	344	1,198		2		88							
	21			1,543	345	345	1,198	件		人								
	社会教育課																	
112205	新温泉町子ども会育成事業	子ども会会員	子ども会会員の交流、親睦、図り、子ども会の健全な発展を推進する。	18												継続	地域間により子ども会組織の体制、役員の選出方法が違うため、本会活動に対する意識にも差が現れる。選出方法をできる限り揃えられるよう調整していきたい。スポーツ活動において、地元のクラブチーム活動が盛んな地区はそちらを優先し、子ども会活動への参加については消極的な姿勢が見られる。ねらいとするところが違うことを理解してもらい、子ども会活動へも参加していただけるよう呼びかけていきたい。学校からの協力、地区住民からの理解を得るため、会報を全戸配布するなど、積極的な広報活動を行っていきたい。	
				19					参加者数(延べ数)									
	20			2,764	276	276	2,488		2226									
	21			2,764	276	276	2,488	人										
	浜坂公民館																	
基本	1-1-(3)①住民の声が届く議会をめざします																	
113101	議会運営事務	議員・執行部	議会会議規則等に添った適正かつ円滑な議会運営	18												継続	今後も継続実施し、活発で開かれた議会運営を行う	
				19					議決件数		一般質問							
	20			4,795			4,795		132		41							
	21			4,795			4,795	件		人								
	議会事務局																	
113102	会議録作成事務	町民と議会のため	会議の記録を正確に保存する	18												内容拡大	事業の拡大(本会議に加え委員会の会議録を調製する)	
				19	2,897	2,897	2,897		会議録		閲覧回数							
	20			6,384	2,788	2,788	3,596		7									
	21			7,424	3,828	3,828	3,596	冊		件								
	議会事務局																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
113103	議会だより発行事務	住民	議会定例会・各委員会の議会活動を住民が知ることができる	18					発行部数 部		4	4	4	4	A	継続	親しまれる議会広報を目指し、発行の迅速化に努め、会議の内容をより判りやすく伝えようと、写真、活字等の工夫をしていく。
				19													
	20			2,168	669	669	1,499										
	21			2,216	717	717	1,499										
	議会事務局																
113104	議員視察研修事務	議員	先進地視察により円滑な議会・委員会運営がなされる。	18					参加人数 人	事業に反映された件数 件	4	4	2	4	B	事業のやり方改善	研修目的・内容等を早い時期に協議し、計画・実施したい
				19													
	20			1,094	195	195	899										
	21			806	806	806											
	議会事務局																
政策	1-2健全な行財政を運営するまちづくり																
基本	1-2(1)①公正でシステム化した事務処理に努めます																
121102	議会(議案)に関する事務	議会議員	議会開催に係る一連の法定事務であり、議会開催の円滑化を図る。	18	2,928			2,928	議案件数 件	議案訂正回数 回	4	4	4	3	A	継続	議案審査事務は専門的知識を必要とするため、研修などの活用により担当職員の資質向上を図る。
				19	2,928			2,928									
	20			4,316			4,316	108									
	21																
	総務課																
121103	文書の收受・発送・配布等事務	町民、職員	文書の適正な收受および配布	18					誤配件数 件		4	4	4	4	A	継続	①合併前より試験的に導入している簿冊管理、文書保管システムを有効に活用できていない点が改善の余地があるか検証が必要。②それ以前に、大量に保管保存されている各書庫内の整理(廃棄を含む。)を行うことも必須。③本庁支所便のあり方は、定期的に検証する必要あり。④個人宛での通知等を区長・町内会長配達で行う傾向がみられたが、色々な問題点が浮上り、H21年度より直送に変更する。※経費は増加。道義的な観点での適正化。
				19													
	20			17,100	11,874	11,874	5,226										
	21			9,990	4,764	4,764	5,226										
	総務課																
121104	例規整備	職員、町民	例規集のデータ化により、町民が閲覧しやすくし、職員も検索しやすい状態にする。	18					年間更新件数 回		4	4	4	4	A	継続	引き続き、例規のデータ更新及び例規集の加除を行う。
				19	4,427	4,305	4,305	122									
	20			3,469	3,169	3,169	300	1									
	21			3,520	3,220	3,220	300										
	総務課																

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段：一次評価、下段：二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円					必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源									
121105	行政手続事務	・行政運営における公正、透明性 ・町民の権利利益	・行政運営における公正の確保と、透明性の向上 ・町民の権利利益の保護	18						4	4	1	1	C	抜本的見直し	行政手続条例に基づき、各種事務を想定すると、現存する事務の中で、同条例の適用を受ける事務は「存在しない」とも受け取れるが、例えば新たに発生する事務事業で、関連条例等が制定されるまでの間は、一般的な手続きにおいて、同条例の適用を受けることになると言える。事業に特化して手続きを定める条例がない場合でも、同条例により手続きを行う責務、義務があることを、職員全体に周知し、同条例の手続きに関する規定を意識させることも課題の1つである。日々、事務処理を遅滞なく行うよう意識啓発を行うことが、目的達成につながる。
	19															
	20			300			300									
	21															
	総務課													B	事業のやり方改善	職員向けのテキスト等を作って、研修等を行い周知徹底に努める。
121106	行政相談事務	相談委員	行政相談委員を支援し相談を受けやすい環境を整える。	18						4	4	4	4	A	継続	国の制度に基づく相談委員であるため、係わりの程度が課題となるが、町民にとって身近なところで相談の機会が確保されるよう、引き続き行政相談委員を支援していく。
	19			203	20	20	183									
	20			380	20	20	360									
	21			390	30	30	360									
	総務課															
121107	秘書業務	町長、副町長	町政運営のために必要な調整、交渉等が円滑に遂行できる。	18						4	4	3	3	A	継続	・スケジュール管理の一元化を検討する(例:手書きの台帳をExcelに入力し、共通フォルダに保存して、全庁で共有) ・町長交際費の適正支出 ・スケジュール管理以外の日常的秘書業務及び栄典に関する業務については、事務改善を意識しながら業務にあたる。 ※スケジュール調整及び管理業務は、調整件数によって評価できるものではないが、他市町の例をみると、調整件数を数値化しておくことも必要かと考えている。やり方を改善する余地はある。
	19			2,074			2,074									
	20			2,158			2,158									
	21															
	総務課															
121108	自動車管理業務	公用車利用者	安全・確実に目的地に移動させる。	18						4	4	4	4	A	継続	車両の維持管理経費の節減に努める。日常点検を励行し、車両の異常の早期発見に努める。
	19															
	20			24,340	3,061	3,061	21,279									
	21			26,062	4,783	4,783	21,279									
	総務課															
121109	情報公開・個人情報保護事務	町民等	職員の意識向上を図るとともに、情報公開制度、個人情報保護制度の適正な管理運用を行うことにより、行政が町民から信頼される関係を構築する。	18						4	4	4	4	A	継続	行政の姿勢として公開すべき部分は公開し、保護すべき部分は保護する2つの姿勢を明確にし、知る権利と守られるべき権利保護につとめ、透明性のある事務事業執行をこころがけ、町民から信頼される行政をめざす。意識啓発、意識向上のためにも、平成22年度には、職員研修を開催すべく検討する(研修内容、講師等)
	19			211	28	28	183									
	20			659			659									
	21															
	総務課															
121112	宿日直事務	町民	庁内外の連絡業務、戸籍届出書類の受付、電話対応及び電話等の受付を行い、夜間、休日等における住民サービスの窓口とする。	18						4	4	4	4	A	継続	しばらくは現状維持
	19															
	20			599			599									
	21			599			599									
	総務課															

## 平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案		
					総事業費	事業費	一般財源	人件費											
121113	給与支給事務	職員に対し給与の支給を適正に行う。	条例に基づいた適正で正確な執行に努める。	18					適正支給率			4	4	4	4	A	継続	継続	
				19															
	20			3,057				3,057	%	100									
	21			3,057				3,057											
121115	市町村職員共済組合・退職手当組合・互助会事務	職員	職員に係る共済費が適正に処理されている	18					適正処理割合			4	4	4	4	A	継続	継続	
19																			
20	4,196				4,196	%	100												
21	4,196				4,196														
121116	特別職等報酬審議会	議会の議員、町長、副町長、教育長	議会の議員の議員報酬の額並びに町長、副町長及び教育長の給料の額についてあらかじめ当該報酬等の額について審議会の意見を聴く。	18					答申			4	4	4	4	A	継続	継続:必要に応じて開催する。	
19																			
20	60				60	件	0												
21	115	55	55	60															
121120	情報化推進事業	情報化推進委員	住民の立場で情報化計画の進捗管理を行う	18					情報化計画事業数			4	4	4	4	A	継続	引き続き情報化計画の進行管理を行う	
19																			
20	3,356	59	59	3,297	事業	22													
21	5,676	2,379	2,379	3,297															
121121	統計要覧作成	町民、職員	新温泉町の状況を数値化、グラフ化する事で、現況を分かり易くする。	18					要覧の調査項目			4	4	4	4	A	内容拡大	まだ未記載データがあり、さらにデータ量を増やし、内容の充実をはかる。	
19																			
20	679	20	20	659	件	61													
21	679	20	20	659															
121122	指定統計	漁業者、製造業者、住宅、町民	統計調査の円滑な実施と、それによって作られる統計の正確性を確保する。	18					調査票回収率			4	4	4	4	A	継続	より正確な統計調査が求められる	
19																			
20	6,229	1,973	12	4,256	%	98													
21	8,528	4,272	16	4,256															



平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
121124	行財政改革推進	行政・住民	持続可能な財政基盤の確立と住民満足度の向上を図る。	18	5,977	487	487	5,490	実施計画実施率	91	財政調整基金残高	442	4	4	2	3	B	事業のやり方改善	実施計画に基づく行財政改革を推進するため、引き続き、職員に対して周知徹底を図るとともに進捗管理を行う。 現行の行財政改革大綱の計画期間が21年度までとなっているため、21年度は、22年度から5か年の大綱・実施計画の見直しを行う必要がある。
				19	1,422	80	80	1,342	80.8	456									
				20	1,237	38	38	1,199	57.7	441									
		総務課			21	4,719	223	223	4,496	%	百万円								
121125	行政評価の導入・実施	職員・事務事業	事務事業の改善、職員の意識改革、住民への説明責任の向上を図ります。	18	2,440			2,440	事務事業評価実施率	19.6			4	4	3	4	A	継続	職員に対して年間スケジュールの公表、行政評価の活用方法を明確にし全庁的な取り組みを展開するとともに、評価から改善、次年度の計画・予算編成への流れをシステム化し、職員の意識改革を図るよう「事務事業改善の視点」について情報提供する。
				19	2,806			2,806	55.6										
				20	659			659	60										
		総務課			21	1,858			1,858	%									
121126	職員ひとり改善運動	事務事業・職員	事務事業の改善及び職場の風土(意識)改善	18	305			305	改善提案採用・報告件数	4			4	4	2	4	B	事業のやり方改善	カイゼン事例を職員間で共有することにより、組織的な取り組みを展開する。 「カイゼン・改善・かいぜん」の情報提供を継続する。
				19	915			915	20										
				20	300			300	8										
		総務課			21	599			599	件									
121128	CATV賦課徴収	ケーブルテレビ加入者	適切な使用料の賦課、徴収を行う。	18					賦課誤り件数		徴収率		4	4	-	3	B	事業のやり方改善	加入者の管理、賦課を適正にするため、加入者システムの改善が必要。 滞納者に対しては、個別訪問の回数を増やし、滞納対策を図る。
				19															
				20	4,196			4,196	23	98.5									
		CATV事業室			21	4,196			4,196	件	%								
121129	CATV機器保守・管理	CATV設備(伝送路、編集機、宅内機器等)	定期的な保守管理を実施し、ケーブルテレビ利用者に放送通信情報を安定的に供給できるようにする。	18					訪問後の不具合による再苦情件数				4	4	-	2	B	事業のやり方改善	機器更新
				19															
				20	7,256			7,256	26										
		CATV事業室			21	7,256			7,256	件									
121130	個人町民税の賦課	課税年の1月1日現在、新温泉町に住民票を有している者。または、生活の本拠としている者。但し、生活扶助受給者、障害者・未成年者・寡婦又は寡夫で前年の合計所得金額が125万円以下であった者を除く。	法令に基づいた適正・公平な課税を行いつつ、自主財源の確保を目指す。	18	15,357	1,327	1,327	14,030	課税誤りによる更正件数		課税額	7761	4	4	4	4	A	継続	迅速かつ効率的な業務推進を要する。
				19	15,357	1,327	1,327	14,030		7542									
				20	17,099	1,814	1,814	15,285		7467									
		税務課			21	21,803	11,913	11,913	9,890	件	千円								

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案			
						一般財源														
121131	固定資産税の賦課	町内に固定資産を所有する個人、法人。	自主財源確保のため、法令に基づき適正な課税を推進する。	18	25,221	3,622	3,622	21,599	課税誤りによる更正件数	33		4	4	4	4	A	継続	現地確認区域の順次拡大		
				19	33,437	11,838	11,838	21,599											9	
	20			38,257	16,658	16,658	21,599	39												
	21			40,448	16,352	16,352	24,096	件												
	税務課																			
121132	町税等の徴収	町税及び国民健康保険税の滞納者	自主財源確保及び公平な納税の推進のため、徴収率の向上を目指す。	18	27,538	1,308	1,308	26,230	町税徴収率(現年、滞繰)	96.8、16.1	国保税徴収率(現年、滞繰)	94.9、18.7	4	4	3	4	A	継続	納税相談の充実に努め、徴収率の向上を図る。	
				19	27,452	1,222	1,222	26,230												96.6、19.4
	20			28,573	2,522	2,522	26,051	96.6、23.1												92.8、19.9
	21			30,737	4,686	4,686	26,051	%	%											
	税務課																			
121133	戸籍事務	町民、当町に本籍を有する者	戸籍法に基づき、身分関係を公証するとともに必要な情報を公正に管理し関係者の利便性の増進を図り、行政事務の遂行に役立てる。	18					戸籍受理適正処理割合		戸籍謄抄本等適正交付割合		4	4	4	4	A	継続	ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。	
				19																
	20			4,835			4,835	100												100
	21			4,835			4,835	%	%											
	町民課																			
121134	住民基本台帳事務	全町民	住民基本台帳法に基づき、居住関係及び身分関係を公証するとともに、住民情報を公正に管理し、住民の利便性の増進を図るとともに行政事務の遂行に役立てる。	18					住民異動適正処理割合		住民票等証明適正発行割合		4	4	4	4	A	継続	ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。	
				19																
	20			4,532			4,532	100												100
	21			4,532			4,532	%	%											
	町民課																			
121135	印鑑登録・証明業務	住民登録を有する町民(15歳以上)	住民基本台帳に基づき15歳以上の者の印鑑登録をすることにより、各種契約・登記等の必要書類としてその業務を円滑に行う。	18					新規登録適正処理割合		印鑑証明適正発行割合		4	4	4	4	A	継続	ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。	
				19																
	20			3,654			3,654	100												100
	21			3,654			3,654	%	%											
	町民課																			
121136	埋火葬許可事務	死亡等届出者	墓地、埋葬等に関する法律に基づき埋火葬許可証を交付し、埋火葬業務を適正に、支障なく行う。	18					適正処理割合				4	4	4	4	A	継続	ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。	
				19																
	20			1,079			1,079	100												
	21			1,079			1,079	%												
	町民課																			

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)		評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円					総事業費	事業費	一般財源	人件費	必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費												
121137	レセプト点検事業	被保険者数 (国保・老健対象者)	適正な療養給付を行い、国民健康保険財政の健全化を図る。	18	4,269	3,249	1,652	1,020	2552	57569	4	4	4	4	A	継続	今後もレセプト点検の重要性は高まるため、連合会との共同処理や研修会を通して知識を養い、業務に活かしていく。			
				19	3,704	2,789	1,522	915	2208	32948										
	20			3,791	3,192	2,900	599	1309	37094											
	21			2,700	2,101	1,809	599													
	健康課																			
121140	町民センター維持管理	・町民センター(温泉総合支所含む) ・町民	効率的な維持管理及び省エネに留意し、町民が気持ち良く使用、または来庁できる環境を整える。	18							4	4	4	4	A	継続	施設の維持・管理を計画的に実施する。			
				19																
	20			11,086	5,092	4,829	5,994	0	18000											
	21			12,184	6,190	6,070	5,994													
	振興課																			
121143	監査事務	町の財務の執行及び事業の管理	地方自治法に則った各種監査が円滑に実施される	18							4	4	4	4	A	継続	今後も事務の執行及び事業の適正化を図り、円滑に実施したい			
				19																
	20			3,172	774	774	2,398	16												
	21			2,398			2,398													
	議会事務局																			
121144	計画行政の推進	町の行う事業	計画に盛り込まれた事業が予定された年度に実施されて、事業効果を上げるよう、委員会で住民代表委員とともに確認する。	18							4	4	4	4	A	継続	同様に実施事業を検証し、実施計画を策定する。			
				19																
	20			1,500	301	301	1,199	264	182											
	21			2,125	926	926	1,199													
	企画課																			
121145	外国人登録事務	外国人	在留外国人の居住関係及び身分関係の必要な事項を登録し明確にすることで在留外国人の社会生活等に役立てる。	18							4	4	4	4	A	継続	ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。			
				19																
	20			2,757			2,757	100												
	21			2,757			2,757													
	町民課																			
121149	庁内各種調整会議	部署(課・室・局)	庁舎内の連携を強化し、事務事業執行のスピードアップを目指す。	18							4	4	4	4	A	継続	案件が生じたときには会議を開催することにより、目指す方向、意識を共有することができ、早期の解決につながるため必要である。			
				19																
	20			1,798			1,798	2												
	21			1,798			1,798													
	企画課																			

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
121150	既決犯罪・犯歴事務	裁判所から有罪判決を受けた者	検察庁からの既決犯罪通知書より、選挙権被選挙権の資格調査等検察・裁判所事務の適正な業務を行う。	18					適正処理割合		4	4	4	4	A	継続	ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。
				19													
	20			899			899	%	100								
	21			899			899										
	町民課																
121151	墓地等に関する事務	墓地等経営許可、改葬許可申請者	公衆衛生、その他公共福祉の見地から支障なく行うようにする。	18					苦情件数		4	4	4	4	A	継続	将来の住民の墓地等需要を把握の上、計画的に墓地に関する計画を策定する必要がある。
				19													
	20			779			779	件	0								
	21																
	町民課																
121152	身分証明及びその他の証明に関する事務	町民及び本町に本籍を有する者	検察庁・法務局からの通知書により、選挙権・被選挙権の資格調査及び各資格に係る法令の欠格条項に関する調査の適正な業務を行う。	18					適正発行割合		4	4	4	4	A	継続	ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。
				19													
	20			1,798			1,798	%	100								
	21			1,798			1,798										
	町民課																
121153	支出命令審査・確認事務	支出案件	適正かつ迅速な支払を行う	18					更正件数		4	4	-	4	A	継続	支出決定書作成担当職員の意識改革。
				19	10,959	772	772	10,187									
	20			10,822	812	812	10,010	件	104								
	21			10,748	738	738	10,010										
	出納室																
121154	調定決定・収納事務	・公金(収納・支払者・基金)全体 ・職員(出納室一各課)	・公金の適正な管理 ・職員の迅速な処理(事前調定)により円滑な日計処理事務の向上を図る	18					更正件数		4	4	-	4	A	継続	・収納において町税の口座振替の推進等により、窓口収納件数を減らすことができると思われる。 ・介護保険会計の督促手数料において、収入伝票時に調定をお願いしている。日計処理を迅速にするには年度当初に一括調定はできないのか。
				19													
	20			8,564	772	1,949	7,792	件	177								
	21			8,367	575	1,768	7,792										
	出納室																
121155	決算調製事務	町の収入・支出の全部にわたる決算書の内容。一般会計、及び特別会計、決算付属資料、参考書類。以上決算書の収集。	公金の適正なる執行状況をまとめて記録として残す。	18					作成後の訂正箇所		4	4	-	4	A	継続	
				19	6,759	476	476	6,283									
	20			6,676	502	502	6,174	件	0								
	21			6,629	455	455	6,174										
	出納室																

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総 合	区 分	改 革・改 善 案			
						事業費	一般財源										人件費		
121162	財政運営事務	普通会計決算額	的確な財政状況の把握、健全で弾力性のある財政の実現	18	7,625		7,625	財政力指数	0.313	経常収支比率	4	4	4	4	A	継続	硬直化する財政状況の中、引続き事業の効率化・重点化により予算を調整する。		
				19	7,625		7,625											0.325	94.2
	20			4,795		4,795	0.33											94.1	
	21			4,795		4,795	%												
	総務課																		
121163	予算編成事務	新温泉町の各会計予算	予算編成方針に基づいた予算を編成する。	18	7,625		7,625	財政調整基金繰入金	194148	58141	4	4	4	4	A	継続	地方公共団体の果たすべき役割を考慮しつつ、行政評価の予算編成への活用を進め、硬直化する財政状況の中、財政の弾力化を示す財政調整基金の積立てや剰余金の捻出を図る。		
				19	7,625		7,625												
	20			7,193		7,193													
	21			7,193		7,193	千円												
	総務課																		
121164	町補助金交付事務	新温泉町の補助金交付事業及び団体	事業目的、趣旨に沿った補助金の用途を管理し、本来の補助金の目的を達成させる。	18				実績報告受理数	183	198	4	4	4	4	A	継続	補助金交付申請団体の状況把握に努め、硬直化する財政状況の中、真に必要なとされる補助金のみ予算化する。		
				19	3,050		3,050												
	20			2,997		2,997													
	21			2,997		2,997	事業数												
	総務課																		
121165	地方交付税算定事務	地方交付税の算定	的確な基礎数値の把握に努める。	18				普通交付税額	3606210	3603435	3872185	4	4	4	4	A	継続	100年に1度といわれる世界経済不況の中、国による緊急財政出動により平成20年度は、地方交付税全体では対前年度比247,976千円増(14.2%増)となり、その内訳として、普通交付税では、頑張る地方応援プログラムに係る地域振興関係経費41,629千円増、地方再生対策118,709千円増、公債費88,825千円増などにより総額268,750千円増となった。しかし、今後平成23年度から平成28年度まで5ヵ年間で、交付税削減措置が行われるため、次年度以後は、町予算歳出削減を図る。	
				19	3,050		3,050												
	20			4,196		4,196													
	21			4,196		4,196	千円	千円											
	総務課																		
121166	町債管理事務	・借入先…国、兵庫県及び銀行等 ・地方債…事業債及び臨時財政対策債等	①起債の借入 ②適正な償還事務 ③有利な条件での借入	18				償還数/償還予定数	100	100	4	4	4	4	A	継続	硬直化する財政状況の中、新規発行起債の抑制及び不利な債務の繰上償還や借り換えを図る。		
				19	6,010		6,010												
	20			1,259		1,259													
	21			1,259		1,259	%	千円											
	総務課																		
121167	基金管理事務	財政調整基金・減債基金・ふるさと水と土対策基金・地域福祉基金・浜坂町海岸環境美化基金・地域振興基金・二日市温泉配湯事業施設整備基金・ふるさとづくり基金・土地開発基金	①歳計剰余金の適正処理 ②基金の確実かつ効率的な運用	18				例月報告	12	12	4	4	4	4	A	継続	硬直化する財政状況の中、極力剰余金の全額を財政調整基金へ積立し、内部留保に努める。		
				19	3,005		3,005												
	20			1,199		1,199													
	21			1,199		1,199	回	百万円											
	総務課																		

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円			総事業費			事業費	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					一般財源														
121168	自治振興事業	自治振興事業	①兵庫県補助金の有効活用 ②兵庫県貸付金の適正管理	18					県貸付金額	18800	県貸付金返済元金		4	3	4	4	A	継続	兵庫県が融通する貸付金であり、町の財源確保には最後の砦として必要ではあるが、返済期間が元金均等10年返済であるため、公債費への影響額が大きい。したがって、県貸付金の借入は、極力避けたい。
				19	3,005			3,005				24240							
	20			1,199			1,199	26120											
	21			1,199			1,199												
	総務課							千円		千円									
121169	町有財産の取得、管理及び処分事務	町有財産	売却、使用・貸付を行い有効活用を図る	18	3,645	588	588	3,057	売却金額	1463	使用・貸付金額	12427	4	4	1	4	B	事業のやり方改善	売却手法の検討
				19	7,940	4,883	4,883	3,057				4798							
	20			4,153	1,096	1,096	3,057	50802	12055										
	21			3,557	500	500	3,057												
	総務課							千円		千円									
121170	土地開発基金事務	事業用地	基金を活用して先行取得する	18	48,775	48,715		60	基金残高(現金)	73584	基金残高(土地)	1022.54	4	4	4	4	A	継続	一般会計で基金からの買戻しに努める。
				19	60			60				73806							
	20			24,630	24,570		60	49504	1022.54										
	21			60			60												
	総務課							千円		m <sup>2</sup>									
121171	入札参加資格審査事務	資格審査申請	申請登録数の拡大を図る	18	1,499			1,499	登録訂正件数	0	町内業者登録数	155	4	4	4	4	A	継続	登録一覧表の内容充実 申請書類の簡素化
				19	1,755	256	256	1,499				0							
	20			1,499			1,499	0	134										
	21			1,755	256	256	1,499												
	総務課							件		件									
121172	庁舎保守管理	庁舎及び多目的集会施設	効率的な維持管理とユニバーサルデザイン化	18	21,071	15,616	15,616	5,455	維持管理費	15616			4	4	4	4	A	継続	計画的に施設・設備の改修を実施する。
				19	25,207	19,752	16,230	5,455											
	20			23,759	18,304	17,304	5,455	18304											
	21			28,300	22,845	16,145	5,455												
	総務課							千円											
121173	電算機器保守管理	電算機器	常時障害なく稼働できるようにする。	18					電算機器障害回数		消耗品の在庫切れ回数		4	4	4	4	A	継続	職員へ機器の丁寧な取扱いの徹底を行い、及び機器に対するある程度の知識も周知しながら障害発生件数の減少を図りたい。
				19															
	20			31,354	28,297	28,297	3,057	1	0										
	21			29,637	26,580	26,580	3,057												
	総務課							回		回									

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案	
					総事業費	事業費	一般財源	人件費										
121174	電算ソフト保守管理 総務課	電算システム	常時障害なく稼働できるようにする。	18					システム 停止回数	法改正等 適正対応 割合		4	4	4	4	A	継続	法改正等に適切に対応し、より効率的に業務が遂行できるよう今後に取り組む。
				19														
	20			11,716	9,258	9,258	2,458	0	100									
	21			8,973	6,515	6,515	2,458	回	%									
121175	文書管理システム 総務課	文書システム	文書管理の効率化、適正化を図る。	18					システム 停止回数	登録文書		4	4	4	4	A	継続	更なる操作方法の指導を行い、文書管理の電子化を進める
				19														
	20			599			599	0										
	21			599			599	回	件									
121176	船員に関する事務 町民課	船員、船主	船員手帳交付等に関する事務手続きを行い、船員・船主の利便性を図る。	18					適正処理 割合			4	4	4	4	A	継続	ミスのないよう、迅速かつ正確に処理するためにチェック等を行い、適正な事務処理に努める。
				19														
	20			599			599	100										
	21			599			599	%										
121177	総合窓口業務(支所) 住民福祉課	来庁者	用務を円滑に済ませられるようにし、住民の利便と満足度を高める。	18					苦情数			4	4	4	4	A	内容拡大	内容拡大 職員の安定確保、研修、意識改革
				19														
	20			1,769			1,769	20										
	21			2,500			2,500											
121178	入札・契約事務 総務課	公共工事等の入札参加者	適正な審査の実施	18	3,057			3,057	審査件数	指名業者 数	629	4	4	4	4	A	継続	業者選定要領を充実する。
				19	3,057			3,057										
	20			3,057			3,057	227										
	21			3,057			3,057	件	者									
121179	物品購入等事務 総務課	物品	単価契約を行うなど競争原理を働かせ、より安く購入する。	18	1,798			1,798	管財係処理 品目数			4	4	4	4	A	継続	環境に配慮した物品の購入を推進する。
				19	1,798			1,798										
	20			1,798			1,798	148										
	21			1,798			1,798	件										

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)		評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費		課税誤りによる更正件数	課税額	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源												
121180	法人町民税課税事務	町内に事務所又は事業所がある法人	法令に基づいた適正・公平な課税を行いつつ、自主財源の確保を目指す。	18	3,222	172	172	3,050	課税誤りによる更正件数	課税額	76572	4	4	4	4	A	継続	迅速かつ効率的な業務推進を要する。
	19			3,222	172	172	3,050	74426										
	20			3,351	174	174	3,177	54945										
	21			1,614	115	115	1,499	千円										
121181	軽自動車税の賦課	町内を主たる定置場とする軽自動車等(原動機付自転車・軽自動車・小型特殊自動車・二輪の小型自動車)の所有者	自主財源確保のため、法令に基づいた適正・公平な課税を行う。	18	3,222	172	172	3,050	課税誤りによる更正件数	課税額	40202	4	4	4	4	A	継続	
	19			3,222	172	172	3,050	40578										
	20			3,171	174	174	2,997	40762										
	21			1,614	115	115	1,499	千円										
121182	国民健康保険税の賦課	国民健康保険の被保険者である世帯主(擬制世帯主)	国民健康保険事業維持のため、法令に基づいた適正・公平な課税を行う。	18	6,700	600	600	6,100	課税誤りによる更正件数	課税額	347947	4	4	4	4	A	継続	
	19			6,729	629	629	6,100	330745										
	20			7,076	1,082	1,082	5,994	330995										
	21			7,149	1,155	1,155	5,994	円										
121183	諸税(町たばこ税・入湯税)課税事務	【町たばこ税】町内の小売販売業者に製造たばこの製造者、特定販売業者又は卸売販売業者等 【入湯税】鉱泉浴場における入湯客	自主財源確保のため、法令に基づいた適正・公平な課税を行う。	18	3,222	172	172	3,050	【町たばこ税】課税額	【入湯税】課税額	91962	4	4	4	4	A	継続	
	19			3,222	172	172	3,050	87774			36099							
	20			3,410	173	173	3,237	80059			33208							
	21			1,967	229	229	1,738	千円			千円							
121184	職員福利厚生	職員	職員の適正な福利厚生を図る。	18					給付件数			4	4	4	4	A	継続	継続実施
	19																	
	20			2,458			2,458	6										
	21			2,458			2,458	件										
121185	定員管理等人事業務	職員	総合計画等も勘案しながら、新規職員の採用を抑制、早期勧奨退職を推進することにより、計画的に職員の削減を図る。	18					削減率	増減数	6.7	4	4	4	4	A	継続	継続実施
	19							10.5										
	20			2,458			2,458	14										
	21			2,458			2,458	%			人							



平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費									
基本	1-2(1)②住民に信頼される事務を行います																
121201	人材育成研修制度の充実 職員研修費等	職員	環境の変化を認知し、「事業戦略」を立案できる人材を育成する。	18	554	554	554		受講者数							継続	継続
				19	1,395	1,395	1,395										
	20			1,776	457	457	1,319	520									
	21			2,819	1,500	1,500	1,319	人									
基本	1-2(2)①他市町等と連携して事業を進めます																
122101	広域行政の推進(但馬広域行政事務組合)	但馬地域5市町(豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町)	各市町の発展と振興	18					協議件数							継続	但馬地域が一つになって、うるおいと活力に満ちた魅力ある但馬づくりに取り組んでおり、交通アクセスや交流拠点の整備促進、環境対策や地域情報化などの広域的課題を解決するためには必要である。
				19													
	20			9,256	8,597	8,597	659										
	21			8,921	8,262	8,262	659	件									
施策	1-3連携・交流を促進するまちづくり																
基本	1-3(1)①地域活動の拠点整備を図ります																
131101	コミュニティ施設整備事業	コミュニティ施設	建設	18					進捗率							継続	地域コミュニティの改善のため要望があれば応えていく。
				19													
	20			32,428	30,570	83	1,858										
	21			25,931	24,073	107	1,858	%									
131102	御火浦コミュニティセンター体育館改修事業	御火浦コミュニティセンター	交流学习拠点施設として改築	18					委託料		工事費				継続	工事は21年度中に完成予定であり、完成後、交流施設としての活用方法が課題である。	
19																	
20	7,441	4,444	4,444	2,997	4444												
21	130,970	127,973	127,973	2,997	千円												
131103	浜坂コミュニティセンターの管理運営	浜坂コミュニティセンター	維持管理	18					委託料							内容縮小	浜坂エリアの小学校再編に伴う跡地利用については、4施設のうち、①赤崎は校舎を取り壊し、グラウンドを拡張、②三尾は校舎を取り壊し新たに学習・交流拠点施設を整備、③久斗山はすでに都市との交流機能をもった地域特産物製造販売施設として整備している。残るは居組のみ。①～③については、地域の活性化拠点施設として指定管理者制度の導入を検討
				19													
	20			659			659	420									
	21			659			659	円							抜本的見直し	より一層、効果的に活用されるよう、社会教育施設としての位置付けを検討	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
131104	八田コミュニティセンター運営・管理事業	町民	新温泉町の自然や歴史の特性を活かし、交流を通じた地域開発意識を高める場を提供するとともに、地域の活性化を図る	18	8,018	1,636	1,612	6,382	会議室等利用人数	1654	展示会入込数	293	4	4	3	4	A	継続	指定管理者の自主事業の推進、文化事業の充実、施設管理経費の節減
				19	7,893	1,511	1,497	6,382		2171		3787							
				20	6,355	4,197	4,045	2,158		2107		2581							
	21			4,339	3,740	3,637	599	人	人										
基本	1-3(1)②地域コミュニティの活動を応援します																		
131201	地域振興事業	地域住民のコミュニティ施設(区等)	地域の生活環境施設、コミュニティ施設整備及び活性化推進	18	7,244	3,648	3,648	3,596	補助金	3272	4	4	4	4	A	継続	昨年度から地区要望とあわせて地域振興事業のとりまとめをおこなってきた。今後もコミュニティの活性化に向けて各地区への周知を図り、地域主体の事業を推進していくための支援を行う。		
				19	6,513	2,917	2,917	3,596		2444									
	20			9,483	5,887	5,887	3,596	4081											
	21			5,012	1,416	1,416	3,596	円											
基本	企画課																		
131202	県民交流広場事業支援	小学校区単位の町民	組織の立ち上げ、気軽に集える場づくりと活動の充実	18	1,220			1,220	実施率	50	4	4	4	4	A	継続	10校区中8校区で事業採択を受けており、残る2校区(浜坂北、温泉小学校)についても平成22年度までに事業採択できるよう取組む。		
				19	917			917		70									
	20			1,259			1,259	80											
	21			1,259			1,259	%											
基本	企画課																		
基本	1-3(2)①他市町との住民交流を図ります																		
132102	因但県境自治体会議(コリドー21)	因幡但馬地域6市町(鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町、香美町、新温泉町)	各市町の発展と振興	18	1,200			1,200	サミット協議件数		事業参加市町数		3	4	4	4	A	継続	必要最小限の負担金(各市町2万円)で運営しているため、効率的、効果的な事業展開を行うこととし、関係市町の交流を促進する事業を検討する必要がある。また、情報発信事業の充実を図る。
				19	122			122											
	20			659			659	7		6									
	21			659			659	回											
基本	企画課																		
基本	1-3(3)①国際的視野をもった住民を育てます																		
133101	国際交流推進事業	町民	諸外国との友好交流を通して国際間の理解を深め、また国際交流事業を通して、会員同士の親睦を深めていく。	18	2,145	620	620	1,525	参加協会員数		延べ参加人数		3	3	3	3	C	抜本的見直し	平成19年度に組織を1本化し、会計、庶務を協会で行うこととしたが、庶務は行政が主体として行っている。協会に自主運営して頂けるよう促していきたい。
				19	1,724	199	199	1,525		129		56							
	20			1,719	220	220	1,499	93		39									
	21			1,795	296	296	1,499	人	人										
基本	商工観光課																		
基本	事業のやり方改善 団体が自主運営できるよう組織の育成と国際交流事業充実の支援を行う。																		

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費									
政策	2<<安心>>安心な暮らしづくり																
施策	2-1災害に強いまちづくり																
基本	2-1(1)①災害に強い基盤をつくります																
211101	住宅耐震診断推進事業	昭和56年以前に建築された町内の民間住宅	住宅の耐震化率を高めるため、簡易耐震診断を実施する。	18	152	30	8	122	診断棟数	1						継続	住民の生命財産を守るため、必要不可欠の事業であるため継続実施する。
				19	302	180	41	122		6							
				20	210	30	11	180		1							
	建設課																
211102	急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地の崩壊危険箇所	急傾斜地崩壊防止工事の実施により、住民の生命を保護する。	18											継続	住民の生命を保護するため重要な災害防止事業であり、継続が必至である。	
				19													
				20	14,020	13,900		120									
	建設課																
211103	河川改良(整備)事業	普通河川	河川機能を強化し、災害の軽減・公共安全を確保する。	18	6,438	5,218	5,218	1,220	整備箇所						継続	災害の軽減・公共安全を確保するため、今後も河川改良工事を継続する。	
				19	5,479	3,161	3,161	2,318									
				20	6,227	5,388	5,388	839		3							
	建設課																
211104	河川維持管理	普通河川	正常な流水機能を確保する。	18	2,084	864	864	1,220							継続	適正管理を行う。	
				19	2,706	1,059	1,059	1,647									
				20	382	262	262	120									
	建設課																
211106	出合河川敷公園維持管理	町民	健康増進と地域間交流を深めるための大会出場を目指すための練習を重ねるための広場を確保する。	18	360			360	利用人数						継続	グラウンド状況を確認し、真砂土等を補充し管理していく。	
				19	360			360									
				20	557	197	197	360		600							
	産業建設課																
				21	502	142	142	360	人								

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
211107	災害復旧事業	被災した公共 土木施設	原形に復旧し、従前の機能を回復する。	18					復旧率			4	4	4	4	A	継続	公共土木施設災害が発生した場合は、早期に事業実施する。
				19														
	20			120			120											
	21			120			120											
基本	2-1(1)②住民の防災意識を高めます																	
211202	自主防災活動支援事業	自主防災会	自主防災会の自覚(特に浜坂地域)を促し、組織力の強化を図る。災害や火災に備えた訓練の実施をしていただき、有事の際に自主防災会として行動をしていただく。	18	470	348	348	122	参加世帯		参加人数	4	4	3	4	A	継続	訓練実施の必要性を今以上にPRしていく。
				19	1,208	415	415	793										
	20			1,883	444	444	1,439	1141		1422								
	21			2,049	610	610	1,439	人		人								
基本	2-1(1)③防災体制を充実します																	
211305	災害対策、災害救助及び災害弔慰金に関する事業	住民の安心・安全を守り、災害に対する施策を行う。	災害に備えた体制整備をする。被災者への支援を行う。	18					災害見舞金給付		防災訓練参加	4	4	4	4	A	継続	防災訓練については、地域を変えて実施する。災害対策備蓄を充実させる。住民への防災情報の提供と体制整備を促進する。災害見舞金は迅速かつ適正に給付する。
				19														
	20			2,943	2,109	1,797	834	100		4061								
	21			2,328	1,494	371	834	%		人								
基本	2-1(1)④消防救急体制を充実させます																	
211402	消防用施設器具維持	町内全域、消防団	緊急時に即応できるよう、施設の整備と車両の更新を確保する。	18	22,722	21,502	21,502	1,220	更新計画実施率			4	4	4	4	A	継続	計画に基づき継続。
				19	7,926	6,767	6,767	1,159										
	20			21,203	18,690	18,690	2,513	100										
	21			60,291	57,778	57,778	2,513	%										
基本	2-1(1)④消防救急体制を充実させます																	
211403	防災無線維持管理	町民全体	緊急放送をリアルタイムで告知できるシステムの構築。(火災、自然災害、行方不明、交通網の乱れ等)	18	4,297	3,321	3,321	976				4	4	4	4	A	抜本的見直し	機器の経年劣化に伴い、早急にデジタル化やCATV化を検討しなくてはならない。
				19	9,301	8,142	8,142	1,159										
	20			4,309	2,691	2,691	1,618											
	21			5,093	3,475	3,475	1,618											

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						区分	改革・改善案					
					総事業費	事業費	一般財源	人件費					必要性	有効性	達成度	効率性	総合
211411	消防団運営	消防団員	消防団員の火災や災害の速やかな出動と、消火防災活動のできる体制をとる。消防団組織の充実を図る。	18					団員組織率		4	4	4	4	A	継続	積極的な団員勧誘の実施、自治会と連携した団員確保を行うと共に、訓練の充実を図り消防人の育成と組織強化に努める。
				19	95,806	89,462	89,462	6,344									
	20			7,008			7,008	96.5									
	21			75,518	68,510	68,510	7,008	%									
21	町民課																
施策	2-2安心に暮らせるまちづくり																
基本	2-2(1)①交通事故のない町をめざします																
221101	交通安全施設整備	町道の通行者	交通事故の発生を防止する	18					17		4	4	4	4	A	継続	交通事故の発生を防止するため、継続して取り組む。
				19													
	20			2,071	1,711	1,711	360										
	21			2,060	1,700	1,700	360										
21	建設課																
基本	2-2(1)②安心して消費生活ができるまちをつくります																
221201	交通安全対策事業	町民	交通事故0、死亡事故0を目指す。町民の交通ルールの遵守。	18					3		4	4	4	4	A	継続	交通安全の意識意識を高めるため、広報啓発を増やす。警察との連携により、高齢者指導や道路の安全点検を実施する。
				19	1,629	287	287	1,342									
	20			1,625	270	270	1,355										
	21			1,686	331	331	1,355										
21	町民課																
221203	交通災害共済事務	町民	加入向上に向け、地域ぐるみ、家族ぐるみの加入促進を行う。	18					9114		4	4	4	4	A	継続	加入率の減少が見られるため、制度の周知と加入効果をPRすると共に、地域ぐるみの加入を促進するため自治会との連携を一層深める。
				19	281	281	281										
	20			2,909	553	553	2,356										
	21			3,001	645	645	2,356										
21	町民課																
221205	消費者生活相談	消費者	安全で安心できるくらしの実現をめざし、消費生活相談の処理を行うとともに、消費者啓発を通じ、消費者トラブルの解決と未然防止に努める。(必要に応じ所管する行政機関と連携し、解決を図る。)	18					51		4	4	4	4	A	継続	多様化する消費者トラブルに対して、未然防止を図る。
				19													
	20			779			779										
	21																
21	町民課																

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						事業費	一般財源										
221207	戦没者遺族等援護事業	戦没者遺族 傷痍軍人(戦 傷病者)等	軍人軍属等の公務上の 負傷若しくは疾病又は 死亡に関し、国家補償 の精神に基づき、軍人軍 属であった者又はこれ らの者の遺族を援護す ることにより、その福祉 の向上や生活の安定を 図ります。	18				各給付金 (弔慰金 除く)請求 率		4	4	3	3	A	継続	対象者の高齢化が進む中で、相談・申請受付窓口として、今後もより一層の周知(個別案内)・請求指導の徹底を図り、事業を継続していく。	
				19	915			915	100								
	20			959			959	100									
	21			959			959	%									
	福祉課							件									
221208	恒久平和祈念式典	戦没者の遺族 町民	戦没者に追悼の誠 を捧げるとともに、 町民の平和意識 の高揚を図る。	18	2,102	882	862	1,220	式典出席 者数	350	4	3	3	3	B	事業の やり方 改善	より事業の有効性・効率性を高めるため、式典の内容、案内方法及び送迎方法等について、次年度も引き続き検討・協議が必要である。
				19	2,108	827	797	1,281	350								
	20			2,153	654	634	1,499	300									
	21			2,224	725	705	1,499	人									
	福祉課							人									
221211	防犯事業	住民を犯罪か ら守る。	犯罪0を目指す。	18					街頭犯 罪・侵入 犯罪の件 数		4	4	4	4	A	継続	防犯体制の組織連携をする。
				19													
	20			2,686	1,607	1,607	1,079	35									
	21			2,645	1,566	1,566	1,079										
	町民課																
221213	自衛隊に関する事務	町民	自衛官人材の確 保。	18					入隊人数		4	4	4	4	A	継続	自衛隊の内容や入隊意義を広く周知する。 入隊後の情報提供、父兄会への協力をし町の支援体制を高める。
				19	31	31											
	20			726	7	7	719	2									
	21			737	18	18	719	人									
	町民課																
221215	消費者団体支援	消費者団体	消費者としての認 識を深め、消費者 に対して地域のアド バイザーとして知 識の普及を図る。	18					研修会 の参加人数		4	4	4	4	A	継続	消費者としての認識を深め、消費者に対して地域のアドバイザーとして知識の普及をさらに会員から消費者へ発信するようにする。
				19													
	20			2,942	351	351	2,591	40									
	21							人									
	町民課																

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案		
					総事業費	事業費	一般財源	人件費											
施策	2-3健康に生きるまちづくり																		
基本	2-3(1)①生涯にわたる生活習慣病予防の確立を進めます																		
231101	健康づくり推進協議会	委員 10名	行政のみではなく民間・住民も参加した健康づくりをすすめていく	18	714	34	34	680	健康づくり推進協議会協議件数	3	保健福祉医療等推進会議協議件数	8	4	3	4	4	A	内容拡大	構成団体(委員)を拡充し広く計画を進めていく。
				19	761	81	81	680		3		22							
	20			1,227	28	28	1,199	3		8									
	健康課			21	1,244	45	45	1,199	件	件									
231103	食生活改善事業	町民(妊娠期～高齢期)	妊娠期から高齢期にいたるまで食の大切さを理解し、健康な体づくりをめざす	18					参加者数				4	4	4	4	A	継続	管理栄養士の設置により、専門職(保健師、歯科衛生士)を中心とした事業計画、推進をさらにすすめていく。
				19															
	20			2,049	238	238	1,811	1044											
	健康課			21	2,051	240	240	1,811	人										
基本	2-3(1)②保健・医療・福祉・教育機関との機能的な連携により健康づくりを支えます																		
231201	愛の献血	町民(18歳から64歳までの方)	町内会長を通じて回覧、広報等で献血を依頼、また事業所への啓発を行い、会場を増やすことにより、協力者を増加させ安全性の高い血液製剤を供給する。	18					採血者数	361			4	4	4	4	A	継続	献血者数の減少のため、採血時間を短縮して事業を実施しているが、県下では血液不足が続いているため事業継続し献血者数を増やしていくことが必要である。
				19	1,539	75	75	1,464		359									
	20			1,249	50	50	1,199	331											
	健康課			21	1,274	75	75	1,199	人										
231203	母子保健推進員活動	妊産婦、乳幼児期の育児者と乳幼児	委員が家庭を訪問し、地域の子どもたちを見守り地域交流を深めることにより育児の孤立を防ぐと共に行政とのパイプ役となり、母子保健の推進を図る。	18	334	334	334		研修会参加人数	45	訪問件数		4	4	4	4	A	継続	対象者である妊産婦・乳幼児とその保護者への声かけ訪問を通じ、行政との大切なパイプ役として活動していただく。
				19	1,583	363	363	1,220		87									
	20			2,578	480	480	2,098	34		94									
	健康課			21	2,601	503	503	2,098	人	件									
231204	母子保健事業	・新生児 乳幼児 ・妊産婦、乳幼児期の育児者 ・中学生	・妊産婦、乳幼児の健康状態や育児状況を把握し、健診受診率を100%にする ・命の大切さ、性について正しい知識をもち、自分の体を大切にし、両親への感謝の気持ちが持てる	18	6,156	103	103	6,053	受診率		参加人数		4	4	4	4	A	継続	・2箇所で開催していた乳幼児健診を、平成20年度1箇所に統合し浜坂地域・温泉地域一体化した健診を実施している。 ・発達障害の早期発見早期療育・育児支援のより充実に向け、関係機関・関係職種と連携を密にする。
				19	2,694	132	132	2,562		98.3		47							
	20			8,981	2,505	2,505	6,476	100		44									
	健康課			21	7,880	1,404	1,404	6,476	%	人									

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段：一次評価、下段：二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
231206	予防接種事業	予防接種法に基づく対象児65歳以上の高齢者	乳幼児が、児童生徒、高齢者が感染症に罹患しないよう人工免疫をつけ、感染の発生を防ぎ予防する。	18					乳幼児接種率	88	高齢者接種率	62	4	4	4	4	A	継続	公衆衛生水準の向上の為に、高い接種率を保持していくことが大切である。
				19	15,770	13,458	13,458	2,312											
	20			20,831	16,635	16,635	4,196												
	21			21,858	17,662	17,662	4,196	%	%										
	健康課																		
231207	健康診査事業	20歳以上の町民	生活習慣病の予防と異常の早期発見を行い、生活習慣病などの疾病や介護を要する状態に陥ることをできる限り予防していく。	18	17,513	14,997	14,997	2,516	受診延人数	7058			4	4	4	4	A	継続	平成20年度から制度が変わり、事業所検診を受ける方の便宜を図るために町のがん検診を事業所検診と併行して実施。なお、漁業関係者の加入している船員保険(漁協組合)との調整により、特定健康診査受診の便宜を図る。漁協組合から、PRチラシの配布を計画する。
				19	18,660	16,281	16,281	2,379											
	20			24,369	17,294	16,645	7,075												
	21			28,219	21,144	20,544	7,075	人											
	健康課																		
231208	在宅寝たきり者訪問歯科指導事業	歯科医院に通院できない要介護3以上在宅の寝たきり者の内希望者を対象	経口摂取を長く保てるような在宅療養を支援することにより、心身の機能の低下を防ぐとともに、介護の軽減を促す。	18	1,138	50	50	1,088	利用人数	2			4	4	4	4	A	継続	歯科受診ができない在宅療養者への歯科訪問指導は必要であり継続実施していく。
				19	1,083	107	107	976											
	20			599			599												
	21			795	196	196	599	人											
	健康課																		
231209	保健センター管理事業	浜坂保健センター	適正な維持管理	18					苦情件数	0	事故件数	0	4	2	4	2	C	抜本的見直し	浜坂地区の健診事業等は当施設で実施できるようにすれば、町民の利便性と施設の維持管理がスムーズにいく。
				19															
	20			1,326	427	427	899												
	健康課																		
231213	診療所施設管理・運営	町民	各診療所の円滑な運営を図る。一般会計繰出金をできるだけ減額する。	18	32,562	27,121	27,121	5,441	医科延べ患者数	7923	歯科延べ患者数	6271	3	3	3	3	C	事業のやり方改善	兼務体制をとるなど今後の方針決定が必要。ただ、診療所機能は残すことは必要。
				19	42,445	37,565	37,565	4,880											
	20			55,501	51,305	51,305	4,196	3683	5432										
	21			54,196	50,000	50,000	4,196	人	人										
	健康課																		
231214	国民健康保険事業特別会計繰出金	低所得者に対する保険税軽減分及び保険者支援分・出産育児一時金・財政安定化支援事業・その他運営に必要な経費	国民健康保険の安定的な運営を図る	18					歳入決算に係る繰入金金の割合	5.6			4	4	4	4	A	継続	年々増加する国税の滞納額や国・県の財政支援が減少している現状では、被保険者に対して適正医療の受診指導や広報活動を充実していかなければならない。
				19															
	20			82,245	81,646	26,578	599	4.65											
	21			79,645	79,046	17,771	599	%											
	健康課																		



平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
231215	国民健康保険給付事業	国民健康保険の被保険者(H20年度平均被保険者数4,821人)	適正な給付に努める。あわせて保険指導等により医療費全体を抑えていく。	18	1,127,704	1,120,223	314,874	7,481	1人当たり給付費(一般)	188054	1人当たり給付費(退職)	338748	4	4	4	4	A	継続	医療費の削減を図るためには、特定健診、保健指導との連携が必要が必要。
				19	1,206,552	1,199,842	434,418	6,710	200319	361870									
	20	1,183,030	1,177,036	267,173	5,994	238570	304713												
	21	1,169,781	1,163,787	253,924	5,994														
	健康課	一般4,422人退職399人						円		円									
231216	国保運営協議会に関する業務	新温泉町国民健康保険運営協議会委員	国民健康保険加入者と保険者である町との利害関係を調整し、円滑な事業の遂行を図る。	18	5,212	111	111	5,101	協議、諮問件数	10			4	4	4	4	A	継続	必要開催回数を4回とし、諮問・報告・協議を行って行く。
				19	4,683	108	108	4,575	10										
	20	2,805	108	108	2,697	8													
	21	2,805	108	108	2,697	回													
	健康課																		
231217	国民健康保険資格管理事業	国民健康保険の被保険者	療養費等の費用負担の適正化を図る為、申請行為を適正に処理して行く。	18	10,926	4,805	4,805	6,121	不当利得(一般・退職)	18	不当利得(一般・退職)	1069	4	4	3	4	A	継続	退職適用は随時行い、振替は11月診療時と2月診療時に行う。
				19	45,437	39,947	35,924	5,490	18	975									
	20	10,208	5,413	4,629	4,795	36	222												
	21	10,183	5,388	5,388	4,795	件	千円												
	健康課																		
231220	保健福祉センターすこやか～に管理運営	町民	健康と福祉の拠点施設として高齢者から乳幼児まで利用しやすい施設の利用促進。	18	8,753	8,753	8,753		利用件数	767	利用者数(延)	12535	4	4	4	4	A	継続	健康福祉の拠点として利用しやすい環境づくりのため、各種相談や事業の内容の充実をはかり、町民の安心と安全の拠点となるようにする。
				19	12,685	8,187	8,187	4,498	827										
	20	12,067	7,569	7,569	4,498														
	21	12,578	8,080	8,080	4,498	件	人												
	住民福祉課																		
231221	福祉医療協力費	美方郡医師会 美方郡歯科医師会 老人、障害者、乳幼児、母子家庭対象者	老人、障害者、乳幼児、母子家庭等に係る福祉医療費支給制度の円滑な実施を図る	18					現物件数				3	3	4	3	C	内容縮小	近隣市町の実態から単価を引き下げる必要性はある
				19															
	20	2,040	1,860	1,860	180	17471													
	21	2,220	2,040	2,040	180	件													
	健康課																		
231228	歯科保健事業	町民(妊婦・乳幼児～高齢者)	『8020運動』=80歳で20本の歯を残す	18	1,768			1,768	3歳児う歯罹患率	26.3	受診者数		4	4	4	4	A	継続	課題を整理し、ハイリスク児への対策、歯科対策は、歯のみにとらわれず、生活習慣レベルの向上を図っていく取り組みが必要である。摂食嚥下対策については、町内の地域ケアスタッフの資質向上を歯科医師との連携により、検討していく。
				19	3,300	1,470	1,470	1,830	28										
	20	2,174	1,184	1,184	990	35.5													
	21	2,394	1,404	1,404	990	%	人												
	健康課																		

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案			
						一般財源														
231232	畜犬登録、狂犬病予防	犬の飼養者	飼犬の登録と予防注射の実施により、狂犬病の発生を防ぐ。	18					注射実施率						継続	狂犬病予防注射の接種率の向上を図る。				
				19																
	20			3,067	94	94	2,973	82.8												
	21							%												
	町民課																			
231234	健康教育事業	町民	生活習慣病を予防し、健康を増進するため、健康に関しての正しい知識を深め「自分の健康は自分で守る」という認識を高め、壮年期からの健康の保持増進に役立てる。	18					参加延人数						継続	生活習慣予防を中心にした健康教育の充実とところの健康づくりの啓発も実施していく。				
				19																
	20			2,480	200	200	2,280	524												
	21			2,569	289	289	2,280	人												
	健康課																			
231235	健康相談事業	町民(40歳以上の者)	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、家庭での健康管理に役立てる。	18	2,050	10	10	2,040	指導延数	1080					継続	生活習慣病予防を中心にした相談の充実を図る。				
				19	1,503	21	21	1,482		1553										
	20			2,982	103	55	2,879	329												
	21			3,360	481	481	2,879	人												
	健康課																			
231237	訪問指導事業	妊婦、産婦、新生児、乳児、幼児、障害児 成人、老人、精神保健福祉、障害者、難病患者	個人が生活している家庭に訪問し、個人及び家族に家庭環境、生活状況に配慮した健康づくりの支援を行う。	18	850			850	指導人数	618					継続	地域に出かけていくことで、個人、家族への保健指導にもつながっていく。				
				19	388	22	22	366		351										
	20			5,188	93	93	5,095	502												
	21			5,157	62	62	5,095	人												
	健康課																			
231239	公立病院薬品等購入事務	入院・外来患者	必要量を適正価格で購入し、薬品等により治療を提供する。	18	129,647	126,650	126,650	2,997	患者1人当り材料費	2363	材料比率	19	4	4	4	4	A	継続	常勤医師が減少する状況下で病院経営は厳しいが、コストを重視した適正な物品購入を実施していく。	
				19	136,564	132,968	132,968	3,596		2404		18.38								
	20			121,198	117,602	117,602	3,596	2126	17.15											
	21			154,401	150,805	150,805	3,596	円	%											
	浜坂病院																			
231240	公立病院施設管理	病院建物、設備、備品、駐車場、医師住宅など有形固定資産	安全を保ち、機能を維持することにより、適正な医療が円滑に提供できる施設・療養環境とします。	18	10,563	8,165	8,165	2,398	事故による医療現場の支障発生件数	0					継続	自ら施工できることは、全て院内で実施するという基本方針のもとで、維持修繕費を抑制しながら施設管理を行なう。				
				19	9,530	7,132	7,132	2,398		0										
	20			12,053	9,655	9,655	2,398	0												
	21			19,954	17,556	17,556	2,398	件												
	浜坂病院																			

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				収入の適正処理件数	支出の適正処理件数	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						事業費	一般財源											
231241	公立病院会計経理	病院事業の全ての取引、財産(資産、負債、資本)	取引の都度、複式簿記により記帳し、期間の経営成績、期末の財産状況を明らかにし、経営の全容を数値的に把握します。現金預金等の出納、資金計画、資金・財産の適正管理を行ないます。	18	11,988		11,988	100	100	4	4	4	4	A	継続	引き続き、不適切な処理を行うことなく、適正かつ円滑に事務処理を進めていく。		
				19	11,988		11,988	100	100									
	20			10,789		10,789	100	100										
	21			10,789		10,789	%	%										
	浜坂病院																	
231242	公立病院医療事務	病院利用者	医療保険制度に基づいて、適正な医療費を請求します。診療報酬の保険者の査定による減額発生率を、同床数病院の平均値である0.3%以下を目指します。	18	24,441	3,232	3,232	21,209	99.56	99.56	4	4	4	4	A	継続	本年度同様、査定減発生率を最小限に押さえながら、適正な医療の提供ができるよう診療報酬の面からメディカルスタッフと協力していく。	
				19	23,982	3,232	3,232	20,750	99.37	99.37								
	20			25,567	5,632	5,632	19,935	99.87	99.87									
	21			27,890	3,482	3,482	24,408	%	%									
	浜坂病院																	
231243	公立病院総務(庶務・人事)	職員	医療供給体制(組織・人事・施設)を管理し、業務運営を総合調整します。	18	10,980		10,980	100	100	4	4	4	4	A	継続	常勤医の確保を公募等により進める。一方で現在の体制でより良い病院となる方策を院内の各委員会で討議し実施する。		
				19	12,200		12,200	100	100									
	20			11,988		11,988	100	100										
	21			10,790		10,790	%	%										
	浜坂病院																	
231244	介護老人保健施設総務(庶務・人事)	職員	介護体制(組織・人事・施設)を管理し、業務運営を総合調整します。	18				540	20	4	4	4	3	A	継続	おおむね処理のミスはないが、迅速丁寧に処理を継続する必要がある。		
				19	2,440		2,440	540	15									
	20			3,596		3,596	528	15										
	21			3,596		3,596	件	件										
	介護老人保健施設ささゆり																	
231245	介護老人保健施設会計経理	病院事業の全ての取引、財産(資産、負債、資本)	取引の都度、複式簿記により記帳し、期間の経営成績、期末の財産状況を明らかにし、経営の全容を数値的に把握します。現金預金等の出納、資金計画、資金・財産の適正な管理を行なう。	18	4,795		4,795	2	1	4	4	4	4	A	継続	伝票入力等の誤りがないように事務処理を進めていく。		
				19	4,795		4,795	1	2									
	20			4,795		4,795	3	1										
	21			4,795		4,795	件	件										
	介護老人保健施設ささゆり																	
231246	介護老人保健施設施設管理	建物 3057㎡ 公用車 3台	安全を保ち、機能を維持することにより、適正な介護が円滑に提供できる施設・療養環境とする。	18	25,846	19,441	19,441	6,405	1	4	4	4	4	A	継続	施設建築より10年が経過し、設備部分で老朽化が激しいため、大規模な修理が必要となっている。年次計画により、修繕を施していく必要がある。送迎については、大型車と軽自動車の老朽化が激しく、リースも含め検討する必要がある。		
				19	25,846	19,441	19,441	6,405	2									
	20			19,699	18,500	18,500	1,199	1										
	21			24,600	18,500	18,500	6,100	件	件									
	介護老人保健施設ささゆり																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
231247	介護老人保健施設契約業務	契約	契約どおり業務が履行され、施設の運営がスムーズに行なえるとともに、施設の維持管理を行い施設の延命化を図る。	18	20,632	19,433	19,433	1,199	契約不履行件数	賃貸借契約内容の見直しによるコスト削減	-105000	4	4	4	4	A	継続	毎年、契約金額を削減し業者もぎりぎりのところに来ているようで、今後、大幅な減額は見込めない。施設も設備も老化が進み、現状維持が難しい状況に来ている。価格を落とせば落とすだけの業務になり業者のサービスの低下することが懸念される。そのため、契約の仕様の見直しを検討する必要がある。
				19	19,159	17,960	17,960	1,199			-1473155							
	20			18,758	17,559	17,559	1,199	-400710										
	21			21,199	20,000	20,000	1,199	件	円									
231248	介護老人保健施設保険請求事務	施設利用者	サービスの対価としての介護報酬を適正に請求し、受領します。	18	3,050			3,050	適正請求件数	28594	4	4	4	4	A	継続	引き続き、迅速な請求事務に取り組む。	
				19	3,050			3,050		29536								
	20			2,997			2,997	30934										
	21			2,997			2,997	件										
231249	介護老人保健施設サービス計画	施設利用者	在宅復帰率	18	1,220			1,220	在宅復帰率	12	4	4	4	4	A	継続	より多くの在宅復帰を支援できるよう、入所者を増やす必要がある。	
				19	1,220			1,220		13								
	20			1,198			1,198	13										
	21			1,198			1,198	%										
231250	妊婦健康診査費助成事業	妊婦	子育て支援として妊婦がより健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎える	18	788	788	788		助成率	100	4	4	4	4	A	継続	受診回数は14回まで、助成額の限度額を8万円までとし、適正な受診をすることで安心して出産を迎えられるようにする。	
				19	3,205	1,741	1,741	1,464		100								
	20			3,879	3,280	1,645	599	100										
	21			9,399	8,800	4,675	599	%										
231251	国民健康保険特定健診事業	国保の40～74歳の被保険者	特定健康診査受診率を平成24年度に65%にして、生活習慣病の予防と異常の早期発見を行い、生活習慣病などの疾病や介護を要する状態に陥ることをできる限り予防していく。	18					受診者数		4	4	3	4	A	継続	継続して実施。極めこまやかな勧奨が必要。	
				19														
	20			6,812	5,613	1,829	1,199	1222										
	21			12,153	10,954	5,967	1,199	人	%									
231252	後期高齢者医療保険事業	後期高齢者医療制度に加入される方	新制度の主旨や内容の周知を図り、保険料の収納率の向上を目指し、後期高齢者医療制度の充実、定着を図る。	18					保険料収納率		4	4	4	4	A	継続	まずは、安定した制度の確立が必要。	
				19														
	20			178,250	171,357	171,357	6,893	99.6										
	21			193,708	186,815	186,815	6,893	%										

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					一般財源															
施策	2-4安心して子育てができ、高齢者や障害者等が暮らせるまちづくり																			
基本	2-4(1)①地域福祉の充実に努めます																			
241101	民生委員児童委員協議会運営事業	新温泉町民生委員児童委員協議会(委員数53名)	民生委員法に基づき、民生委員児童委員相互の連携調整機関として、委員活動を促進し地域福祉の向上を図る。	18	8,632	4,972	1,876	3,660	活動日数	7532	相談件数	1902	4	4	4	4	A	継続	継続して民生委員児童委員協議会の運営費を助成します。	
				19	7,725	4,675	1,547	3,050	7750	1673										
				20	8,212	4,675	1,579	3,537	7933	1364										
	福祉課						日		件											
241102	社会福祉協議会補助事業	社会福祉協議会の専門員の人員費相当を助成します。	社会福祉協議会の能率的運営と組織的活動を促進し、地域福祉の増進を図ります。	18	23,187	20,137	15,837	3,050	社協登録団体ボランティア	22	社協登録個人ボランティア	49	4	4	4	4	A	継続	平成21年度から県補助要綱は「1町・1社協」が補助対象となるので、町としても新温泉町社会福祉協議会(本部)の専門員を助成対象として見直しを行う。平成20年度は「4人の人員費相当」を平成21年度は「3人の人員費相当」とした。	
				19	20,504	18,613	14,200	1,891	39	49										
				20	14,778	14,179	14,179	599	30	62										
	福祉課						団体		人											
241103	地域福祉計画策定事業	新温泉町地域福祉計画策定委員会(委員14名)で審議し、地域福祉計画を作成	「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し地域福祉をテーマとした福祉の基本計画を策定	18					計画書		4	4	4	4	A	終了	計画期間は平成20年度から平成29年度5年後に見直しを行う。			
				19																
				20	2,029	171	171	1,858		100										
	福祉課						部													
基本	2-4(1)②仕事と子育ての両立支援に努めます																			
241201	保育所運営事業	保護者の就労等の理由により家庭で保育ができない(保育に欠ける)就学前の児童	保育中児童がけがや事故に遭うことなく安全に過ごす。児童が楽しく過ごし、集団の中でルールを学ぶことができる。保護者が保育士等保育所の職員を信頼し安心して預けることができる。	18	198,184	195,744	159,089	2,440	入所率	100	一時保育利用率	100	3	4	4	4	B	事業のやり方改善	保護者の多様なニーズへの対応と就学前保育、教育環境の地域による違いの解消のため新温泉町次世代育成支・すこやか親子21行動計画の幼保一体化計画に基づき、認定こども園を開設し、幼保一元的受入を行う。一時保育事業は民間(認可外)施設との競合を避ける。	
				19	185,442	183,002	149,459	2,440		100		100								
				20	179,684	176,687	145,550	2,997		100		100								
	福祉課						%	%												
241202	ふれあいセンター運営事業	・幼児教育を希望する就学前の幼児 ・保育に欠ける就学前までの幼児と保護者 ・ライフステージに応じた子育て支援を希望する親子	幼保一体化施設の特徴を生かし、幼児教育と保育並びに子育て支援機能がより一体的に機能することにより、園児は心豊かでたくましく生きる力の育成が図られる。また、子育て支援センターでは、子育て中の親と子が共に育ち育てられる支援機能の更なる実践と充実を図り、地域における連携の輪を広げる。	18	182,470	40,180	4,346	142,290	入園率	84	子育て支援センター利用者数	6834	4	4	4	4	A	継続	実施計画に基づく基本事業の「仕事と子育ての両立支援」に対応すべく、職員の意識改革をさらに推し進め、質の高い保育並びに幼児教育を目指す。	
				19	173,812	37,516	9,246	136,296		72		6248								
				20	168,004	37,702	9,841	130,302		73		7077								
	ふれあいセンター						%	人												

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
241203	私立保育園児童委託扶助	私立保育所	国で定められた保育単価で入所児童数、年齢に応じた適正な運営を支援する。	18	39,036	38,426	11,803	610	入所率	85	4	4	4	4	A	継続	町の幼保一元化計画に沿って、H21年度から認定こども園へ移行し、短時間児の受け入れも可能となった。今後需要に十分対応可能となるよう、園の体制を整え、保護者や地域住民の理解、信頼を育てる施設として運営されるよう町からの指導助言、財政的援助を継続して実施する。
				19	44,610	44,000	13,604	610		98							
	20			50,396	49,737	16,956	659	107									
	21							%									
	福祉課																
241204	子育て支援センター運営事業	特に就学前児童(未就園)を持つ保護者を対象とする。	センターに集うことで、就学前児童(未就園)を持つ保護者同士の交流や、職員に相談することで、子育てに関する悩みや、ストレスを解消する。	18	12,051	11,441	6,259	610	参加人数	6610	4	4	4	4	A	内容拡大	・参加しやすく、親しみのもてる人的環境に努め、あたたかい雰囲気作りをする。・遊んでみたい気持ちになる環境設定に努め、遊びやすく楽しかった気持ちが味わえるようにする。・参加者の思いをよく聞き、気持ちにより添ったかわかり・計画をたてることにより、育児者の子育てに対する自主性を引き出す。・継続性を持って、育児者を丁寧子育てしていくことで、支援の輪を広げていき、支援体制を充実する。
				19	10,803	10,498	5,556	305		8528							
	20			11,122	10,763	5,773	359	8459									
	21			12,635	12,276	7,286	359	人									
	福祉課																
241205	放課後児童健全育成事業	保護者等が労働等により、昼間家庭にいない小学校の児童	適切な遊びや生活の場を与えて、健全な育成を図る	18					のべ利用者数		4	4	4	4	A	継続	現在は、浜坂北小学校内1か所で開催し、要望があれば、校区外児童も受け入れている。他校区での需要が高まった場合の新たな開設を検討する必要がある。
				19	5,011	3,181	2,034	1,830		933							
	20			4,389	3,130	1,987	1,259	1079									
	21			5,091	3,832	2,253	1,259	人									
	福祉課																
241206	児童手当支給事務事業	小学校修了前までの児童を養育している者	所得階層の低い者が多い若年層の保護者(受給者)の負担を軽減する。	18	114,000	110,340	35,386	3,660	受給者数		4	4	4	4	A	継続	本国の少子化対策として重要な位置付けにある本制度は、今後も支給対象年齢の拡大、所得制限の緩和、手当額の拡大等、受給者にとって手厚い制度へ内容は拡大されていくと考えられる。少子化はますます進んでいることを考慮すると、内容拡大は必須と考えられる。
				19	128,085	124,425	34,121	3,660		873							
	20			123,418	119,641	31,463	3,777	828									
	21			121,285	117,508	34,415	3,777	人									
	福祉課																
241207	児童扶養手当	父親のいない家庭や父親が極めて障害の状態にある家庭の児童(18歳に達する日以降最初の3月31日までの間にある者又は20歳未満で心身に障害のある者)を監護している母等	所得水準の低い者が多い母子世帯の保護者(受給者)の負担を軽減し、自立を促進する。	18					受給権者数	87	4	4	4	4	A	継続	近年は離婚が急増しているため、制度発足時より母子世帯を取り巻く状況が大きく変わっており、母子世帯の自立を促進する方向で進められていく。
				19	628	18	18	610		88							
	20			747	28	28	719	92									
	21			747	28	28	719	人									
	福祉課																
241208	特別児童扶養手当	身体または精神に障害のある児童を監護する父等。	対象児童を養育する保護者に金銭的な支援を行うことで、負担軽減を図る。	18					受給者数	31	4	4	4	4	A	継続	本制度は障害を持つ児童を養育する保護者へ経済的、精神的負担の軽減を図る重要な役割を担っている。以前と比べ障害を持つ子どもの数が増加傾向にあり、子どもを養育する親の負担が重くなっている家庭が増加していることから、制度を維持していくことは必須といえる。
				19	656	46		610		32							
	20			704	45	1	659	29									
	21			705	46		659	人									
	福祉課																

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
241211	幼保一元化施設整備	幼保一元化を実施する民間事業者	施設整備補助金を適正に交付する。	18					補助額		4	4	4	4	A	終了	整備された施設を活用し、認定こども園として認可を受け、幼児を一元的に保育、教育を行う。	
				19														
	20			35,081	33,283	33,283	1,798	千円	33283									
	21																	
241212	乳幼児医療補助費支給事業	0歳から9歳に到達した最初の3月31日を経過していない乳児・幼児等	乳幼児等に係る医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ります	18					受給件数	医療費助成額	4	4	4	4	A	継続	平成21年7月より県の制度改革により一部負担金の見直し(700円→800円)新温泉町としては一部負担金を償還払いにより全額助成していたものを現物給付化	
				19														
	20			32,297	29,719	19,403	2,578	件	21973	千円								240878
	21			34,318	31,740	21,186	2,578											
241213	母子家庭医療扶助費支給事業	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子又は遺児	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子又は遺児に係る医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることを目的とする	18	3,919	3,919	957		医療費助成額	受給件数	4	4	4	4	A	継続	平成21年7月より県の制度改革により一部負担金の見直し(500円→600円)新温泉町としては母子、父子、遺児の経済的負担を軽減するため引き続き町単独事業により所得制限を撤廃所得制限超過者の一部負担金については経過措置対象者と同じ基準(外来:900円、入院:1,800円)	
				19	3,787	3,787	1,613											
	20			6,706	3,888	1,613	2,818	千円	1176	件								125
	21			6,425	3,607	1,570	2,818											
241214	次世代育成支援行動計画策定委員会運営事業	策定委員	策定委員会によって、次世代対策について十分な検討がされ、効果的な計画がたてられる。また、年次ごとの進捗管理がされる。	18	749	139	139	610	審議件数	4	4	4	4	4	A	内容拡大	21年度は、本計画を見直し後期計画の策定作業を行う。	
				19	661	51	51	610										
	20			695	36	36	659	件	1									
	21			814	155	155	659											
241215	保育料多子軽減事業	兵庫県の実施するひょうご多子世帯保育料軽減事業(保育所)実施要綱に基づき、多子世帯に対し、第3子以降が利用する場合の保育料を助成することにより、子育てにかかる経済的負担の軽減を図り、子どもを生きやすい環境づくりを推進する	対象世帯に対し、適正に補助金が交付される。	18					給付率		4	4	4	4	A	継続	県補助事業継続のため、町においても継続実施する。	
				19														
	20			1,334	1,034		300	%	100									
	21			1,334	1,034		300											
241216	子育て応援特別手当	世帯の中で、第2子以降である子がH14.4.2～H17.4.1までの間にいる世帯の世帯主。	多子世帯の幼児教育期における子育てを支援し、子育てを行う家庭における生活安心の確保に資する。	18					執行率		4	4	4	4	A	継続	現在本国の経済が極度に悪化しており、景気回復を図ることは緊急の課題となっている。平成20年度限りの単年度事業として対象世帯に手当を支給し景気の改善を図るが、20年度の措置が日期的に困難であるので、次年度に繰り越して事業を執行するため、次年度も継続する必要がある。	
				19														
	20			785	186	2	599											
	21			10,166,599	10,166,000		599	%										

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	一般財源	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費													
基本	2-4(1)③高齢者等が安心して暮らせるように支援します																				
241301	外出支援サービス事業	高齢者(要 保護者)	社会的に移送手段を確保することにより在宅生活を支援する。	18	2,341	1,121	923	1,220	利用者延 人数	282			4	4	3	3	A	継続	現在、自宅から医療機関、社会福祉施設への通院及び入退院の移送に限って行っていたが、移送手段の確保が困難な者に対する移送手段の確保という目的から、医療機関からの転院等へも対応できるよう、要綱改正等を行っていく。		
				19	2,554	1,334	1,118	1,220		323											
	20			2,794	1,295	1,087	1,499	297													
	21			2,988	1,489	1,285	1,499	人													
	福祉課																				
241302	軽度生活援助事業	一人暮らし高 齢者等(要 保護者)	生活援助を必要とするひとり暮らし高齢者等にホームヘルパーを派遣し在宅生活を支援します。	18	1,839	1,229	1,111	610	利用者延 人数	538			4	4	3	3	A	継続	介護保険制度を優先し、介護保険対象外の者、介護認定で非該当となった者、また、介護保険認定申請から決定までの期間にホームヘルパーを派遣する。		
				19	1,634	1,573	1,422	61		343											
	20			686	626	566	60	301													
	21			1,059	999	903	60	人													
	福祉課																				
241303	緊急通報システム事業	高齢者(要 保護者)	急病や事故などの緊急事態になった時、近隣協力員等の協力を得て、いち早く助けられる体制を作り、生活の安全を確保します。	18	8,154	7,544	7,544	610	活動件数	10			4	4	3	3	A	継続	古い機種を新しい機種へと更新していく。		
				19	8,176	7,566	7,566	610		8											
	20			8,488	7,589	7,589	899	2													
	21			8,889	7,990	7,990	899	件													
	福祉課																				
241304	高齢者生きがい活動支援通所事業	高齢者(60歳 以上)	通所の方法により施設において、各種のサービスを提供することにより、高齢者の介護予防、健康増進を図ります。	18	10,565	10,260	5,260	305	利用者数	4166			4	4	3	3	A	継続	多くの高齢者に利用していただき、高齢者の自立支援につなげる。		
				19	9,722	9,661	4,881	61		3948											
	20			8,405	8,105	4,010	300	3413													
	21			9,876	9,576	4,824	300	人													
	福祉課																				
241305	高齢者生活福祉センター運営事業	高齢者(60歳 以上の要 保護者)	介護支援機能、居住機能、交流機能を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援します。	18	9,222	8,734	8,369	488	入居率	40			4	4	4	3	A	継続	入所者の増員に向けて、居宅事業所のケアマネ、民生委員等に引き続き周知する。		
				19	7,974	6,693	6,253	1,281		50											
	20			8,171	7,392	6,873	779	70													
	21			8,209	7,430	6,883	779	%													
	福祉課																				
241306	長寿・敬老祝福事業	満88歳・地区・ 地域	高齢者の長寿及び敬老を祝福するとともに、町民の敬老思想の高揚を図ります。	18	7,700	6,480	6,480	1,220	祝品受給 率		地域敬老 会開催地 区数	36	4	4	4	4	A	継続	平成19年度より、満88歳・満77歳の方への節目の支給と、地域が開催する地域敬老会開催事業支援を実施してきたが、平成20年度予算査定の中で、最高齢者・最高齢夫婦・満77歳に対する祝品支給事業への予算確保がでず、事業規模を縮小して実施していく。		
				19	4,911	4,301	4,301	610		100											
	20			3,134	2,235	2,235	899	100													
	21			3,797	2,898	2,898	899	%													
	福祉課																				



平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
241307	百寿祝品支給事業	百寿者(満年齢100歳に達した者で、本町に住所を有し、引き続き10年以上居住している者)	町民の敬老思想の高揚を図ります。満100歳の誕生日に対象者を訪問し、記念品(額)を贈呈し、その長寿を祝福する。	18	494	189	189	305	被贈呈率	100		4	4	4	4	A	継続	このまま事業継続する。
				19	1,114	504	504	610		100								
	20			881	282	282	599	100										
	21			914	315	315	599	%										
	福祉課																	
241308	金婚夫婦祝福事業	金婚夫婦	結婚50年を迎えられた夫婦の長寿と家門の繁栄を祝福し、これを機に、より一層健康を保ち、健やかに過ごしていくこと。	18	941	331	331	610	参加率	77.8	配付率	3	4	3	4	A	継続	平成20年度より、神戸新聞社主催の金婚夫婦祝福式典参加者送迎を廃止し、金婚夫婦を募集して、9月の高齢者健康福祉月間に金婚夫婦へ祝品等を贈呈する。
				19	1,024	414	414	610		72.5								
	20			445	145	145	300											
	21			487	187	187	300	%	%									
	福祉課																	
241309	老人クラブ助成事業	単位すこやかクラブ・新温泉町すこやかクラブ連合会	高齢者の知識及び経験を生かし、生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を通じ、老後の生活を豊かなものとする。	18					加入率			3	4	3	3	B	内容縮小	県補助額が行財政構造改革により県補助額が見直されたため、県補助対象となる大クラブの補助額が10%減額となった。これを受け、県補助対象外である小クラブの補助額についても、10%程度減額する。
				19	7,861	7,251	2,884	610		52.2								
	20			7,282	6,383	2,862	899	48.6										
	21			7,682	6,783	3,262	899	%										
	福祉課																	
241310	高齢者等住宅改造成事業	①介護保険の認定を受けた者 ②身体障害者手帳1級又は2級の者 ③療育手帳「A」判定の者	低所得の高齢者・障害者等の世帯の住宅改造成に要する経費を助成して、住み慣れた住宅で安心して自立した生活を送ることができる住宅環境を整備します。	18	759	698	349	61	改造成費助成件数	1		4	3	4	3	A	継続	県の事業実施状況に合わせ事業内容の見直しを行う。
				19	61			61		0								
	20			2,181	1,761	881	420	3										
	21			1,420	1,000	500	420	件										
	福祉課																	
241311	高齢者生きがい施設運営事業	高齢者の健康増進、世代間及び地域間の交流促進	町内外の利用者がゆっくりくつろげる施設。生きがい活動支援(カラオケやゲーム、卓球などができる。)	18	46,248	30,894	30,894	15,354	利用者数	78057		4	4	4	4	A	継続	改革・改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①魅力ある施設づくり サウナ風呂やカラオケルームの新設検討、施設の内外装・外構改修 ②施設の有効利用 機能回復室や研修室の利用増、健康器具設置検討、使用料見直し検討 ③運営形態の検討
				19	59,467	44,113	16,613	15,354		78495								
	20			33,589	18,235	18,235	15,354	81837										
	21			55,329	39,975	18,675	15,354	人										
	福祉課																	
241312	無年金外国籍高齢者等福祉給付金支給事業	国民年金制度上、国籍要件があったために国民年金の受給資格を得ることのできなかつた在日外国籍高齢者	制度上の要件により公的援助が受けられなかった方に給付金を支給することにより、地域生活への支援を行う。	18	454	332	166	122	支給人数	1		4	4	3	4	A	継続	県の基準に準じる。
				19	958	348	174	610		1								
	20			468	348	174	120	1										
	21			480	360	180	120	人										
	福祉課																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
241313	国民年金事務	国民年金被保険者(20歳～60歳)、請求者(老齢65歳、障害20歳以上)	年金制度に対する理解を深め、年金に関する諸手続きについて周知してもらう。	18					免除保険者数		学生納付・納付猶予保険者数		4	4	4	4	A	継続	広報を積極的にいき、年金制度の周知に努める。
				19															
	20			5,323	528		4,795	人	人										
	21			5,676	701		4,975												
健康課																			
241315	農業者年金受託事業	加入対象者(農業者)	農業者の老齢について必要な年金等の給付事業を行うことにより、国民年金の給付と相まって農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上を図るとともに、農業者の確保に資することを目的とする。	18					新制度加入者数		新制度加入率		4	4	4	4	A	継続	平成21年度は農業者年金加入推進(3カ年計画最終年度)となる。本町は数値目標をすでに達成しているが、さらに加入者の上乗せを目指す。
				19				9											
	20			959			959	13	36.1	人	%								
	21			959			959												
農業委員会、産業建設課																			
241331	家族介護手当事業	在宅の要介護4以上相当で、市町村民税非課税世帯の高齢者を現に介護している家族(介護者)	高齢者等を介護している家族の精神的・経済的負担を軽減し要介護高齢者の在宅生活の継続を図ります。	18	303	120	47	183	支給者数				4	3	4	4	B	継続	県の事業実施状況に合わせ事業の見直しを行う。
				19	181	120	47	61											
	20			180	120	47	60	人											
	21			390	360	142	30												
福祉課																			
241332	介護用品の支給	在宅の要介護4以上相当で、市町村民税非課税世帯の高齢者を現に介護している家族(介護者)	高齢者等を介護している家族の経済的負担を軽減し要介護高齢者の在宅生活の継続を図ります。	18	362	179	70	183	支給者数				3	4	4	3	B	継続	県の事業実施状況に合わせ事業の見直しを行う。上限額(75,000円)の見直しを要するが、上限額利用者もいる現実もある。(社協で購入者) *類似事業…「紙おむつ給付事業」5,000円相当分(社協事業)
				19	355	172	68	183											
	20			306	246	100	60	人											
	21			510	450	177	60												
福祉課																			
241333	家族介護者交流事業	介護者	高齢者等を介護している家族の身体的・精神的負担を軽減し要介護高齢者の在宅生活の継続を図ります。	18	636	453	178	183	参加延べ人数				3	3	4	3	B	継続	委託料の見直しなど検討する。
				19	533	350	137	183											
	20			310	250	98	60	人											
	21			310	250	98	60												
福祉課																			
基本	2-4(1)④介護サービスで高齢者が自立できるよう支援します																		
241401	第1号被保険者介護保険料賦課徴収事業	65歳以上の高齢者	町介護保険条例に基づき、所得段階に応じて保険料の賦課徴収を行う。	18	4,279	314	314	3,965	特別徴収徴収率	100	普通徴収徴収率	96.5	4	4	3	4	A	継続	滞納者について、納期到来後早い時期に隣戸訪問をし、制度の説明等を行い徴収に当る。
				19	5,501	72	72	5,429											
	20			5,389	54	54	5,335	100	94.8	%	%								
	21			5,409	74	74	5,335												
福祉課																			

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
241402	介護保険資格管理事業	65歳以上の高齢者(40歳以上で特定疾病により介護が必要となった者も含む)	年齢到達者や転入による対象者全員に、介護保険被保険者証を交付する。居所不明により交付できない場合においては戸籍担当と協議し資格を職権消除する。	18	1,342	122	122	1,220	被保険者証交付率	100	4	4	4	4	A	継続	国の制度であり、今後も継続して実施する。住基の異動による資格の異動が起こり得るが、温泉地域ではすこやか～に介護保険担当窓口がある。(住基担当窓口と離れているため、資格異動等に即時対応が難しい)
				19	1,336	116	116	1,220									
	20			3,057			3,057	100									
	21			3,057			3,057	%									
241403	老人福祉施設措置事業	65歳以上の高齢者(環境上の理由及び経済的理由により在宅において日常生活を営むのに支障があるも)	日常生活や健康面において安心安全な生活の確保を図ります。	18	23,458	22,848	19,775	610	新規措置者	年度末対象者	4	4	4	4	A	継続	措置の法的性格により、入所措置は高齢者からの申請により開始するのではなく、措置の実施者である町が職権によって自主的に行うものである。そのことを踏まえ、今後も高齢者の総合相談窓口である、地域包括支援センターを中心に関係機関等の協力を得ながら、高齢者の状況を的確に把握し、積極的に措置の対象とみられる高齢者の発見に努めなければならない。
				19	28,036	27,426	24,405	610									
	20			17,306	16,107	13,488	1,199										
	21			16,172	14,973	12,204	1,199	人									
241404	介護保険給付事業	加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となった要介護(支援)認定者	対象者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、適切な介護(予防)給付を行うことにより、対象者・介護者の生活支援、自立支援を図る	18	1,013,238	1,007,870	272,598	5,368	利用延人数	18969	4	4	4	4	A	継続	高齢化に伴い要介護(支援)認定者は今後も増加していく見込みであり、給付費の減少は見込めない給付の適正化を図ることにより極力不正請求等の防止に努める。
				19	1,124,016	1,120,844	300,153	3,172									
	20			1,166,667	1,163,550	143,522	3,117	19597									
	21			1,181,645	1,178,528	139,557	3,117	人									
241406	介護保険事業計画策定委員会事業	介護保険事業計画策定委員会委員	計画策定及び進捗管理を行い、介護保険事業の円滑な運営に寄与する。	18	3,112	62	62	3,050	実施計画実施率	協議件数	4	4	4	4	A	継続	平成21年度は第4期介護保険事業計画の初年度であり、進捗管理を行う。
				19	2,635	73	73	2,562									
	20			4,141	1,024	1,024	3,117	100									
	21			3,244	127	127	3,117	%									
241407	社会福祉法人等利用者負担額軽減措置事業	低所得で生計が困難である者について、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等であって、当事業に係る利用者負担額の軽減を行うことを知事及び町長に申し出た者	社会福祉法人等が、その社会的役割に鑑み、利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図る。	18	1,029	1,029	258	軽減証交付者数	12	利用法人数	4	4	3	4	A	継続	社会福祉法人等減免を実施している事業所のみ対象であり、同じ生活困難者でも入所している施設により制度の恩恵を受けることが出来ない。事業所に働きかける必要がある。
				19	1,867	281	71										
	20			972	253	64	719										
	21			972	253	64	719	人	施設								
241408	介護予防マネジメント業務	介護認定者以外の地域高齢者(4504人)	要介護状態の発生をできる限り防ぎ、地域で安心して高齢者が生活出来るように支援する。	18	8,336	2,602	528	5,734	実施率	65歳以上の参加率	4	4	4	4	A	継続	介護予防は若いときから、身近な地域で健康づくりに取り組める環境づくり、地域づくりについてとりくむ。リーダー育成のためのボランティア養成、
				19	7,872	2,748	558	5,124									
	20			6,631	2,855	356	3,776										
	21			6,947	3,171	396	3,776										

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
241409	総合相談支援業務	高齢者、その家族	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援していく。また、緊急対応が必要な方には当事者の課題を明確にし、個別の支援計画を策定し、それに基づき適切に支援をしていく。	18	4,142	55	12	4,087	支援計画		4	4	4	4	A	継続	地域住民から相談が入りやすい体制づくり 地域ケア関係機関と引き続き連携して問題解決に取り組む
				19	3,570	93	21	3,477									
	20			4,431	115	15	4,316										
	21			4,036	200	25	3,836										
	福祉課																
241410	権利擁護事業	高齢者や地域住民(5301人)	高齢者の尊厳を保持するため、地域の関係機関等との連携により、地域の高齢者虐待防止ネットワークを形成し、住み慣れた地域における高齢者の安心した生活を確保していく。	18	4,682	46	11	4,636	参加者数	協議件数	4	4	4	4	A	継続	高齢者の権利擁護、虐待への理解を深め、早期発見・早期対応で予防していくことを目標に、地域から相談が寄せられやすい体制の整備、広報を行う。 虐待の起きにくい地域づくりに取り組む。介護予防事業とともに地域住民の関係作りへの取り組み、認知症への理解を広める。
				19	4,725	89	18	4,636									
	20			3,284	89	12	3,195										
	21			3,353	158	20	3,195										
	福祉課																
241411	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	○地域の高齢者(65歳以上) ○地域のケアスタッフ	○住み慣れた地域、在宅での生活を継続していくことができる ○資質の向上、関係機関とのネットワーク構築	18	7,105	761	96	6,344	サービス担当者会議	地域包括支援センター研修会	4	4	4	4	A	継続	高齢化は加速し、また高齢者の在宅生活、介護などを困難にしている要因、多様化・複雑化してきている。 今後も高齢者の状況・変化に応じて、包括的・継続的支援をしていけるよう、事業の継続が必要である。
				19	6,308	574	117	5,734									
	20			4,316	1,139	142	3,177										
	21			4,523	1,346	168	3,177										
	福祉課																
241412	在宅介護支援センター運営事業	温泉地域の高齢者(2232人)とその家族	身体機能が低下しても、可能な限り住み慣れた地域社会で家族や隣人と暮らしたい。という高齢者の希望をかなえる。	18	4,117	2,775	2,775	1,342	総合相談業務 高齢者実態把握	723	4	4	4	4	A	継続	体制を堅持する。
				19	4,496	2,544	2,544	1,952									
	20			3,359	1,920	1,920	1,439										
	21			3,359	1,920	1,920	1,439										
	福祉課																
241417	老人保健医療給付事業	・75歳以上の者 ・65歳から75歳未満の者で、政令で定める障害の状態にある者	対象者に適正な医療給付を行うことにより福祉の向上に努める。	18					医療費助成額	受給件数	4	4	4	4	A	内容縮小	20年4月から後期高齢者医療制度が始まったことにより制度が廃止となり、21年度、22年度で過誤等の精算処理を行う。
				19													
	20			203,253	202,654	6,393	599										
	21			580	580	580											
	健康課																
241418	老人医療扶助費支給事業	65歳の誕生日の属する月の初日から70歳に到達する月の末日を経過していない者	老人に係る医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ります	18					受給件数	医療費助成額	4	4	4	4	A	継続	平成21年7月より県の制度改正により対象者の見直し(所得制限基準の引き下げ) 新温泉町としては高齢者の経済的負担を軽減するため引き続き町単独事業により所得制限を撤廃 所得制限超過者の一部負担金については現行の基準(2割負担、外来限度額 月12,000円、入院限度額 月44,400円)を適用
				19													
	20			33,785	30,188	18,589	3,597										
	21			33,399	29,802	23,907	3,597										
	健康課																

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
241420	介護予防事業	65歳以上の高齢者に生活機能評価25項目を実施し、スクリーニングにより対象者を抽出。(4504人)	要介護状態になることを予防する。	18	3,897	1,993	1,993	1,904	実施率	65歳以上の参加率	4	4	4	4	A	継続	介護予防は若い時から、身近な地域で健康づくりに取り組める環境づくり、地域づくりについて取り組む。地域の状況を把握するなかで不足しているものは何か、人・物・場所など評価していく。	
				19	4,706	3,254	3,254	1,452										100
	20			12,014	3,771	471	8,243											
	21			13,419	6,466	809	6,953	回										回
	福祉課																	
241421	入所判定委員会	環境上の理由、経済的理由等により生活困難者	養護老人ホームへの適切な入所措置。	18	317	12	12	305	判定件数		4	3	4	4	A	継続	老人福祉法に基づき実施していく。	
				19	305			305										
	20			300			300											
	21			390	90	90	300	回										
	福祉課																	
241422	訪問理美容サービス事業	高齢者(要援護者)	加齢による身体機能の低下のために、理美容院へ出向くことが困難な高齢者等に、出張による訪問理美容サービスを提供し在宅生活を支援します。	18	65	4	4	61	利用延べ人数		3	3	3	3	C	事業のやり方改善	町内の理美容事業者へ、要援護高齢者への訪問理美容代を免除していただけるよう働きかける。	
				19	87	26	26	61										1
	20			63	3	3	60	2										
	21			68	8	8	60	人										
	福祉課													C	事業のやり方改善	一次評価どおり事業を推進する。		
241423	介護予防支援業務	介護保険認定者要支援1.2	要支援状態の改善や重度化予防を行うことにより、本人ができるだけ本人が行えるようにする。	18	3,782			3,782	ケアプラン作成		4	4	4	4	A	継続	ケアマネを増員して増加傾向にあるプラン作成を解消していきたい。	
				19	5,002			5,002										
	20			3,117			3,117											
	21			3,117			3,117											
	福祉課																	
241424	在宅老人日常生活用具給付等事業	低所得者のひとり暮らし高齢者等(要援護者)	日常生活用具を給付・貸与し、日常生活の便宜を図ります。	18	76	15	15	61	貸与・給付実績		3	3	3	3	C	事業のやり方改善	平成17年度で県補助対象事業であったが、現在、町単事業となったため、支給する用具の基準額を明確にする必要がある。	
				19	61			61										
	20			60			60											
	21			95	35	35	60	件										
	福祉課													C	事業のやり方改善	一次評価どおり事業を推進する。		
241426	要支援・要介護認定事業	介護保険被保険者で介護サービスが必要な者	介護保険法に定められた基準に従い、要支援、要介護別に適正な認定を行い、介護保険サービスの受給に繋げる。	18	16,428	7,935	7,935	8,493	不服申立件数	1	平均処理日数	4	4	4	4	A	継続	主治医意見書の提出が遅れることにより介護保険サービスの適正な実施ができない場合がある。処理期間の短縮に努め、介護保険サービスの適正な実施を行う。介護保険法により平成20年4月から新規の要介護(支援)認定申請者の訪問調査については、公平公正の観点から町職員で行うこととされたため、遠方を除き町職員で実施する(他市町への委託含む)。又給付適正化の観点からも施設長期入所者の更新申請については2回に1回は町の職員で行うよう努める。要介護(支援)認定は原則30日以内に決定することと定められているため、処理期間の短縮に努める。
				19	14,570	6,077	6,077	8,493										
	20			18,977	6,423	6,423	12,554											
	21			19,644	7,090	7,090	12,554	件数										
	福祉課																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円			必要 性			有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案			
					総事業費	事業費	一般財源										人件費		
241429	特別養護老人ホームゆむら運営事業	特別養護老人ホームゆむらの健全な運営を図ります。	償還期間の平成24年度まで助成し健全な運営を図ります。	18	11,086	9,196	9,196	1,890	償還金助成	9196	4	4	4	4	A	継続	償還期間の平成24年度まで助成します。		
				19	9,683	9,012	9,012	671		9012									
				20	9,128	8,828	8,828	300	8828										
	21	8,944	8,644	8,644	300	千円													
基本	2-4(1)⑤障害者等が自立できるよう支援します																		
241501	障害者社会参加促進事業	町内に居住する身体障害者(ただし、対象範囲及び所得要件等において一定要件あり)	身体に障害のある方の就労支援を行うとともに、社会参加の促進を図る。	18	161	100	25	61	自動車運転免許取得費助成 自動車改造経費助成		4	4	4	4	A	継続	自動車運転免許取得費助成事業について、身体障害者に限定した事業となっており、知的障害者及び精神障害者が対象となっていない。求職活動を行う上で運転免許の有無は大きな意味を持つため、障害のある方への社会参加支援という観点から、20年度において知的障害者及び精神障害者も対象に加えることを含めた制度全般の見直しを予定している。		
				19	383	200	50	183		2									
				20	420	300	75	120	3										
	21	520	400	100	120	件													
	福祉課																		
241502	重度心身障害者(児)介護手当支給事業	65歳未満の在宅の重度心身障害者(児)を介護する者	介護者に手当を支給することにより、介護者及び重度心身障害者(児)に係る負担の軽減を図ります。	18	602	480	240	122	受給者数	4	支給総額	480	4	4	2	4	A	継続	制度見直し(平成20年8月分～)により、受給者が2名(見直し前は3名)となっている。より事業の周知を徹底し、対象者の掘り起こしを図る必要がある。
				19	725	420	210	305		4		420							
				20	600	300	158	300	3	300									
	21	660	360	210	300	人	千円												
	福祉課																		
241503	重度障害児・者等日常生活用具給付等事業	重度の身体及び知的障害児・者等	市町事業としての裁量を最大限に発揮するため、利用者の状況に応じた柔軟な事業形態に努め、障害者等の地域生活を支援する。	18	1,599	989	248	610	給付件数		4	4	4	4	A	継続	単に給付してそれを公費負担するだけでなく、申請された方が使いやすい商品を生産者に給付することに努める。		
				19	3,182	2,267	567	915		154									
				20	3,162	2,263	566	899	203										
	21	3,439	2,540	635	899	件													
	福祉課																		
241509	身体障害者(児)補装具費支給事業	身体障害者(児)	身体障害者(児)に対し、補装具(身体上の障害を補うための用具)の購入又は修理に係る費用を支給することで、日常生活の便宜を図ります。	18	4,848	3,628	936	1,220	支給対象補装具数		支給総額		4	4	4	A	継続	事業の周知や関係機関との連携を徹底しながら、事業を継続していく。	
				19	5,426	4,206	1,053	1,220		46		4206							
				20	4,350	2,971	744	1,379	46	2971									
	21	5,379	4,000	1,000	1,379	具	千円												
	福祉課																		

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段：一次評価、下段：二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
241510	身体障害者自立支援医療(更生医療)給付事業	更生医療(ペースメーカー植込み術や人工関節置換術等、生活能力の回復・向上等を目的とした医療)を受ける、18歳以上の身体障害者手帳所持者	更生医療給付の必要性を個別に検討して支給認定することで、対象者の医療費負担軽減を図ります。	18	560	255	△ 209	305	更生医療給付費実支給者数	4	更生医療給付費実支給率	40	4	2	4	4	B	事業のやり方改善	制度自体(更生医療及び兵庫県福祉医療)に見直しの余地があると思われるが、まず町としては「①対象者の掘り起こし(認知度の低い更生医療を広く町民に周知・説明する)」・「②不要な申請の排除(事前に受診者や医療機関から相談等があった時に、関係部署と調整の上で個別に判断し、必要な場合にのみ申請手続きを進めてもらう)」について、次年度もより一層徹底することが重要である。また、受診者の利便性向上のため、町内の医療機関(薬局)へ指定に係る指図書も必要である。
				19	8,839	7,924	700	915											
	20			4,596	3,397	△ 100	1,199	8											
	21			15,004	13,805	3,455	1,199	人											
241511	知的障害者職親委託事業	知的障害者	職親による生活指導及び技能習得訓練業務を通じて、社会的自立及び地域生活への移行につなげていく。	18	482	360	90	122	委託件数	1	4	3	4	4	A	継続	事業自体は引き続き実施していく必要があるが、現在の利用者に対し、ステップアップのための場所を検討する必要がある。		
				19	482	360	90	122											
	20			420	360	90	60	1											
	21			420	360	90	60	件											
241512	障害者福祉金	重度身体障害者(児) 知的障害者(児) 精神障害者	障害者(児)又は当該者を扶養する者に対し、福祉金を支給することにより、福祉の向上を図ります。	18	4,535	4,047	4,047	488	総支給者数	396	支給率	76.5	3	2	3	3	C	抜本的見直し	平成21年度も引き続き、事業の抜本的見直しについて検討する。
				19	4,964	4,354	4,354	610											
	20			5,107	4,508	4,508	599	401											
	21			5,399	4,800	4,800	599	人											
241513	障害者小規模作業所支援事業(精神)	精神障害者小規模作業所を運営する者	在宅で生活するところの病気を持つ方への居場所づくりや社会参加のためのステップとなる小規模作業所を運営する者への運営所助成を行うとともに、送迎機能や相談機能等さらなる充実を進めていく。	18	4,568	4,263	1,767	305	延利用者数	106	4	4	4	3	A	終了	21年2月にNPO法人「サポートのぎく」を取得し、障害者地域活動支援センターの移行要件を概ね満たすことができたため、21年4月より障害者地域活動支援センター「のぎく作業所」として新たに事業を実施していく。		
				19	4,507	4,263	2,112	244											
	20			4,624	4,264	2,515	360	141											
	21							人											
241514	知的障害者自立生活訓練事業(わくわくホーム「いずみ」運営事業)	知的障害者生活訓練施設(訓練ホーム)を運営する者	知的障害者の社会的自立のための訓練施設として位置付け、運営主体への支援を行う。	18	2,837	2,532	1,266	305	延利用者数	620	4	3	3	4	A	継続	地域生活支援事業の生活訓練事業として引き続き実施していくこととする。現行制度の課題として、アパートの1室を借りて実施しているため、部屋が少なく、同時に異性を受け入れることができない環境にある。		
				19	2,776	2,532	1,266	244										625	
	20			2,712	2,532	1,266	180	663											
	21			2,712	2,532	1,266	180	人											

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				件	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						事業費	一般財源											人件費
241515	難病患者居宅生活支援事業	難病患者等のうち、介護保険法、老人福祉法、障害者自立支援法等の施策の対象外となる人	在宅で生活する難病患者が居宅介護、短期入所の利用並びに日常生活用具の給付を行った場合、その費用に要する経費の一部を負担し、在宅生活の継続並びに介護者の負担軽減を図ります。	18	610		610	利用件数		4	4	1	3	A	継続	事業の周知や関係機関との連携を徹底しながら、事業を継続していく。		
				19	183		183											
	20			180		180												
	21			527	347	89	180										件	
241516	ホームヘルプ低所得者軽減事業	障害者施策によるホームヘルプサービス(応能負担)を利用して低所得の障害者が介護保険制度(原則1割負担)の適用を受けることになった場合、その利用者負担を軽減することにより、訪問介護等の継続的な利用の促進を図ります。	障害者施策によるホームヘルプサービス(応能負担)を利用して低所得の障害者が介護保険制度(原則1割負担)の適用を受けることになった場合、その利用者負担を軽減することにより、訪問介護等の継続的な利用の促進を図ります。	18	384	18	366	利用率		4	4	4	4	A	継続	障害者施策からの制度移行による対象者がでてくる可能性はあるので継続して事業を行う。		
				19	366		366											
	20			366		366												
	21			369	3	1	366										%	
241517	寡婦医療扶助費支給事業	母子家庭医療の給付を受けられなくなった母、父	母子家庭医療の給付を受けられなくなった母に係る医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることを目的とする	18	83	83	83	医療費助成額		4	4	4	4	A	継続	平成21年7月より県の制度改正により一部負担金の見直し(500円→600円) 新温泉町としては母子、父子、遺児の経済的負担を軽減するため引き続き町単独事業により所得制限を撤廃 所得制限超過者の一部負担金については経過措置対象者と同じ基準(外来:900円、入院:1,800円)		
				19	792	792	792											
	20			1,823	624	624	1,199										624	49
	21			1,740	541	541	1,199										千円	件
241518	精神障害者医療費扶助費支給事業	精神障害者保健福祉手帳1級保持者	精神障害者に係る医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることを目的とする	18				受給件数		4	4	4	4	A	継続	平成21年7月より県の制度改正により対象者の見直し(所得制限基準の引き下げ→2年間の経過措置あり) 平成21年7月より県の制度改正により一部負担金の見直し(500円→600円) 新温泉町としては精神障害者の経済的負担を軽減するため引き続き町単独事業により所得制限を撤廃 所得制限超過者の一部負担金については経過措置対象者と同じ基準(外来:900円、入院:1,800円)		
				19														
	20			369	69	37	300										13	68
	21			305	5	2	300										件	千円
241519	人工透析通院費助成事業	人工透析患者の通院費を助成します。	人工透析患者の通院費を助成し、福祉の増進をはかる。	18				助成決定件数		4	4	4	4	A	継続	今までは、通院費12ヶ月を年度末に支給していたが、21年4月より毎月申請が基本となった。できるだけ申請してもらえよう周知していきたいと思う。		
				19														
	20			1,559	960	960	599										40	960
	21			1,559	960	960	599										件	千円
241520	高齢重度障害者医療扶助費支給事業	後期高齢者医療制度に加入し次の①～③に該当する者 ①身体障害者手帳1～2級保持者 ②療育手帳療育手帳A判定保持者 ③精神障害者保健福祉手帳1級保持者	高齢重度障害者に係る医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることを目的とする	18				受給件数		4	4	4	4	A	継続	平成21年7月より県の制度改正により対象者の見直し(所得制限基準の引き下げ→2年間の経過措置あり) 平成21年7月より県の制度改正により一部負担金の見直し(500円→600円) 新温泉町としては高齢重度障害者の経済的負担を軽減するため引き続き町単独事業により所得制限を撤廃 所得制限超過者の一部負担金については経過措置対象者と同じ基準(外来:900円、入院:1,800円)		
				19														
	20			19,402	16,885	9,451	2,517										9119	16313
	21			20,814	18,297	9,471	2,517										件	千円



平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費				人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
241521	地域療育支援事業	障害のある(発達の遅れ)児童・幼児	障害のある児への療育訓練を実施し、また発達を促す支援をする。また家庭や保育所、学校との連携により、情報の共有化により、同じ目的、課題を持って、支援ができる	18				参加延人数 252								継続	個人の支援の部分では、その都度、検討しながら関係機関と連携を取っていく。事業の継続を希望する。
				19													
	20			2,098			2,098										
	21			2,098			2,098										
	健康課																
241524	重度障害者医療扶助費支給事業	身体障害者手帳1～2級保持者 療育手帳療育手帳A判定保持者	重度(心身)障害者に係る医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることを目的とする	18				受給件数 2197	医療費助成額 176699							継続	平成21年7月より県の制度改正により対象者の見直し(所得制限基準の引き下げ→2年間の経過措置あり) 平成21年7月より県の制度改正により一部負担金の見直し(500円→600円) 新温泉町としては重度(心身)障害者の経済的負担を軽減するため引き続き町単独事業により所得制限を撤廃 所得制限超過者の一部負担金については経過措置対象者と同一基準(外来:900円、入院:1,800円)
				19													
	20			14,985	14,386	7,669	599										
	21			12,578	11,979	6,180	599										
	健康課																
241526	障害区分認定審査会事業	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスのうち、介護給付サービスを受けようとする者	急な場合でもサービスが利用できるよう、できるだけ多くの方に認定を受けていただく。	18				審査会件数 32								継続	審査会委員の任期満了に伴い、20年4月1日付けで新たに5名の委嘱を行った。(再任4名、新規1名)
				19	1,198	466	211										
	20			1,224	505	253	719										
	21			1,590	871	436	719										
	福祉課																
241527	障害福祉計画等策定事業	住民	障害のある方が地域で安心して暮らすことができるよう、障害者福祉に関する総合的な計画を策定する。	18				障害福祉計画(第1期見直し) 100								継続	20年度において、18年度から20年度までの第1期計画の見直しを行い、第2期計画として21年度から23年度までの障害福祉サービスの見込量等を策定した。
				19	244												
	20			599			599										
	21																
	福祉課																
241528	障害児・者移動支援事業	身体・知的・精神障害者及び障害児であって、外出時での移動に介助を必要とする方	外出時の移動をサポートすることにより、地域生活への支援と社会参加の促進を図る。	18				利用人員 6								継続	利用者のニーズにより柔軟に対応できるよう、町内事業者の移動支援専従ヘルパーの確立を目指す。
				19	618	313	79										
	20			734	434	109	300										
	21			1,091	791	198	300										
	福祉課																
241529	障害児・者日中一時支援事業	身体・知的・精神障害者及び障害児	日中において預かり等のサービスを提供することにより、地域生活への支援、保護者等の就労支援及び負担軽減を図る。	18				利用人員 5								継続	日中預かりについて、利用者のニーズにより柔軟に対応できるよう、町内事業者による早期の事業実施を目指す。
				19	966	722	181										
	20			631	391	98	240										
	21			1,280	1,040	260	240										
	福祉課																

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
241530	障害児・者相談支援事業	身体・知的・精神障害者及び障害児	多様なニーズに対応するため、相談支援事業等の専門機関に関わってもらいながら、相談支援体制を充実させていく。	18					延相談件数 213								内容拡大	精神保健分野の相談では、継続相談となるケースが多いが相談を受けるにとどまり、次になかなか繋がらないといったこと、全般を通して困難事例について検討する場がないことなど、実施してから2年が経過して課題が出てきている。地域生活支援事業における市町の必須事業として、さらなる充実が必要である。
				19	2,279	1,791	1,791	488										
	20			2,655	2,056	2,056	599											
	21			2,655	2,056	2,056	599											
	福祉課																	
241531	障害者コミュニケーション支援事業	聴覚、言語、音声機能障害等により意思の疎通を図ることに支障のある方	手話通訳者等を派遣することにより、意思疎通の円滑化を図る。	18					利用者 1								継続	町内に派遣できる手話通訳者等がおらず、現利用者はひょうご手話通訳センターからの調整のもとで、町外の有資格者に対応してもらっている状況であるため、有資格者の養成が急務となっている。
				19	273	29	8	244										
	20			371	71	18	300											
	21			402	102	26	300											
	福祉課																	
241534	介護給付・訓練等給付費	身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児	サービスが必要とされる方に支給決定を行い、適切なサービス提供につなげていく。	18					利用者 70								継続	
				19														
	20			1,678			1,678											
	21			1,780	102	26	1,678											
	福祉課																	
241535	障害者地域活動支援センター事業	障害者地域活動支援センターを運営する者	運営費助成を行うことにより、事業所の安定経営を支援する。	18					延利用者 312								継続	精神障害者小規模作業所であるのびく作業所が、21年度より地域活動支援センターとして事業実施する。
				19														
	20			15,462	15,042	10,292	420											
	21			23,106	22,326	14,611	780											
	福祉課																	
政策	3<<誇り・生きがい>>ころ豊かな人づくり																	
施策	3-1人権が尊重されるまちづくり																	
基本	3-1(1)①人権問題の解消に向けた推進体制を確立します																	
311101	人権相談事業	住民	基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図るために、基本的人権が侵犯されることのないよう監視し、侵犯された場合にはその救済のためすみやかな処置をとるとともに、常に自由人権思想の普及高揚に努めること等を任務とする人権擁護委員等の活動を支援する。	18	410	105	105	915	人権相談件数 12								継続	人権相談開設方法(1回あたりの人権擁護委員の人数)の統一
				19	463	158	158	915										
	20			992	93	63	899											
	21			1,082	183	153	899											
	人権推進室																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案				
						一般財源															
311102	隣保館運営	歴史的社会的理由により、生活環境等の安定向上を図る必要がある地域及びその周辺地域の住民	地域住民の生活の社会的、経済的、文化的改善向上を図るとともに、人権・同和問題の速やかな解決に資する	18	16,199	16,199	7,833	13,067	年間事業参加者数	1080	年間会館利用者数	5931	4	4	3	4	A	継続	人権講座(成人学級)の受講依頼を近隣10町内会にとどまらず、会館日より、過去の受講者などに周知・呼びかけをお願いし、講座生の拡大・参加率の向上を図る。町民の方々に交流や学習の場を設け、理解をより一層深めていくことが重要である。会館の教養文化講座の内容の見直しを実施する。参加者の少ない書道教室の一時休止、参加者が見込まれる手芸教室の新規開講し、新たな講座生を開拓し、交流・親睦の場を提供する。		
				19	16,622	16,622	8,248	13,067												1021	5512
				20	16,777	16,777	8,229	8,740												1039	5010
	21			18,673	18,673	10,190	9,908	人	人												
311103	新温泉町人権教育協議会	町民	人権に関する教育的課題の解決 人権を尊重する社会の実現	18	7,637	2,757	2,597	4,880	人権セミナー出席率	「つどい」の参加者数	320	4	4	4	3	A	継続	・同和問題、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国人等、それぞれ固有の問題点や日常の暮らしの中で起こる様々な課題に、人権尊重の立場から積極的に取り組む。・人権尊重の理念を普及させるため、支部、地域、行政等と連携し、事業推進を図る。・広報・啓発活動に積極的に取り組む。			
				19	8,727	3,847	3,687	4,880											58	434	
				20	4,456	2,945	2,945	1,511													
	21			4,484	2,973	2,973	1,511	%	人												
基本	3-1(1)②人権意識の高揚に向けた啓発活動を行います																				
311201	人権啓発推進事業	就学前児童から高齢者までの住民	人権が尊重され、誇りが持てる町づくりの実現のため、人権尊重の理念に基づき、人間性を豊かにする人権啓発を推進し、人権意識の醸成及び高揚に努める。	18	8,439	1,973	1,423	6,466	人権学習会・講演会・イベント等来場者数	1278	1715	1709	4	4	4	3	A	継続	同和問題が契機となった差別・人権問題は、今日、同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、障害者、外国出身者、エイズウイルス(HIV)感染者・ハンセン病患者等々と課題は広がっており、その解消は人間の尊厳、生存権の問題として国内外において課題と認識されている。本町においても、引き続き人権学習の一層の推進を図っていかなければならない。		
				19	6,872	1,626	1,076	5,246													
				20	7,650	2,495	1,945	5,155													
	21			7,303	2,148	1,598	5,155	人													
311202	人権教育事業	町民	人権に関する教育的課題の解決 人権を尊重する社会の実現	18	7,637	2,757	2,597	4,880	ささゆり・ひまわり出席率	98	97	95	4	4	4	3	A	継続	・児童、生徒の日頃の人権、表現学習と体験的な仲間づくり活動とが、より効果的につながり、相乗的に深まっていくよう、指導面で工夫・配慮していく。・学習内容が固定化している傾向があることや学習者を拡大したことに伴い、学習者のニーズに応えられるよう、児童生徒・保護者・地域の理解を得ながら、系統的なプログラムや指導体制を再構築するよう努める。・地域に根ざし、地域全体の教育力を高めるためにも地域の人材や教材をさらに活用する。		
				19	8,727	3,847	3,687	4,880													
				20	1,513	726	566	787													
	21			1,533	746	586	787	%													
311203	人権学習冊子編集事業	町民	・人権作品を募集して、人権課題について考えるきっかけづくりとする。 ・冊子を全戸に配布し、人権学習資料として活用する。	18	878	198	198	680	発行部数	6000	6000	6000	4	3	3	3	A	継続	・作品募集の周知、その手法の改善 ・作品集の活用方法の検討と実施		
				19	926	316	316	610													
				20	438	347	347	91													
	21			439	348	348	91	部	点												

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円		研修会参加率			各種団体学習会参加人数(19年度までは人権講座参加人数)	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						事業費	一般財源												人件費
311204	人権教育事業	町民	人権に関する教育的課題の解決 人権を尊重する社会の実現	18	3,766	960	960	2,806	72.1	163	4	4	3	4	A	継続	・啓発活動を充実し、学習会、研修会への参加を呼びかけていく。 ・町人教、文化会館との連携を密にし、効果的、効率的な事業を展開していく。 ・生涯学習推進委員会を中心とした地区学習会の充実を支援していく。		
				19	3,365	559	559	2,806	67.9										
				20	1,708	502	502	1,206	75.8										
	教育委員会分室	21	1,656	450	450	1,206	%	人											
基本	3-1(2)①男女共同参画のまちづくりを推進します																		
312101	男女共同参画推進	就学前児童から高齢者までの住民	男女が、お互いに人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮する子どもができる男女共同参画社会を形成する。	18	1,263	43	43	1,220	24.6			4	4	3	2	B	継続	男女共同参画ということに対する認識自体が未定着であり、策定した男女共同参画社会プランに基づき、男女共同参画を推進することの意義と課題を啓発し、住民の意識の醸成と高揚を努める。	
				19	2,653	213	213	2,440	17.6										
				20	1,209	10	10	1,199	18.4										
	人権推進室	21	1,209	10	10	1,199	%												
施策	3-2次世代の担い手を育成するまちづくり																		
基本	3-2(1)①住民参加による教育環境の充実を図ります																		
321101	トライやる・ウィーク推進事業	中学校2年生	地域に学び、自分を見つめ、他人を思いやる心を育てるとともに、自立性を高め、「いきる力」を育む	18	1,500	1,500	500		95			4	4	4	4	A	継続	年々受入事業所が減少しつつある。そのため、事業所への啓発及び開拓が必要である。	
				19	2,476	1,500	501	976	95										
				20	2,459	1,500	750	959	100										
	学校教育課	21	2,459	1,500	750	959													
321102	オープンスクール	各園・小・中学校の保護者、地域住民	教育活動に参画・協働できる機会を提供し、子どもたちの教育に関する理解と関心を深めてもらう。	18	305			305	1548			4	4	4	4	A	継続	学校開放をするための安全対策のあり方を考える。	
				19					1379										
				20	270			270	1824										
	学校教育課	21	270			270	人												
基本	3-2(1)②参加・体験型学習の充実を図ります																		
321201	環境体験事業	小学校3年生の児童	地域の自然に出かけて行き、自然観察や栽培・飼育など五感をゆさぶるものと直接接触れることによって育まれる感性を養う。	18						参加率		4	4	4	4	A	継続	平成21年度より全小学校完全実施	
				19	240	240	120		57										95
				20	1,380	540	270	840	109										100
	学校教育課	21	1,500	660	330	840	人	%											

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						事業費	一般財源												
321202	いきいき農業体験事業	浜坂東小学校 児童・保護者・ 地域住民	食と「農」への理解を深めること、及び「農」に親しみを持つ	18	150	150	75	体験児童数	42	参加率	95	4	4	4	4	A	終了		
				19	333	150	75		183		39								95
				20	195	75	75		120		44								100
	21					人	%												
	学校教育課																		
321203	いきいき学校応援事業	各小・中学校	特色ある教育活動を推進するとともに、開かれた学校づくりを進めるため、また、総合的な学習の時間等において支援を得るなど、地域住民の「協働と参画」による学校教育の充実に推進する。	18	1,819	1,148	574	671	学校支援ボランティア数	861		4	4	4	4	A	継続	町単事業であるが、平成22年度も継続。	
				19	1,871	1,200	600	671		996									
				20	1,859	1,200	1,200	659		910									
	21	1,859	1,200	1,200	659	人													
	学校教育課																		
321204	自然学校推進事業	小学校5年生	児童が豊かな自然の中で集団宿泊生活を通じ、自然や人とのふれあい、地域社会への理解を深める。	18	4,542	3,566	1,783	976	体験人数	194	参加率	98	4	4	4	4	A	継続	毎年、救護員の確保が困難な状況にある。教員が順番で引率するが、その間学校が手薄になる。そのため、専門員の確保が必要となる。
				19	4,542	3,566	1,783	976		170		98							
				20	4,645	3,566	1,783	1,079		151		100							
	21	4,143	3,064	1,532	1,079	人	%												
	学校教育課																		
321205	中学校海外研修事業	中学校生徒	国際化に対応した広い視野と豊かな国際感覚を培い地域活性化に資する人材を育成するとともに、国際理解の一助とする。	18	3,498	1,912	1,912	1,586	中学校3年生に対して参加者の占める割合	8.4		4	4	4	4	A	継続	2中学校の交流が本格的に始まった。浜坂中学校と同じように、夢が丘中学校がマウント・ハット・カレッジと姉妹校として交流ができるように、今後とも努力をしていく。	
				19	4,220	2,634	2,634	1,586		8.9									
				20	6,597	5,039	5,039	1,558		8.38									
	21	6,269	4,711	4,711	1,558	%													
	学校教育課																		
321207	小学生社会施設見学の旅	新温泉町内小学4年生と引率教諭及びその保護者	貴重な体験をするとともに、マナーやエチケットなどの学習	18					参加者数		引率者数		3	3	3	3	B	事業のやり方改善	但馬空港利用促進の一環として、小学校4年生を対象に飛行機を利用して貴重な飛行機体験をするとともに、マナーやエチケットを学習するため、町内全小学校4年生を対象に引き続き事業を実施する。
				19						260		81							
				20	2,812	2,153	2,153	659		269		102							
	21	3,133	2,474	2,474	659	人	人												
	企画課																		

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
					一般財源																
基本	3-2(2)①青少年を取り巻く環境整備を図ります																				
322101	新温泉町連合PTA事業	PTA及び保護者会組織	相互の連携を促進・組織の育成	18					参加人数	保険加入者	1084	4	4	4	4	A	継続	町からの補助は、PTAと保護者会の連携促進に有効な手段であるので、今後も補助事業の継続を要する。			
				19																	
	20			464	464	464															
	21			453	453	453															
	学校教育課			18	61	61	61		相談件数	0		4	4	4	4	A	継続	継続して電話を設置する。			
		19	61	61	61																
		20	61	61	61																
		21	61	61	61																
322102	教育相談電話設置事業	教育に関する相談を行いたい者を対象とする。	相談を受け、精神的に気持ちを楽にするとともに解決策を見出していく。	18	61	61	61		件			4	4	4	4	A	継続	継続して電話を設置する。			
						19	61	61											61		
					20	61	61	61													
					21	61	61	61													
	学校教育課			18					参加者数	486	506	746	4	4	4	4	A	継続	重点目標として、関係機関及び諸団体並びに地域住民の連帯、学校支援地域本部事業組織体系づくりの強化、地域における規範意識の向上、地域・家庭・学校園・行政の連携による総合的教育力の向上、青少年安全安心パトロールの継続・啓発を推進する。		
		19	3,412	1,582	1,582	1,830															
		20	4,912	1,615	1,615	3,297															
		21	4,945	1,648	1,648	3,297															
基本	3-2(2)②児童の健全育成を図ります																				
322201	要保護児童対策	要保護児童	児童が、家庭・保育所・幼稚園・学校・地域等において安定した環境で育成される。	18	319	14	14	305	地域協議会開催率	要保護対象件数に対する個別支援会議開催率	100	100	4	4	4	4	A	内容拡大	随時に個別支援会議は当然必要。係わりを持ったケースについては、当面の見守りができる体制の整備が必要。		
						19	377	72												72	305
					20	508	29	29												479	
					21	519	40	40												479	%
	福祉課																				
基本	3-2(3)①通学環境の改善に努めます																				
323101	通学バス運行事業(小・中学校)	浜坂東小学校・浜坂北小学校児童夢が丘中学校・浜坂中学校生徒	児童・生徒の通学の安全を確保する。	18	26,311	25,396	25,396	915	利用者数(小学校)	65	160	4	4	4	4	A	終了	手段は変わるが、今後とも児童生徒の通学手段の確保をしていく。			
						19	25,980	25,065											25,065	915	
					20	13,549	12,650	12,650											899		
					21																
	学校教育課																				

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
323102	通学費補助事業(小・中学校)	各小・中学校児童	新温泉町立小・中学校に通学する児童のうち、遠隔地に住所を有する児童の保護者負担の軽減を図る。	18	12,528	11,918	11,918	610	補助金支給率	100	補助金支給率	100	4	4	4	4	A	継続	手段は変わるが、今後とも児童生徒の通学手段の確保をしていく。
				19	11,955	11,345	11,345	610		100		100							
				20	6,633	6,034	6,034	599		100		100							
	学校教育課	21	2,677	2,078	2,078	599	%	%											
基本	3-2(3)②教育施設の整備・改善を図ります																		
323202	小学校営繕工事(教育施設維持管理事業)	各小学校施設	学校施設の補修・点検を行い、安全で快適な学校生活の実現を図る。	18	32,388	30,558	30,558	1,830	要望達成率	10			4	4	4	4	A	継続	施設の老朽化が進んでいるため、継続的な修繕が必要である。
				19	9,816	6,156	6,156	3,660		9.6									
				20	5,853	3,755	3,755	2,098		6.9									
	学校教育課	21					%												
323203	中学校営繕工事(教育施設維持管理事業)	各中学校施設	学校施設の補修・点検を行い、安全で快適な学校生活の実現を図る。	18	13,589	12,369	12,369	1,220	要望達成率	10			4	4	4	4	A	継続	施設の老朽化が進んでいるため、継続的な修繕が必要である。
				19	3,975	315	315	3,660		2.1									
				20	2,069	271	271	1,798		2.3									
	学校教育課	21					%												
323204	学校建築事業(学校耐震補強・大規模改造事業)	各学校施設	老朽化した学校施設を新築、増改築等し、安全で快適な学校生活の実現を図る。	18	543,223	537,123	21,691	6,100	耐震化率	66.67	耐震化済学校数	8	4	4	4	4	A	継続	浜坂中学校耐震補強・大規模改造等工事を行う。
				19	183,267	177,167	109,573	6,100		75		9							
				20	22,226	16,532	16,532	5,694		75		9							
	学校教育課	21	717,419	711,725	489,778	5,694	%	校											
323205	学校等備品購入事業(小学校)	各小学校	各小学校備品を整備し、教育環境の充実を図る。	18	8,045	6,581	6,581	1,464	計画に対する整備率	100			4	4	3	3	A	継続	児童用の机・椅子を新規のものに順次統一していく。
				19	6,905	3,550	3,550	3,355		98									
				20	5,905	3,627	3,627	2,278		98									
	学校教育課	21					%												
323206	学校等備品購入事業(中学校)	各中学校	各中学校備品を整備し、教育環境の充実を図る。	18	5,363	3,899	3,899	1,464	計画に対する整備率	100			4	4	3	4	A	継続	教材備品の充実を図る。
				19	4,573	1,218	1,218	3,355		100									
				20	2,216	1,197	1,197	1,019		100									
	学校教育課	21					%												

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
323208	教育用コンピュータ整備事業(小学校)	各小学校	各小学校の教育用コンピュータの整備・更新を行い情報教育の充実を図る。	18	23,924	23,253	23,253	671	児童1人 当りパソコン台数	教職員1人 当りパソコン台数	0.15	4	4	4	4	A	継続	パソコンを教員に1人1台設置することが必要である。	
				19	25,525	24,965	24,965	560											1
	20			25,175	24,815	24,815	360	1											
	21			25,835	25,475	25,475	360	台	台										
	学校教育課																		
323209	教育用コンピュータ整備事業(中学校)	各中学校	各小学校の教育用コンピュータの整備・更新を行い情報教育の充実を図る。	18	9,632	8,961	8,961	671	児童1人 当りパソコン台数	教職員1人 当りパソコン台数	0.15	4	4	4	4	A	継続	パソコンを教員に1人1台設置することが必要である。	
				19	9,072	8,961	8,961	111											1
	20			8,870	8,570	8,570	300	1	0.97										
	21			6,216	5,916	5,916	300	台	台										
	学校教育課																		
323213	教育施設維持管理事業(幼稚園)	幼稚園施設	幼稚園施設の補修・点検を行い、安全で快適な学校生活の実現を図る。	18	1,608	998	998	610	要望達成率	100		4	4	4	4	A	終了	平成21年度から認定こども園になるため事業終了	
				19															
	20			332	32	32	300	100											
	21							%											
	学校教育課																		
323214	心身障害児就学指導委員会	就学指導委員19名・オブザーバー	心身障害児の就学指導に関する調査、審議及び教育相談等を行い就学の適正を図る。	18	936	21	21	915	判定件数	20		4	4	4	4	A	継続	近年障害児が増える傾向にある。また、LDやADHDの子どもが増える傾向にある。これらの子ども達に対する委員会としてのかかわり方・支援策を考えていかなければならない。	
				19	935	20	20	915											21
	20			1,462	23	23	1,439	35											
	21			1,469	30	30	1,439	件											
	学校教育課																		
323215	結核対策委員会	結核対策委員8名	町内小・中学校に在籍する児童、生徒及び教職員の結核予防対策等の専門的な検討を行う。	18	920	5	5	915	判定件数(問診)	35	判定件数(校医)	0	4	4	4	4	A	継続	結核は近年減少してきてはいるが、先進地の中ではまだ発症率・死亡率共に高い状況にある。そのために、1年に1回の定期検診の受診、その結果での早期発見・早期治療が必要である。
				19	920	5	5	915											
	20			604	5	5	599	24	2										
	21			607	8	8	599	件	件										
	学校教育課																		
323216	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業(小・中学校)	各小・中学校児童・生徒	義務教育の円滑な実施に資するため、小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対して教育費に係る費用の一部を援助する。	18	7,061	5,780	5,780	1,281	認定率(小学校)	93.8	認定率(中学校)	93.3	4	4	4	4	A	継続	不景気における保護者の収入減等、多彩な原因が元で申請者が増えつつある。少しでも教育における負担の軽減になればと考えるため、今後最も必要な事業である。そのため継続していかなければならない。
				19	6,676	5,395	5,395	1,281											
	20			8,146	6,408	6,408	1,738	98.3	96.9										
	21			8,879	7,141	7,141	1,738	%	%										
	学校教育課																		



平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
323217	特別支援教育就学奨励事業(小・中学校)	各小・中学校児童・生徒(特別支援学級入級者)	義務教育の円滑な実施に資するため、小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対して教育費に係る費用の一部を援助する。	18	961	595	526	366	認定率(小学校)	90.9	認定率(中学校)	100	4	4	4	4	A	継続	保護者の負担を少しでも軽減するために、継続して行かなければならない事業である。
				19	1,038	672	490	366		90.9		100							
				20	1,407	748	495	659		92.3		100							
	学校教育課																		
基本	3-2(3)③教育環境の整備・指導体制の充実を図ります																		
323301	小・中学校児童、生徒各種大会派遣費補助事業	各小・中学校児童・生徒	体育及び情操教育を奨励し、心身の健全な育成を図る。	18	10,173	9,563	9,563	610	延派遣人数	1887			4	4	4	3	A	継続	小・中学校児童・生徒の体育及び情操教育を奨励し、心身の健全な育成を図るため、今後も継続して補助が必要である。
				19	8,138	7,528	7,528	610		1805									
				20	8,555	7,956	7,956	599		1984									
	学校教育課																		
323302	教育指導主事設置事業	学校の教職員	学校運営の適正化を図る。	18	1,913	1,913	1,913	会議の回数		15			4	4	4	4	A	継続	年々事務量が増えてきて大変だが、学校の教職員並びに児童生徒のために、指導・助言し健全な学校教育を目指すため継続しての採用が必要である。
				19	1,913	1,913	1,913												
				20	2,453	1,913	1,913		540			12							
	学校教育課																		
323304	スクールアシスタント設置事業	ADHD等特別な支援を要する児童・生徒	ADHD等特別な支援を要する児童・生徒への支援	18					配置率		配置率		4	4	4	4	A	継続	支援を必要とする児童・生徒の増加に伴い適切な人員配置を望む。
				19															
				20	8,140	7,870	7,870	270		100		100							
	学校教育課																		
323305	障害児教育指導補助	特別支援学級の児童・生徒	特別支援学級の児童・生徒への支援補助	18					配置率		配置率		4	4	4	4	A	継続	支援を必要とする児童・生徒の増加に伴い適切な人員配置を望む。
				19															
				20	10,092	9,822	9,822	270		100		100							
	学校教育課																		
323306	英語指導助手導入事業	中学校生徒及び小学校児童	中学校に英語指導助手を配置し、町内公立学校における学校教育及び国際交流の語学指導を行う。	18	9,256	8,280	8,280	976	活動日数	245			4	4	4	4	A	継続	外国人とのコミュニケーション能力の向上、自らの考えや意見を伝えようとする態度や能力を育成するなど、国際理解教育を推進する有効な事業である。
				19	3,522	2,546	2,546	976		245									
				20	4,787	3,828	3,828	959		203									
	学校教育課																		

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
323307	学校保健事業	園児・児童・生徒・教職員	園児・児童・生徒・教職員の健康管理及び事故発生時の報告及び処理を行う。	18	11,251	2,981	2,981	8,270	受診率	99		4	4	4	4	A	継続	ブラッシング指導における報償費について、鳥取からの旅費相当分の支払いが出来ないかが今後の課題である。歯科衛生士に依頼するにも仕事を持つての人が多く確保が難しい。
				19	7,585	3,498	3,498	4,087		99.4								
	20			7,624	3,608	3,608	4,016	100										
	21			8,600	4,584	4,584	4,016	%										
	学校教育課																	
323308	教育委員会	教育委員 5名	学校その他の教育機関の管理及び教育職員の身分取扱に関する事務、並びに社会教育その他教育等に関する事務等を管理・執行する。	18	6,564	1,074	1,074	5,490	議事件数	31		4	4	4	4	A	継続	教育行政を行う上で必要な組織であるため現状を継続していく。また、温泉地域の小学校再編をスムーズに行うための協議も引き続き行う。
				19	6,588	1,098	1,098	5,490		32								
	20			6,423	1,028	1,028	5,395	38										
	21			6,565	1,170	1,170	5,395	件										
	学校教育課																	
323309	教育研修所事業	町立幼・小・中学校等教育関係教職員	教育関係職員の研修及び教育に関する専門的事項の研究	18	375	375	375					4	4	4	4	A	継続	教職員の資質向上及び自己研鑽、また児童生徒指導等のため、今後も研修等を重ねていかなければならない事業である。
				19	350	350	350											
	20			1,219	350	350	869											
	21			1,219	350	350	869											
	学校教育課																	
基本	3-2(3)④健康管理・食環境の改善を図ります																	
323402	給食施設維持管理事業(浜坂)	浜坂学校給食センター	給食センターの補修・点検を行い、安全で快適な学校での食生活の実現を図る。	18	4,908	2,468	2,468	2,440	給食緊急停止	0		4	4	4	4	A	継続	安全で安心な学校給食を提供するため、施設内の点検・整備を行い施設の維持管理運営に努める。
				19	4,430	1,990	1,990	2,440		0								
	20			5,641	1,445	1,445	4,196	0										
	21			5,393	1,197	1,197	4,196	件										
	浜坂学校給食センター																	
323404	学校給食事業(浜坂)	各小学校・中学校園児・児童・生徒	安心で安全な栄養バランスの摂れたおいしい給食を提供し、心身の健全な発達を図る。	18	123,212	79,250	30,519	43,962	児童・生徒年間残飯(浜坂地域)	740		4	4	4	4	A	継続	児童生徒に、安心で安全な栄養バランスの摂れたおいしい給食を提供し、心身の健全な発達を図るための有益な事業であるので、引き続き実施する。
				19	155,354	110,172	62,707	45,182		660								
	20			153,768	111,056	64,107	42,712	797										
	21			115,002	72,290	28,121	42,712	kg										
	浜坂学校給食センター																	
323405	給食施設維持管理事業(温泉)	温泉学校給食センター	給食センターの補修・点検を行い、安全で快適な学校での食生活の実現を図る。	18	6,376	5,156	5,156	1,220	給食緊急停止件数	0		4	4	4	4	A	継続	安全で快適な学校での食生活の実現を図るため、点検、修繕を行いながら引き続き施設の管理運営を行っていく。
				19	3,358	2,138	2,138	1,220		0								
	20			3,375	2,176	2,176	1,199	0										
	21			2,741	1,542	1,542	1,199	件										
	温泉学校給食センター																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
323407	学校給食事業(温泉)	温泉地域の各小学校・中学校児童・生徒	安心で安全な栄養バランスの摂れたおいしい給食を提供し、心身の健全な発達を図る。	18	91,909	59,544	24,070	32,365	児童生徒年間残飯量(温泉地域)	400	4	4	4	4	A	継続	児童生徒に、安心で安全な栄養バランスの摂れたおいしい給食を提供し、心身の健全な発達を図るための有益な事業であるので、引き続き実施する。
				19	89,227	56,862	22,215	32,365	600								
	20			82,337	54,310	21,298	28,027	628									
	21			84,233	56,206	23,974	28,027	kg									
基本	3-2(4)①ふるさとを愛する次世代の担い手を育成します																
324102	新温泉町成人式実施事業	町民(新成人)	新温泉町で生まれ育った新成人が、そのエネルギーを新温泉町のまちづくりに生かし、社会貢献への意欲を育てる契機となるようにする。	18	1,852	937	937	915	出席率	67.8	4	4	3	2	B	事業のやり方改善	・昨年と同様に、対象者名簿作成、抽出基準を、住民基本台帳法及び個人情報保護条例と事業目的・必要性を十分検討し適正に利用する。 ・実行委員の構成範囲を成人式対象者以外の者にも広げ、参考意見を聴くなどして意義ある成人式になるよう工夫する。 ・実行委員会主催行事(スナップ写真展示、DVDサービス)について、効率性と必要性を勘案しながら検討する。
				19	1,997	1,082	1,082	915	61.9								
	20			2,431	795	795	1,636	81.1									
	21			2,723	1,087	1,087	1,636	%									
	社会教育課							人									
324103	ふるさと文化いきいき教室事業	地域住民及び児童・生徒	芸術文化の分野において児童生徒が主体的に、体験活動に参加する機会や場所を提供し、伝統文化等、地域の特色を生かして体験活動の充実を図る。	18	1,066	700	350	366	参加人数(地域)	1388	3	3	4	3	C	内容縮小	平成20年度より県補助がなくなり町単事業のため、学校はH21年度廃止。地域は2事業のみ実施。
				19	1,126	760	380	366	3730								
	20			620	440	440	180	1826									
	21			280	100	100	180	人									
	学校教育課							人						D	廃止	社会教育事業へ事業統合を行い、当該事業を廃止する。	
施策	3-3生きがい・楽しみ・誇りづくり																
基本	3-3(1)①地域文化の継承と創造を図ります																
331101	展示啓発事業	町民・来館者	新温泉町の歴史・文化を町民や来館者に理解していただくとともに、町民の創造活動や文化交流の場として、各種展示やイベントを開催します。	18	5,733	191	191	5,542	来館者数	7484	4	4	4	4	A	継続	来館者の固定化があり、新たな来館者を確保するため、展示内容の充実を図る必要がある。そのため、但馬・鳥取県など関係施設との資料交換を行うことにより、新たな展示分野を開拓する。
				19	5,833	291	291	5,542	7523								
	20			1,611	412	412	1,199	9371									
	21			1,409	210	210	1,199	人数									
	社会教育課							人数									
331102	前田純孝顕彰事業	全国の中学生以上の学生	郷土の先人「前田純孝」を顕彰するとともに、若い人たちへの短歌の普及を図ります。	18	2,587	1,062	1,062	1,525	応募者数	1164	4	4	4	4	A	継続	平成20年度は、過去最高の応募数であり、教育課程の見直しから中高校の授業に短歌・詩の鑑賞が取り入れられる傾向にあり、今後当該事業は継続する必要がある
				19	2,461	936	936	1,525	2606								
	20			2,179	621	621	1,558	2734									
	21			2,196	638	638	1,558	人									
	社会教育課							点									

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)		評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費				必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源														
331103	宇野雪村顕彰事業	全国の中学生以上の学生及び書道愛好家	郷土の先人「宇野雪村」を顕彰するとともに、書道の普及を図る	18	4,106	1,971	1,971	2,135	応募者数	1109	作品数	1429	4	4	3	4	A	継続	積極的なPR活動、全国の高校への要綱の発送、また、新聞等でのPR等を図るとともに、応募料等の事業財源の確保に努め、一般財源の軽減を図ることで継続する。	
				19	4,411	2,276	2,276	2,135												1236
	20			4,498	2,340	2,340	2,158	1165												1514
	21			4,510	2,352	2,352	2,158	人	点											
	社会教育課																			
331104	子どもふるさと教室事業	町内の小学生(4年生～6年生)	町民の文化財保護・保存に対する意識の高揚を図ります。	18	890	10	10	880	参加人数	10			4	4	3	3	A	継続	新温泉町のふるさと教育の一つとして、カリキュラムの改善や体験活動の充実を図りながら、継続する。	
				19	890	10	10	880												82
	20			1,189	20	20	1,169	79												
	21			1,189	20	20	1,169	人												
	社会教育課																			
331105	新温泉町わが町再発見写真展事業	町民及び写真愛好家	町民の作品発表交流の場と、町民が新温泉町を再発見する機会を提供し、町民の文化振興と町民が誇れる町づくりを図ります。	18	380	40	40	340	出品作品数	41	来館者数	1076	4	4	3	4	A	継続	応募作品は、風景・人物・行事等、多岐にわたり、新温泉町の良さを見直す機会となったが、応募者の固定化、まちづくりへのさらなる展開が必要である。	
				19	513	208	208	305												48
	20			1,315	116	116	1,199	60												658
	21			1,319	120	120	1,199	点	人											
	社会教育課																			
基本	3-3(1)②郷土文化の保護・保存・活用を図ります																			
331201	文化財保護審議会	町内に所在する文化財全般・審議委員10名	町内に所在する文化財について、調査・研究・審議し、その保護・保存を町教育委員会に意見具申する。	18	1,342	122	122	1,220	審議議案件数	25			4	4	4	4	A	継続	事業効果としては達成されている。また、両地域の文化財について、委員の認識を深める必要があり、継続する。	
				19	1,364	144	144	1,220												18
	20			1,383	154	154	1,229	21												
	21			1,381	152	152	1,229	件												
	社会教育課																			
331202	文化財保護事業	町内に所在する指定文化財	町内に所在する指定文化財について、必要な措置を講じ、指定文化財を後世に継承します。	18	1,640	200	200	1,440	文化財保護実施率	100			4	4	4	4	A	継続	法・条例に基づく事業であり、継続する必要がある。天然記念物(植物等)の保護事業については治療効果等がすぐにあらわれないため、長期にわたる保全・治療が必要である。そのため、地元住民とも協力をはかりながら、引続き保護活動を支援していく。民俗芸能記録保存事業については、今回は県保護事業として実施したが、町CATV等と連携して町単事業としても作成する必要があり、今後は年に1団体を目標に作成していく。また、今後は学校の教材としての活用も考慮した作成も検討する必要があり、CATVや学校機関との連携も深めていく。	
				19	1,608	118	118	1,490												100
	20			987	118	118	869	100												
	21			931	62	62	869	%												
	社会教育課																			

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
331203	文化財啓発事業	町民	町民の文化財保護・保存に対する意識の高揚を図ります。	18	1,500	10	10	1,490	文化財愛護作品展	41						継続	次代を担う子どものふるさと教育の一つとして、またすべての町民を対象に文化財保護意識の高揚を図るため、継続するとともに、事業内容の拡大を図る。
				19	1,581	91	91	1,490		36							
				20	949	80	80	869		42							
	社会教育課			21	964	95	95	869	点								
331204	文化財調査事業	町内に所在する文化財全般	町内に所在する文化財について調査し、その保護保存を図ります。	18	1,889	399	399	1,490	文化財調査実施率	100					継続	町内には未調査の文化財、また文化財的価値の未確定の物件が多数あり、引き続き継続する必要がある。	
				19	1,655	165	165	1,490		100							
				20	904	35	35	869		100							
	社会教育課			21	898	29	29	869	%								
331205	文化財保護団体	町内に所在する文化財保存団体	町民自らが指定文化財の保護保存及び活用のために行う必要な措置を支援する	18					補助計画実施率	100					継続	民俗芸能保存会員の高齢化と少子化による活動の衰退。公的な活動支援が必要のため、継続する必要がある。	
				19	1,040	100	100	940		100							
				20	1,029	100	100	929		100							
	社会教育課			21	1,029	100	100	929	%								
331210	おもしろ昆虫化石館運営事業	町民	新温泉町の自然や歴史の特性を活かし、交流を通じた地域開発意識を高める場を提供するとともに、地域の活性化を図る	18	3,180	649	312	2,531	来館者数	4171					継続	入館者数を増加させる、施設管理経費の節減	
				19	3,131	600	288	2,531		3787							
				20	2,025	1,665	1,605	360		3736							
	教育委員会分室			21	1,544	1,484	1,443	60	人								
基本	3-3(1)③歴史的景観の保護・保存・活用を図ります																
331301	先人記念館維持管理事業	町民・来館者	豊かな自然環境、郷土の歴史・伝統文化を生かした体験活動を進め、人づくりや町づくり、地域交流の促進の拠点施設として多くの入館者が利用できるよう先人記念館の維持管理を行なう。	18	20,786	4,895	4,895	15,891	入館者数	7484					継続	施設に対する対外的な評価としては高い。達成度としては、より多くの入館者の増加をはかるため、事業の改善及び拡大する。将来的に「指定管理者制度」の導入に向けて検討する必要がある。	
				19	19,916	5,217	5,217	14,699		7523							
				20	6,888	2,906	2,906	3,982		9371							
	社会教育課			21	6,668	2,686	2,686	3,982	数								

## 平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案		
					総事業費	事業費	一般財源	人件費											
基本	3-3(2)①芸術・文化団体を育成・支援します																		
332101	オペレーター育成事業	高校生以上の町民	ステージオペレータークラブを育成することで夢ホールイベントの円滑な運営を図る。	18	1,124	372	372	752	養成講座受講者数	2	クラブ会員数	40	4	4	3	3	A	継続	夢ホール事業を行うにあたってはオペレータークラブは必要な組織であり、今後も継続するよう支援していく必要がある。
				19	636	372	372	264				31							
	20			616	340	340	276	33											
	21			591	315	315	276	人	人										
	温泉公民館																		
332102	文化協会育成事業	文化協会会員	会員の文化振興を図ることにより地域文化の向上に寄与する。	18	2,741	596	596	2,145	参加者数	1319			4	3	4	4	B	事業のやり方改善	これまでどおり事業を推進する。平成19年度補助金の見直しにより町補助金が削減されたが、会員の創意工夫により会員及び町民の文化振興のために努力していく。平成21年度は両文化協会の事業の一本化を図る。
				19	2,412	267	267	2,145											
	20			2,710	267	267	2,443												
	21			2,710	267	267	2,443	人											
	浜坂公民館																		
基本	3-3(2)②住民の芸術・文化の鑑賞と創作活動を促進します																		
332201	新温泉町文化祭(温泉会場)	町民	芸術・文化を発信する場を提供するとともに、町民の交流も行う。	18	2,623	971	971	1,652	出展者数	773	来場者数		4	4	3	4	A	継続	温泉地域、浜坂地域それぞれで旧町時代からの事業内容、やり方を引き継いで事業を実施している。会場を統合することは難しいと考えるが、それぞれの良い部分を吸収していく必要がある。
				19	1,978	631	631	1,347											
	20			1,545	211	211	1,334	676	1400										
	21			1,545	211	211	1,334	人	人										
	温泉公民館																		
332202	町民文化祭運営事業(浜坂会場)	町民に豊かな文化の振興を図る	文化に対する町民の認識を高めると共に豊かな文化の振興を図る	18	2,084		240	2,084	来場者数	1996			4	4	4	4	A	継続	これまでどおり事業を継続していく。
				19	2,084		228	2,084											
	20			1,169		206	1,169	1263											
	21			1,169		206	1,169	人											
	浜坂公民館																		
332203	夢ホールイベント事業	町民	舞台芸術を身近に体験することで芸術・文化の振興を図る。	18	6,437	2,810	2,193	3,627	イベント1回当たり入場者数	266	イベント入場者総数		4	4	3	3	A	継続	20年度で立ち上げた夢ホール事業検討会(夢ホール利用者や音楽活動家による検討会。メンバーは6名)の提案、意見等を参考に、住民ニーズを捉えていく。
				19	4,968	2,757	2,426	2,211											
	20			5,077	2,874	2,762	2,203	201	2503										
	21			4,562	2,359	2,043	2,203	人	人										
	温泉公民館																		

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						事業費	一般財源												
332204	もみじコンサート	温泉地域町民	音楽愛好者(団体)の発表の場を提供するとともに、音楽活動の活性化と町民への広がりにつなげる。	18	983	109	109	874	出演団体	13	入場者数	310	4	4	3	4	A	継続	対象者が温泉地域に限定していることは検討課題であるが、ホールの収容人員(現状でほぼ満席)も考慮する必要がある。事業の趣旨等を考えると全時的な取り組みが望ましいが、当面は現状のままで事業を継続する。
				19	516	130	130	386				300							
	20			497	101	101	396	300											
	21			535	139	139	396	組	人										
	温泉公民館																		
332206	県民芸術劇場鑑賞事業	町内の中学生	質の高い芸術文化活動を形成するため、中学生の時期から優れた芸術文化に接する機会を提供し、鑑賞力、創造性の芽を育む。	18	1,417	502	502	915	鑑賞者数	549			4	4	3	4	A	継続	平成19年度までは、(財)兵庫県芸術文化協会の補助を受けて毎年実施していたが、町の財政状況が厳しいことから、財政係から平成20年度以降は、毎年実施は困難とされた。そこで、課内協議を行い、対象を中学生、3年に1回の開催として、事業を継続することとした。平成21年度は、平成22年度実施に向け、演目等について、具体的に検討を行う。
				19	1,780	865	865	915											
	20			67	7	7	60	—											
	21			75	15	15	60	人											
	社会教育課																		
332207	新春書き初め展	新温泉町内の小・中・高校・一般	作品を募集・展示するもとにより、書道への関心を高め、多くの人が書に親しむようにする。	18	391	10	10	381	来場者数	305	出展数	701	3	4	3	4	B	事業のやり方改善	子ども会年賀状コンクール展と同時に開催しており、来場者も多く書への関心を高めることができている。温泉地域の開催については会場の確保が難しい。(広いスペースが必要)
				19	390	9	9	381				217							
	20			241	7	7	234												
	21			241	7	7	234	人	品										
	浜坂公民館																		
332208	文化展	町民	各種の作品展を開催することで町民の文化意識の高揚につなげ、文化・芸術の向上を図る。	18	428	37	37	391	来場者数	252			4	4	3	3	A	継続	幅広く、様々な分野の作品展示を行い、住民への機会の創設と芸術・文化の意識向上を図る。
				19	396	30	30	366											
	20			408	48	48	360	133											
	21			380	20	20	360	人											
	温泉公民館																		
332209	文化体育館施設管理整備事務	町民	地域の文化芸術の発信基地として、また町民の心のつなぐふれあいの場を提供するために、施設を常に良い状態に保つための管理を	18					利用者数	18976	利用回数	132	4	4	3	3	A	継続	建物、備品機器等の改修等が必要な部分は、優先度を考慮しながらすみやかに対応する。有効性の高い利活用を考える上で、施設の管理運営のあり方を検討する必要がある。
				19								116							
	20			8,465	7,160	7,160	1,305	18249											
	21			10,061	8,756	8,756	1,305	人	回										
	温泉公民館																		
基本	3-3(3)①生涯学習のための推進体制を確立します																		
333101	派遣社会教育主事活動事業	町民	派遣社会教育主事が新温泉町の生涯学習推進の指導者として活動するとともに県との連携を強化することで、町の生涯学習を推進する。	18	3,931	1,796	1,796	2,135	担当する事業・講座数	9			4	4	4	4	A	継続	県派遣社会教育制度は、合併後5年間は合併前の人数を確保するとの県教育委員会の方針であるが、県財政によっては減員される可能性もある。そのため、新温泉町の生涯学習を推進する上において、引続き現行人員の配置を要望する必要がある。平成23年度には2人から1人に減員される見通しであり、社会教育体制の見直しが必要となる。平成21年度は、現派遣社会教育主事の任用が3年を迎えることから、次期派遣社会教育主事の選定、人材の養成(研修受講・資格取得)が必要となる。
				19	3,636	1,501	1,501	2,135											
	20			868	110	110	758												
	21			1,269	511	511	758	件											
	社会教育課																		

## 平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						事業費	一般財源											
333102	社会教育委員活動事業	町社会教育委員 14名 町民	町民の多様化・高度化する学習ニーズにあった新温泉町の生涯学習の推進とその体制を審議する。	18	1,815	290	290	1,525	協議議案数	13	15	4	4	4	3	A	内容拡大	生涯学習推進体制指針の策定のため、委員会を継続的に審議する。
				19	1,864	339	339	1,525	10	16								
	20			2,438	280	280	2,158	14	33									
	21			2,576	418	418	2,158	件	人									
	社会教育課																	
333103	新温泉町青い鳥学級	視覚障害者、支援ボランティア	参加者が、生きがいのある生活を送るため、体験教室や講師による講話、話し合いを行う。また、地域社会が障がいを持っている人を理解し、温かく助け合える体制を確立するため、相互交流の機会を提供する。	18	1,025	110	110	915	学級生参加者数	48	101	4	4	4	3	A	継続	学級生の高齢化による減少、ボランティアの高齢化等、学級運営が困難な状況にあるが、学級生が少なくても、学級で学んだことは別の機会に役立てることができること、また、人権意識の向上につながるため、ボランティアの皆さんにも積極的に参加していただく。
				19	1,058	143	143	915	65	159								
	20			3,038	221	221	2,817	42	160									
	21			3,149	332	332	2,817	人	人									
	社会教育課																	
333104	公民館講座	町民	各種の教室を受講し、技術の習得を図ると同時に受講生同士の交流を図る。また、定例講座については一定の期間内(3年程度)でグループを育成し自主活動に移行する。	18	1,934	404	404	1,530	受講生(延べ人数)	48	2	4	4	3	3	A	継続	長期にわたっている定例講座は自主活動への移行を推進し、新規講座を開設しグループ育成を進めることで文化団体の育成を図る。
				19	1,552	327	327	1,225	432									
	20			1,524	310	310	1,214	428										
	21			1,524	310	310	1,214	人	グループ									
	温泉公民館																	
333105	高齢者向け生涯学習	60歳以上の町民	高齢者に生涯学習の場を提供し、学習していただくと同時に、交流の場としても活用していただく。	18	3,366	357	357	3,009	学生数	223	70	4	4	4	4	A	継続	町営バスの運行時間が改正されたことで、学園への参加状況が変動している。*学園生229名(H21.6月現在)(通園の足の確保ができないという理由で参加を見合わせた人もあり、また講座の終了時間とバスの時間のタイミングが合わないため、講座の途中であってもバスの時間に合わせて帰宅する学園生が多くなる。)
				19	3,071	428	428	2,643	235	74								
	20			2,962	468	468	2,494	243	70									
	21			3,115	621	621	2,494	人	%									
	温泉公民館																	
333106	子ども音楽教室	町内小学生	音楽に興味のある子どもが集まり、練習や演奏活動を通じて音楽に親しみ、相互の交流を図る。	18	574			574	受講生(延べ人数)	173		4	4	3	4	A	継続	吹奏楽教室を、浜坂公民館の少年少女音楽隊に集約するような募集を行ったが、結果として、温泉地域の小学生だけの参加となった。
				19	573	182	182	391	171									
	20			578	191	191	387											
	21			652	265	265	387	人										
	温泉公民館																	
333107	青少年新春かるた大会	町内小、中学生	かるたを通じ学校や家庭、地域での交流を図ると同時に、古歌に関心を持つことで情操教育につなげる。	18	574			574	参加者数	96		4	4	4	3	A	継続	少子化により児童・生徒の数が減少することは明らかであるが、浜坂地域も含め学校等での取り組みの強化を図り参加者を確保していくことが必要。
				19	566	53	53	513	122									
	20			643	50	50	593	128										
	21			702	109	109	593	人										
	温泉公民館																	



平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
333108	パソコン教室	町民	誰でも気軽にパソコンの講習が受けられる場を提供し、楽しくパソコン操作技術を習得してもらおう。	18					受講生(延べ人数)							継続	個々の習得レベルの違いがあり、教室の運用あることから、講座内容を検討する必要がある。
				19	509	322	322	187	164								
	20			707	287	287	420	192									
	21			716	296	296	420	人									
	温泉公民館																
333109	公民館推進委員活動事業	公民館推進委員 浜坂地域16名 温泉地域9名 計25名 生涯学習の推進	両公民館体制について協議、検討しよりよい体制に整えていく	18	1,224	182	182	1,042	委員延べ出席者							事業のやり方改善	町条例で定められている。生涯学習の基本となる公民館活動を充実させるため、公民館活動推進について協議する場として委員会の継続は必要となる。
				19	1,315	273	273	1,042	29								
	20			897	222	222	675	44									
	21			897	222	222	675	人									
	浜坂公民館																
333110	地区公民館協力委員活動事業	各地区公民館の運営協力委員	各地区公民館事業の活動を推進と協力体制の確保	18	654	100	100	554	委員会出席(延べ人数)							継続	地区公民館を運営していくためには協力員は必要であり、継続していく。
				19	654	100	100	554	224								
	20			295	100	100	195	221									
	21			295	100	100	195	人									
	浜坂公民館																
333111	各地区公民館活動事業	浜坂地域旧小学校区(居組・諸寄・大庭・久斗・久斗山・赤崎・三尾)地区住民	参加しやすい生涯学習の場を提供し、交流、学習を深め、明るく活力のある人づくり・地域づくりを目指す。	18	3,615	860	860	2,755	各講座参加者(延べ人数)	9874					継続	生涯学習推進のため、継続して実施する。	
				19	3,615	860	860	2,755	11698								
	20			3,323	820	820	2,503	11780									
	21			3,363	860	860	2,503	人									
	浜坂公民館																
333113	高齢者大学宇都野学園	高齢者・生涯学習	高齢者に組織的な学習機会を提供する	18	554	554	554		入園者数	190	出席率	75.6			継続	引き続き学園を開講し、高齢者の学習の場を設ける必要がある。	
				19	4,016	396	396	3,620	165	78.7							
	20			3,190	357	357	2,833	165	79.4								
	21			3,478	645	645	2,833	人	%								
	浜坂公民館																
333114	少年少女音楽隊育成事業	小学生	異年齢の子ども達に団体行動を通して心のつながりを深め、金管楽器による音楽演奏への関心を持ち地域活動へ参加する	18	311	311	311		行事参加回数	6	練習参加者数(延べ)				事業のやり方改善	基本的には昨年度と同様の内容で継続。隊員募集を広くPRし隊員数の増加を図る。 ※20年度隊員数増を目的に浜坂北小学校に隊員作成による募集ポスターを掲示	
				19	1,688	341	341	1,347	4								
	20			1,349	315	315	1,034	5	841								
	21			1,360	326	326	1,034	回	人								
	浜坂公民館																

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			出席者 (成果指標)	出席者 (成果指標)	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源	人件費												
333116	男子調理教室	町民男性	男性に調理の機会を設けて調理に親しみ、自らの食生活に関心を持ち、健康管理に心がけるようにする	18	838	40	40	798	出席者	43						継続	男性が食に関心を持つことにより、健康管理に役立てていく。継続して実施する。		
				19	828	30	30	798	33										
	20			464	29	29	435	57											
	21			464	29	29	435	人											
	浜坂公民館																		
333117	グループ養成講座	町民	技術・作法の基本を学び、この教室を開催開催する事により、自主的なグループを養成する。	18	482	30	30	452	出席者 (延べ)	84						継続	これまでどおり継続する。幅広い分野で講座内容を選考し、2年間限定でグループの養成を図る。		
				19	481	29	29	452	58										
	20			792	58	58	734	114											
	21			792	58	58	734	人											
	浜坂公民館																		
333118	子ども体験教室事業	小学生	さまざまな体験を通じて知りたいという好奇心を高め、自分の町のすばらしさを再認識をしよう。	18	20	20	20		参加者数	25						継続	これまでと同様に実施していく。		
				19	573	19	19	554	28										
	20			164	17	17	147	36											
	21			166	19	19	147	人											
	浜坂公民館																		
333119	女性教養講座事業	町民女性	女性の学習意欲を高める	18	861			861	出席者	90						事業のやり方改善	昨年と同様に継続して事業を行う。(当初、年間事業を受講生で計画する。)		
				19	843	45	45	798	134										
	20			848	50	50	1,278	120											
	21			856	58	58	1,278												
	浜坂公民館																		
333121	図書館啓発事業	幼児から高齢者までの幅広い生涯学習対象者	本の紹介やイベントのお知らせ、募集を通して、図書館のことを知ってもらいたい利用していただく。	18	3,408	7		3,401	図書館だより配布部数	2760						継続	新一年生や転入等で新しく住民になられた方にも図書館をPRし、新規利用者の開拓を図る。		
				19	2,844	7		2,837	2760										
	20			2,860	72	72	2,788	2760											
	21			2,799	11	11	2,788	部											
	加藤文太郎記念図書館																		
333122	図書館イベント事業	町民、山岳愛好者	より多くの人々に身近な図書館として利用していただく。また、読書力の向上や本のすばらしさ等を知ってもらう。加藤文太郎を顕彰します。	18	3,554	153		3,401	イベント参加人数	888	出張おはなし会参加人数	5134				継続	町内で行われる他のイベントと日程・内容等が重ならないための工夫と調整が必要。開館15周年を迎え、加藤文太郎にゆかりのあるイベントを企画していく。また、図書館としてのオリジナルティーのあるイベントを考えていく。		
				19	2,687	155		2,532	791	5690									
	20			3,222	134	54	3,088	1051	5868										
	21			3,254	166	86	3,088	人											
	加藤文太郎記念図書館																		

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
333123	移動図書館車運営事業	移動図書館車巡回地域の住民	図書館に向くことが出来ない地域に対して場所・時間の設定を行い、図書資料を多くの方に利用してもらいます。	18	5,504	403	403	5,101	利用者数	2536	貸出冊数	9296	4	4	3	3	A	継続	現在のやり方で継続していくが、図書館車は老朽化しており、後輪駆動なので冬期間でも天候に左右されず安定した巡回ができるようにする。 利用者のいないステーションの見直し。 振興課派遣の運転手の安定確保。
				19	2,942	256	56	2,686	2175	8518									
	20			2,963	318	318	2,645	2009	8052										
	21			3,133	488	488	2,645	人	冊										
	加藤文太郎記念図書館																		
333125	温泉地区生涯学習推進事業	生涯学習推進委員 生涯学習中央推進会議委員	各地区公民館を地域の生涯学習活動の核として位置付け、より地域に密着した活動が行えるような体制づくりを推進する。	18	964	293	293	671	協議事項	1	協議事項	2	3	4	3	4	A	継続	一つの町でそれぞれ違う体制では、住民の学習機会の不均衡、社会教育施策推進の一貫性、生涯学習への支援・助成等のアンバランス等不合理な面が生じる。又、今後過疎化が進行していく中、拠点を集落に求めることが難しくなってくる状況もあり、今後、校区単位、もしくは複数集落単位での生涯学習体制が可能かどうかを検討する。
				19	766	95	95	671	1	2									
	20			561	81	81	480	2	2										
	21			185	125	125	60	件	件										
	教育委員会分室																		
333126	ふれあい学級(温泉地域)	町民(温泉地域)	各地区で行われる「ふれあい学級」「子育て学級」の充実を図ることに、町民が学習しやすい環境の形成に努めると共に、世代間のコミュニケーションの充実を図ります。	18	991	320	320	671	参加人数				4	4	3	4	A	継続	・未実施地区の学級開設へ向けての具体的な指導と情報提供が必要。又、少数世帯集落においては、隣接地域との合同学習も検討していく。一律2万円の委託契約から、事業実施内容による委託契約(もしくは助成金)を検討してみる。・自治会内での検討を促す。(地区内のバックアップ体制を要請、特に区役員との連携を図る。)
				19	1,071	400	400	671	5182										
	20			879	340	340	539	5265											
	21			460	400	400	60	人											
	教育委員会分室																		
333127	手づくり工夫作品展	町内小・中学生	作品を作ることで、児童・生徒の創造性を養うとともに、町内小・中学生の作品を展示・鑑賞することにより、情操教育をさらに進める。	18	661			661	参加人数	1103	来場者数	160	4	4	3	4	A	継続	有効な事業であり今後も継続していくが、中学生の作品等に関して事業の趣旨とそぐわない部分があり、検討する必要がある。
				19	580	41	41	539	1279	387									
	20			556	22	22	534	874	218										
	21			556	22	22	534	人	人										
	温泉公民館																		
基本	3-3(3)②生涯学習施設の整備充実を図ります																		
333201	図書館維持管理事業	町民	図書館の運営等がスムーズに行えるように、施設整備、維持管理等を行い、快適で安全な場所提供を行います。	18	13,689	5,187	5,187	8,502	苦情・要望件数	9			4	4	4	3	A	継続	図書館周辺環境整備はボランティアさんの協力を得ながら継続して進めていく。 図書館の防犯警備、エレベーター・自動ドア・空調機器等の保守管理は引き続き業者に委託する。 潮風により施設外周が腐食してきているので修繕が必要。備品についても耐用年数を経過しているため修繕・買い替えが必要。
				19	11,584	5,087	5,087	6,497	11										
	20			10,431	4,945	4,945	5,486	0											
	21			11,256	5,770	5,770	5,486	件											
	加藤文太郎記念図書館																		
333202	図書館運営事業	町民	利用者のニーズに対応し、より充実した図書館運営を図ります。	18	7,281	480	448	6,801	来館者数	34928	貸出冊数	64557	4	4	3	3	A	継続	窓口業務、レファレンス業務、ボランティア活動のサポート等を現在の体制で継続していき、さらに図書館利用者を拡大していく。
				19	6,284	577	538	5,707	34020	66317									
	20			6,502	646	629	5,856	35146	67022										
	21			6,628	772	756	5,856	人	冊										
	加藤文太郎記念図書館																		

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						事業費	一般財源										
333203	図書館図書整備事業	町民	町民のニーズに応え幅広い収集を行い住民に提供します。	18	6,901	3,160	3,144	3,741	リクエストに対する対応率	99						継続	住民のニーズに十分答えられる図書及び資料の収集を行う。当館にない図書及び資料は他の図書館より借り受けして、利用者に提供する。
				19	6,453	3,219	1,219	3,234	100								
	20			6,544	3,365	3,365	3,179	100									
	21			7,534	4,355	2,624	3,179	%									
	加藤文太郎記念図書館																
333204	図書館システム管理事業	図書館情報システム及び機器	図書館情報システム及び機器の管理を行い、敏速な顧客対応が円滑に行えるようにします。	18	4,435	2,395	2,395	2,040	トラブル発生回数	8					継続	県内公共図書館の蔵書検索システムへの参入及び、利用者への蔵書検索、インターネットの利用開放などを求める声があるので、町の地域情報化ネットワークの構築に向けた取り組みと合わせて整備する必要がある。公民館図書室の蔵書のデータ化により有効活用をはかる必要がある。	
				19	4,234	2,404	2,404	1,830	6								
	20			4,200	2,402	2,402	1,798	2									
	21			4,199	2,401	2,401	1,798	回									
	加藤文太郎記念図書館																
333205	図書館協議会・図書選書委員会活動事業	図書館協議会委員・図書選書委員会委員	図書館運営の円滑化及び図書資料の充実を図ります。	18	1,440	80	80	1,360	図書館協議会協議件数	10	図書選書委員会協議件数	3			継続	今後も継続していくと共に、各委員に図書館への認識や理解をさらに深めていただく。	
				19	1,289	69	69	1,220	9	3							
	20			1,335	76	76	1,259	8	3								
	21			1,364	105	105	1,259	件	件								
	加藤文太郎記念図書館																
333211	図書利用促進	町民	地域の生涯学習の拠点の一つであり、情操教育の推進として読書を推奨するため、新温泉町民センター内図書室の蔵書の管理及び更新を行う。	18					利用者数(延べ人数)	453	貸出冊数	868			事業のやり方改善	図書管理の一元化、システム化の協議、検討が必要。加藤文太郎記念図書館での一元管理、システム連携により効率的な運営管理を推進する。	
				19	464	104	104	360	436	796							
	20			458	98	98	360	335	615								
	21			464	104	104	360	人	冊								
	温泉公民館																
基本	3-3(3)③住民のスポーツ振興を推進します																
333304	び〜ちふえすた 2008 いんしんおんせん	町内外参加者	山陰海岸国立公園内に位置する浜坂県民サンビーチを広く一般にPRするとともに、ビーチスポーツを通じて海への関心と地球環境保全に対する意識を深めさせる。	18	5,860	2,200	2,200	3,660	参加チーム数	55	参加者数				継続	現在、ローカルルールで4人制の大会を実施しているが、今後は2人制の正式ルールの部門の実施を検討していきたい。参加募集にあわせて、ボランティアスタッフの募集を積極的に行い参加者に満足してもらえるようなイベント運営を心がけたい。	
				19	3,040	600	600	2,440	50								
	20			2,596	600	600	1,996	63	252								
	21			2,596	600	600	1,996	チーム	人								
	社会教育課																
333305	体育施設維持管理事業	7施設 ①浜坂体育センター ②B&G海洋センター体育館 ③浜坂すこやか広場 ④浜坂山村広場 ⑤浜坂相模場 ⑥B&G海洋センター(プール・艦庫) ⑦浜坂多目的公園グラウンドゴルフ場	指定管理者へ業務委託することにより、管理料の経費節減をはかり、併せて直営管理施設においても安全・安心な施設利用を提供する。	18	13,355	11,525	11,525	1,830	施設利用者数	37785				継続	管理運営体制を低下させないようにし、適正且つ経費節減に努めて行く。浜坂多目的公園グラウンドゴルフ場については、指定管理の方向で検討する。		
				19	12,140	9,700	9,700	2,440	51900								
	20			12,457	9,700	9,700	2,757	50293									
	21			12,457	9,700	9,700	2,757	人									
	社会教育課																

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
333306	B&G水泳教室事業	町内在住の小学生(1～3年生)	技術と体力の向上を図る	18	2,190	55	55	2,131	参加者数(延べ)	145	4	4	3	4	A	継続	水泳教室は継続していく。但し、規模等を拡大していくには、指導者の確保が必要である。
				19	2,193	58	58	2,131		160							
	20			2,181	46	46	1,798	230									
	21			1,844	46	46	1,798	人									
	社会教育課																
333307	少年相撲教室	町内在住の小学生	技術と体力の向上を図るとともに、相撲を通して青少年の健全育成を推進する。	18	1,035	120	120	915	修了書の交付		3	4	3	4	A	継続	日本の国技である相撲を通して、青少年の健全育成を図る。一人でも多くの子ども達が参加しやすい教室の開催。
				19	1,645	120	120	1,525		8							
	20			1,645	120	120	420	10									
	21			1,645	117	117	420	人									
	社会教育課																
333309	B&G町民水泳記録大会	町民	町内の水泳愛好者への成果の確認の場としての機会を提供する。又、記録を測定することで意欲の向上を図る。	18	1,343	123	123	1,220	参加者	102	3	4	4	3	A	継続	校長会等を通じて、参加の呼びかけをしていく。
				19	1,995	165	163	1,830		122							
	20			343	103	102	240	85									
	21			398	158	158	240	人									
	社会教育課																
333310	スーパーソフトドッジ大会	町民	だれでも気軽にできる大会を目指し、併せて親睦、交流の場とする。	18	281	41	41	240	参加チーム数	23	3	4	3	4	A	継続	浜坂地域の小学校ではほぼ定着しているが、温泉地域の小学校への普及のばらつきがある。
				19	295	55	55	240		20							
	20			240			240	19									
	21			267	27	27	240	チーム									
	社会教育課																
333312	地域スポーツ活動支援事業	町推進委員会・スポーツクラブ員	誰でもいつでも気軽に参加できるスポーツ環境を整え、クラブの円滑且つ、安定した活動を促進し、スポーツを通じた地域コミュニティづくりを進める。	18	1,278	58	58	1,220	事業実施回数	2	4	4	4	3	A	継続	行政支援(補助金)が途切れても、スポーツクラブが地域の活動と一体となって取り組んでいけるようクラブの自立を目指す。
				19	1,931	101	101	1,830		2							
	20			1,111	92	92	1,019	2									
	21			1,223	204	204	1,019	回									
	社会教育課																
333314	体育奨励事業(温泉)	地区及び校区(温泉地域)	地区、地域が主体的に実施する体育大会に奨励金を交付し、町民の健康づくりと心豊かな人づくりを図る。(できれば校区での体育大会開催を奨励する。)	18	1,200	895	895	305	地区参加人数	1545	4	4	3	3	B	事業のやり方改善	・校区開催と地区開催の奨励金に単価の差があったが、実施内容に差異がないため平成21年度からは同一単価とする。 ・奨励金交付の窓口の一本化(現行は浜坂地域は体育協会、温泉地域は教育委員会)への検討
				19	1,140	835	835	305		1975							
	20			1,190	830	830	360	1150									
	21			660	600	600	60	人									
	教育委員会分室																

## 平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						事業費	一般財源											
333315	体育施設維持管理事業(温泉)	施設 *旧八田中学校グラウンド及び体育館(指定管理) *旧照来小学校グラウンド及び体育館	社会体育施設の安全で良好な施設維持管理を行い、町民のスポーツとコミュニティー活動の振興を図る。	18	1,222	307		915	利用者数	7718		4	4	3	4	A	継続	旧照来小学校体育館及びグラウンドについても利用者はほぼ地元の住民であるため指定管理者制度を検討する必要がある。施設の老朽化とともに維持管理費、修繕費等が増加すると見込まれるため計画的な維持管理計画が必要である。
				19	1,292	377	97	915										
	20			1,271	618	306	653	5051										
	21			985	631	365	354	人										
333316	スキー競技大会	町民(小学、中学、高校、一般)	体を動かす機会の少なくなる冬場において、町民の体力づくりを図るとともに、スキー技術の向上と相互の親睦を図る。又、雪国ならではのスポーツであり、雪に親しむ機会とする。	18	589	35	35	554	参加人数	中止		4	4	4	4	A	継続	今後も雪不足が懸念されるため、開催時期の前倒し(1月下旬～2月上旬)を関係機関と協議を行う。浜坂地域の参加者の増加を図るスキー大会運営の協力団体を募る。
				19	715	161	147	554										
	20			478	70	50	408	-										
	21			563	215	203	348	人										
333317	駅伝大会	町民	走ることを通して、スポーツ精神の高揚を図り、体力を養うと共に、相互の親睦と地域連帯意識を深める。	18	1,309	206	206	1,103	参加人数	290	46	4	3	4	4	A	継続	・継続事業として、浜坂地域の参加を募り事業の充実に努めること併せ、大会の一本化に向けた調整を検討していく。(新たなコース設定、開催時期の調整を含む。) ・町主催事業として、今後不公平感が出てくるようであれば、事業の継続、廃止、移譲を検討していく。
				19	1,369	266	251	1,103										
	20			1,108	279	258	829	306	46									
	21			852	264	249	588	人	チーム									
333318	ソフトバレー大会	町民	ニュースポーツに親しみ、世代層を超えたふれあいを大切にし、健康増進を図る。	18	337	27	27	310	参加チーム数	26	118	4	4	4	4	A	継続	社会体育のスポーツ大会は、これ以上増やせないため、今後新たなニュースポーツの導入を図る場合は大会実施の継続、廃止、移譲を検討していく。また分室での業務が駅伝大会の翌週ということもあり、社会体育係へ業務を移す。
				19	345	35	21	310										
	20			304	31	16	273	22										
	21			39	39	24		チーム	人									
333319	500歳ソフトボール親善大会	町民(温泉地域)	壮年層の健康づくりの意識を培うとともに、参加者相互の親睦の場を提供することで、地域コミュニティの発展を推進する。	18	58	58	58	参加チーム数	15	345	4	4	3	4	A	継続	①継続実施 ②参加へのPR ③町全域を対象にした運用の検討	
				19	1,698	46	46											1,652
	20			455	47	47	408	12										
	21			414	66	66	348	チーム	人									
333323	体育振興事業(B&Gプール・艇庫)	町民、町外利用者	プール、艇庫事業とも沢山の参加・利用いただき、体力・健康づくりへとつなげる。	18	2,340	1,730	1,730	610	プール利用者	915	1282	4	4	3	4	A	継続	安全・安心な事業推進していくうえに、プール監視員の確保、指導者の育成に努めて行く。
				19	2,665	1,445	1,445	1,220										
	20			4,388	1,073	1,073	3,315	899										
	21			4,618	1,303	1,303	3,315	人	人									

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
333324	体育振興事業(新温泉町体育協会)	新温泉町体育協会、住民	体育協会への加盟団体の増を図る。各種大会への多くの参加をいただき、豊かなスポーツライフを送っていただく。	18	9,525	8,915	8,915	610	加盟団体数	33	4	4	3	4	A	継続	事業経費の節減を図りながら、参加しやすく、安全対策に配慮して行く。
				19	8,874	8,264	8,264	610	35	大会開催数							
	20			8,825	7,566	7,566	1,259	23		18							
	21			8,481	7,222	7,222	1,259	数	数								
	社会教育課																
333325	体育振興事業(麒麟獅子マラソン大会)	町民、町外参加者	大会を開催することで、参加者(住民)の健康増進と交流の場として親睦を深めてもらい、観光PRと経済効果のなる大会とする。	18	3,110	2,500	2,500	610	前夜祭参加者	475	4	4	4	4	A	継続	経費の節減と前夜祭・参加記念品の検討は必要。
				19	2,610	2,000	2,000	610	480	大会参加者							
	20			4,056	1,700	1,700	2,356	430		1907							
	21			4,056	1,700	1,700	2,356	人	人								
	社会教育課																
333326	新温泉町青少年育成指定コミュニティスポーツ事業	一般住民(特に青少年、親子を対象)	青少年、青年、親子及び地域住民が気軽に参加し一緒に楽しむことで、親子間、異世代間、そして地域間のふれあい交流を深める。また、新温泉町の地域スポーツとして根付かせ、高校卒業とともに新温泉町を離れた若者が集う場所(コミュニティ)、機会を提供し、新温泉町の魅力を再確認してもらう。	18					教室参加者数		3	4	4	3	B	事業のやり方改善	地域資源である浜坂県民サンビーチを会場とするビーチサッカーが新温泉町浜坂のコミュニティスポーツとして根付きつつある現状の中、小中高の児童生徒とともに、保護者も参加し、親子が一体となり気軽に楽しむことのできる「親子ふれあいビーチサッカー教室/大会」を開催し、さらに普及を促す。また、夏季休業中に大会/教室を開催することにより、都市部の学生や青年層に参加してもらい、運営者及び参加者として幅広く交流を深め、多世代の中で、地域住民とともに、青少年を健全に育成する機運を醸成する。
				19	3,275	1,323	323	1,952	537	大会参加チーム							
	20			2,832	956	956	1,876	220		13							
	21			3,336	1,460	300	1,876	人	チーム								
	社会教育課																
基本	3-3(3)④住民のスポーツ指導体制を確立します																
333401	体育指導委員活動事業	体育指導委員	各種スポーツ大会、ニュースポーツ大会の実施	18	2,203	983	983	1,220	定例委員会協議件数		4	4	3	4	A	継続	町事業の大会とスポーツ振興法に規定されている体育指導委員の活動を整理する必要がある。
				19	2,413	766	766	1,647	6	スポーツ大会指導出席者数							
	20			2,933	1,286	1,286	1,379										
	21			2,463	1,084	1,084	1,379	件	人								
	社会教育課																
政策	4<<活力>>豊かな地域産業づくり																
施策	4-1産業間の連携と人材を育成するまちづくり																
基本	4-1(1)①産業技術を伝承し、後継者を育成します																
411101	杜氏館維持管理	杜氏館	来館者が但馬杜氏の歴史について興味を持って見学できるよう管理する	18	4,193	3,735	3,735	458	来館者数	32842	4	4	3	4	A	継続	観光協会と連携して独自のイベントを考えていく。
				19	4,008	3,581	3,581	427	29416								
	20			3,910	3,550	3,550	360	27137									
	21			4,156	3,796	3,796	360	人									
	振興課																

## 平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
411102	杜氏館イベント	杜氏館	来館者の増に結びつけたい。	18	374	38	38	336	来館者数	32842	4	4	3	4	A	継続	現行どおり継続していく
				19	273	29	29	244									
	20			219	39	39	180	27137									
	21			223	43	43	180	人									
411103	酒造技術向上	酒造従事者杜氏	杜氏が各酒造地で醸造した新酒を一堂に持ち寄り審査、評価することにより酒造従事者の技術の向上を図る。	18	1,017	102	102	915	参加者数	28	3	3	4	4	B	終了	但馬杜氏組合へ一本化により、20年度で事業終了
				19	1,019	104	104	915									
	20			710	111	111	599										
	21							人									
411104	杜氏組合運営事業	酒造従事者	酒造従事者が減少傾向にあるため但馬杜氏組合の一本化に向け協議し、活動は継続しながら酒造技術の向上を図っていく。	18	2,177	652	652	1,525	参加者数		3	3	4	3	B	終了	但馬杜氏組合の一本化を、平成20年7月実施に実施。一本化後の活動については、各支部で実施していた事業は継続して実施していく。
				19	2,113	588	588	1,525									
	20			1,216	617	617	599										
	21							人									
411105	季節労務対策	冬季就業者	冬季就業期間は、町の情報が入らないため広報、チラシ等を送付し地域情報を提供していく。	18	445	79	79	366	参加人数	広報等送付	4	4	4	4	A	継続	冬季就業者の把握、求職・保険受理説明会開催。各就業先へ地域の情報提供としてふるさとだより町広報等を発送していく。
				19	445	79	79	366									
	20			421	61	61	360										
	21			996	636	636	360	人									
411106	森林技術者確保対策事業	森林のもつ公益的機能を確保し町内森林の適正を推進するため、森林技術者の確保を図る。	森林組合の技術者確保により、町内就業を図ることに併せ、森林施業等の事業推進により、森林の公益的機能の増進を図る。	18	1,930	1,625	1,625	305			3	4	3	3	B	継続	県との随件事業として香美町とも連携している事業であり、単独での判断が難しいが、時期がくれば見直しをする必要があると思われる。
				19	1,602	1,602	1,602										
	20			1,951	1,591	1,591	360										
	21			2,007	2,007	2,007											
411107	若者就業者町内施設利用券交付事業	町内在住の35才以下の若者	若者就業者の支援事業を実施し、若者が各施設を利用することによって町づくりへの参画を促していく。	18					利用券利用率		4	4	2	4	B	事業のやり方改善	施設利用をしてもらう事によって、若者の町づくりへの参画を促していく事が出来るため本制度のPRを実施していく。
				19	1,044	373	373	671									
	20			895	236	236	659										
	21			809	150	150	659	%									



## 平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案		
					総事業費	事業費	一般財源	人件費											
基本	4-1(1)②企業を誘致し、雇用を促進します																		
411201	サンシーホール浜坂運営	町民	町民コミュニティ施設として、幅広く町民が利用できるようにしていく。	18	8,135	1,408	1,408	6,727	利用人数	13233			4	4	4	4	A	継続	町民コミュニティ施設として、町民が利用しやすい方向で運営していく。また相談員による求人情報提供を行っていく
				19	10,315	3,488	3,488	6,827											
	20			9,757	2,390	2,390	7,367												
	21			8,971	1,604	1,604	7,367												
	商工観光課																		
411202	企業立地奨励事業	該当企業	本制度を活用し、企業誘致の促進と町内の企業の育成をし、産業振興と雇用の拡大を図っていく。	18	1,809	1,443	1,443	366	企業立地助成金	1	雇用促進奨励金	3	4	4	3	4	B	事業のやり方改善	企業誘致促進、町内既存企業の育成を図り、産業振興と雇用の拡大を図る重要な事業である。現在、該当する企業はないが、新たな企業把握を実施していく。20年度に兵庫県から買収した旧浜坂高校温泉校については、21年度から企業等の利活用を募集し雇用機会の確保に努める。
				19	1,811	1,445	1,445	366											
	20			24,930	24,570	24,570	360												
	21			560	200	200	360												
	商工観光課																		
基本	4-1(1)③各種団体を育成・連携し、産業を活性化します																		
411301	美方郡広域シルバー人材センター支援	シルバー人材センター会員	高齢者の就業の場を確保するために、情報収集及び提供、就業相談を行い高齢者の就業の拡大を図っていく。	18	6,721	6,111	6,111	610	就業延人数	22598			4	4	4	4	A	継続	運営委員会で事業内容を精査し、事業運営の助成を行うとともにシルバー活用の拡大を図っていく。
				19	6,047	5,437	5,437	610											
	20			5,985	5,386	5,386	599												
	21			6,021	5,422	5,422	599												
	商工観光課																		
411302	産業特産品振興	浜坂産業観光振興協議会会員	イベントへの参加を促し、新温泉町特産品のPRをしてもらう。	18					参加人数	35			3	3	3	3	C	事業のやり方改善	温泉地域の特産品は、温泉町商工会が担当されており、特産振興という事務的には商工会が行った方がよい。両商工会の合併に伴い事務も商工会に引き継ぐ必要がある。
				19	1,199			1,199											
	20			1,199			1,199												
	21			1,199			1,199												
	商工観光課																		
施策	4-2自然活用型産業を振興するまちづくり																		
基本	4-2(1)①農業経営基盤を強化し農地を保全します																		
421101	米生産数量調整円滑化推進事業	農業者	県より配分された米の配分量・配分面積を超過しない生産調整を達成する。	18	1,672	1,672	613		水稲作付面積(目標配分)	617	水稲作付確定数量	3006830	4	4	4	4	A	継続	生産調整者のメリット拡大策と、調整した水田への振興作物の交付額(町予算を通らない協議会交付金)のさらなる増額が望まれる。
				19	1,573	1,573	618												
	20			7,044	1,110	435	5,934												
	21			1,142	1,142	526													
	農林水産課							ha		kg									

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
421102	新規就農実践事業	新規就農者	地域農業の担い手として活躍頂くこと。	18					延べ数		4	3	—	4	A	継続	次年度も継続(但し、現在のところ要望者なし)
				19													
	20			659			659	5									
	21																
	農林水産課							人									
421103	農地・水・環境保全向上対策事業	集落単位(各活動組織)、農地面積	農業及び農村の基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上。農業が本来有する自然循環機能の維持・増進する。	18					実績報告		4	4	4	4	A	継続	国庫補助事業であり、平成23年度までに各集落(活動組織)より、体制整備構想策定を必要とする。平成21年度については、体制整備構想(案)を策定する必要がある。
				19	24,945	24,945	6,237			37							
	20			30,879	24,945	6,237	5,934	37									
	21			30,879	24,945	6,237	5,934	件									
	農林水産課																
421104	大庭井堰改良推進事業	河川流下断面を阻害している大庭井堰	大庭井堰を整備補強し転倒可能な可動堰とすることで洪水時にも安全な流下断面を確保し、災害を未然に防ぐことを目的とする。	18	22,273	20,443	2,643	1,830	事業進捗率		4	4	4	4	A	終了	事業完了(無し)
				19	16,140	14,615	1,915	1,525		100							
	20			627	267	267	360	100									
	21							%									
	農林水産課																
421105	中山間地域総合整備事業	整備の遅れている中山間地域の農業生産基盤、防災安全施設	営農しやすい生産基盤、安全な集落環境とする	18	3,405	50	50	3,355	進捗率		4	3	3	3	B	内容拡大	当初計画どおり実施する。
				19	3,109	59	59	3,050									
	20			46,334	40,400	40,400	5,934	68.4									
	21			135,395	130,000	130,000	5,395	%									
	農林水産課																
421107	大庭地区県営ほ場整備推進事業	大庭耕地	ほ場整備事業を実施して、大型機械が作業可能な農地とし、地域の貴重な資源である優良農地の保全・活用を図る	18	2,135			2,135	進捗率		4	4	4	3	A	継続	ほ場整備推進委員会と土木又地元区長等とよく協議し、事業を進めていく。
				19	2,440			2,440									
	20			360			360	83.3									
	21			299			299	%									
	農林水産課																
421108	農業用施設災害復旧事業	異常なる降雨等により被災した農地、農業用施設	原形に復旧またはこれに代わるべき必要な施設を整備する。	18	50,123	47,683	1,200	2,440	進捗率		4	4	4	4	A	継続	災害発生随時、継続実施していく。
				19	2,643	2,033	106	610		100							
	20			659			659	100									
	21			4,795			4,795	%									
	農林水産課																

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
421109	農地災害復旧事業	異常な降雨等により被災した農地、農業用施設	原形に復旧またはこれに代わるべき必要な施設を整備する。	18	5,240	2,800		2,440	進捗率	100	4	4	4	4	A	継続	災害発生時、継続実施していく。
				19	2,979	539	85	2,440									
	20			5,215			5,215										
	21			4,795			4,795	%									
421110	町単農業振興事業	国県費の補助対象とならない小規模の未整備農業用施設等	営農しやすいように整備する	18	382	77	77	305	進捗率	100	3	3	3	3	B	事業のやり方改善	農道舗装が主であるがこの制度自体、中山間直払い・農地水等で地元対応するよう指導する。
				19	180	180	180										
	20			973	314	314	659										
	21			779	180	180	599	%									
421111	農業委員会運営事業	農業委員数22名	農業委員による農地パトロールを随時実施し、違法転用を未然に防止する。また、遊休農地解消対策について、行政期間と連携して遊休農地を減少させる。	18					許可・受理件数		4	4	4	4	A	継続	改正農地法(6月17日可決)公布から6カ月以内に施行に向けた組織対応を図る。
				19													
	20			3,237			3,237										
	21			3,237			3,237	件									
421112	農業経営基盤強化措置特別会計事務	・国有農地及び貸付者	・耕作放棄地とならないよう適正利用を図る	18					貸付け農地	3	4	4	4	4	A	継続	貸付け地の不適切管理(耕作放棄)防止対策
				19													
	20			360			360										
	21			360			360	%									
421114	二尾山農地対策	この団地に入植出来る者は、新温泉町民及び町民が組織する団体又は法人若しくは、町が実施する新規就業支援事業による就農者とする。	広大な土地利用の中で生産所得の向上と産地確立を目指し、地域の活性化と専業農家の育成、土地利用の有効活用を図る。	18	9,537	8,927	8,535	610	農地利用率	79	1	2	2	2	D	抜本的見直し	入植の条件の緩和、広報等によるPRにより、入植対象者を拡大し、未利用農地を減少させる。
				19	10,061	9,085	8,715	976									
	20			10,367	9,048	8,631	1,319										
	21			10,494	9,175	8,823	1,319	行事(参加人数)									
421115	歌長栽培施設管理	住民・観光客	観光と農業利用による四季型農業の推進を図るため、花いっぱい運動推進事業に提供する花苗の生産等を行う。	18	400	95	95	305	全体生産量		1	2	3	1	C	抜本的見直し	花いっぱい運動を、温泉地域は町の直営で実施しているが、浜坂地域は緑化活動団体に委託している。今後浜坂方式に一本化した場合、花苗の生産(購入)方法を統一することになり、場合によっては養液施設での花苗生産が不要となる。
				19	400	95	95	305									
	20			395	95	95	300										
	21			395	95	95	300	B									

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
421116	農地農業用施設災害復旧事業	被災した農地、農業用施設	被災農地、農業施設の早期の復旧により、農業の維持を図り、併せて農家経営の安定に寄与する。	18	141,227	136,347		4,880	復旧率		58.33333333	4	4	3	4	A	継続	今後災害が発生した場合、現人員での対応が難しいため農林水産課と調整の上事業執行する。	
				19	123,872	118,992		4,880											
	20			6,658	5,040		1,618												
	21			1,618			1,618												
	産業建設課																		
421117	土地改良区の指導	土地改良区	・土地改良区の適正運営 ・運営に係る諸問題の解決	18					解決数		10	1	2	3	2	C	内容縮小	今後、土地改良区の運営について、自立した運営の心がけを再認識させ指導にあたる。なお、国県からの調査等、関係機関との調整が必要なものに関しては適宜指導にあたる。	
				19															
	20			300			300												
	21			300			300												
	産業建設課																		
421118	県営地すべり対策事業に関する調整	農地、農村	災害から農業農村の住民の生命・財産を守る。	18					指定件数		1	4	4	4	4	A	継続	地区住民からの要望、情報提供などを的確に確認し、県の担当課へと要望していく。	
				19															
	20			1,019			1,019												
	21			1,019			1,019												
	産業建設課																		
基本	4-2(1)②林道等の林業生産基盤を充実させます																		
421201	公有林整備事業	町・関係者(受益者)	町有林・町行造林の整備を行う。	18	6,971	6,605	3	366	実施率		%	3	3	3	3	C	内容縮小	町有林については暫く事業を行わない。町行造林については事業計画の段階で効果の検討を行い、期待できない場合は事業の見直しを行う。そして、全体事業費の縮小へ向けた検討する。	
				19	5,880	5,880	84												
	20			5,858	5,199	12	659												
	21			6,493	6,493	46													
	農林水産課																		
421202	林業振興事業	林業関係者	施業のための作業道開設を推進する。	18	778	290	290	488	作業道延長	880	m	4	4	3	3	A	継続	国・県の補助随伴事業であり、施業推進のための作業道開設の唯一の事業であることから、継続の必要があると考えられる。	
				19	235	235	235			450									
	20			665	245	245	420			490									
	21			300	300	300													
	農林水産課																		

## 平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
421203	林道維持管理事業 農林水産課	町民(利用者)	林道を良好で安全な状態に保つ	18	2,149	1,478	1,478	671	通行不可件数	3		4	4	3	3	A	継続	除草、簡易な側溝清掃については、シルバー人材センターを利用して、人件費だけの安価な事業実施に取組んでいる。今後も、工事対応を極力縮小して経費の削減に努め、限られた予算内で可能な限り多くの事業量を実施するようにする。また、毎年法面崩壊等が発生し、側溝清掃・路面整形等の修繕工事対応をする必要がある箇所(路線)については、林道改良工事(法面改良・舗装工事)を行い抜本的な対策を取ることが、長期的に見て経済的でもあり、目的を達成するための有効な対策と考えられる。	
				19	1,335	1,335	1,335												1
				20	6,775	4,557	4,557	2,218											1
	21	680	680	680		件													
421204	県営林道整備事業 農林水産課	町民(利用者)	林道池ノ尾線の事業推進を図る	18	45,785	45,114	45,114	671	林道開設進捗率	68.2	用地登記進捗率	4	3	4	3	A	継続	引続き、事業推進を図る。また、林道用地の未登記区域については、地籍調査事業と併せ登記処理を行う。	
				19	42,000	42,000	42,000												70.4
				20	27,259	26,000	26,000	1,259											79.7
	21	21,000	21,000	21,000		%	%												
421205	県代行林道整備事業 農林水産課	林道中辻肥前畑線	林道中辻肥前畑線は、平成20年度で完成した。延長15,866m幅員4.0m	18	869	869	869					4	4	4	4	A	終了	今後の維持管理は町が実施。林道改良並びに舗装工事を要する箇所が多くあり、事業費などの経費がかかる。	
				19															
				20	1,826	1,167	1,167	659											
	21																		
基本	4-2(1)③港湾の整備と漁業資源の管理・育成に努めます																		
421302	県営漁港改良事業 農林水産課	浜坂漁港、諸寄漁港、居組漁港	安全で円滑な漁業活動ができるように漁港施設の整備を図る	18	2,705	2,583	2,583	122	船舶事故件数			4	4	4	4	A	継続	漁港施設が老朽化してきており、継続しての改良が必要 漁港内の航路に土砂の堆積が続いており、継続して浚渫が必要	
				19	2,336	2,214	2,214	122											
				20	2,496	2,374	2,374	122											
	21	2,496	2,374	2,374	122	件													
421303	岸田川漁業協同組合繁殖保護事業 農林水産課	地域社会の形成に資する	兵庫県内水面漁場管理委員会から指示されている増殖基準数量を達成する。(アユ700kg、ウナギ10kg)	18	842	720	720	122	アユ基準達成率	100	ウナギ基準達成率	300	3	3	4	3	B	継続	兵庫県内水面漁業管理委員会から割り当てられた放流量の一部について支援している。気候の変動・台風等による河川環境の変化や河川横断構造物により、魚の遡上や降下に影響が出ている状態がづついており、一度バランスがこわれた河川の生態系はなかなか回復していない。
				19	842	720	720	122											
				20	900	720	720	180											
	21	900	720	720	180	%	%												

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)		評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費		必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源												
421304	漁業振興事業	漁業者	漁業の効率的かつ安定的な水産物供給の確保と漁家経営の安定を図る。	18	1,602	1,541	1,541	61	アワビ漁獲量 kg	3724	総漁獲高 百万円	4	4	4	4	A	継続	町の産業、漁家経営の安定のために有効な事業であるので、社会情勢を鑑みながら弾力的に補助を継続する。
				19	5,090	4,968	4,968	122		3667								
	20			4,179	2,261	2,261	1,918	4600		3119								
	21			4,015	2,217	2,217	1,798											
	農林水産課																	
421307	漁港整備事業	浜坂漁港、諸寄漁港、居組漁港の水産業関係者	安全で円滑な漁業活動ができるように漁港施設の維持を図る。	18	538	294	294	244	進捗	100		4	4	4	4	A	継続	漁港施設が老朽化してきており、継続しての改良が必要 漁港内の航路に土砂の堆積が続いており、継続して浚渫が必要
				19	447	386	386	61		100								
	20			1,918			1,918											
	21							%										
	農林水産課																	
421309	外国人漁業研修生受入れ事業	底引網漁業	研修生から技能実習生として移行が認められれば、その後2年間「特定活動」(就労ビザ)で働くことが可能となり、船員不足を補うことができる。	18	4,500	4,500			研修生及び実習生受入人数 人	8	底引き網漁業漁獲高 百万円	4	4	4	4	A	継続	町の産業活性化、漁家経営の安定のために有効な事業であるので継続する。
				19	671			671		6								
	20			6,110	4,851	4,851	1,259	11		2711								
	21			10,948	9,689	89	1,259											
	農林水産課																	
421310	サクラムスの里づくり事業	岸田川漁協	兵庫県内水面漁場管理委員会から指示されている増殖基準数量を達成し、自然と親しめる豊かな岸田川を創出することで環境保全の形成に資する。	18	1,180	1,000	1,000	180	サクラムス生息調査数 尾	338		3	3	4	3	C	事業のやり方改善	兵庫県内水面漁業管理委員会から割り当てられた放流量の一部について支援している。気候の変動・台風等による河川環境の変化や河川横断構造物により、魚の遡上や降下に影響が出ている状態がつついており、一度バランスがこわれた河川の生態系はなかなか回復していない。
				19	980	800	800	180		328								
	20			820	640	640	180	352										
	21			756	576	576	180											
	農林水産課																	
421311	外来魚駆除緊急対策事業	外来魚(ブラックバス、ブルーギル)の駆除	外来魚(ブラックバス、ブルーギル)駆除により固有魚種被害を軽減し、豊かな水産資源を維持する。	18	250	250	250		外来魚捕獲数量(ブラックバス) 尾	920	外来魚捕獲数量(ブルーギル) 尾	3	3	4	3	C	事業のやり方改善	兵庫県内水面漁業管理委員会から割り当てられた放流を行なっているが、外来魚による被害、気候の変動・台風等による河川環境の変化や河川横断構造物により、魚の遡上や降下に影響が出ている状態がつついており、一度バランスがこわれた河川の生態系はなかなか回復していない。
				19	200	200	200			2117								
	20			340	160	160	180	5		4								
	21			324	144	144	180											
	農林水産課																	
基本	4-2(1)④「但馬牛」の生産から肥育までの一貫生産体制を整えます																	
421401	畜産基地償還事務	畜産基地建設事業町負担金	償還金の完済	18	11,547	11,242	11,242	305	償還率	78.7		4	4	4	4	A	継続	より円滑な事務処理に努める。
				19	11,602	11,242	11,242	360		84								
	20			11,602	11,242	11,242	360	89.6										
	21			11,602	11,242	11,242	360	%										
	農林水産課																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
421402	畜産振興事業	和牛生産者	経営安定及び飼養規模拡大	18	6,631	3,276	3,276	3,355	子牛市販売高	286573	子牛市平均価格	552162	4	4	3	4	A	継続	和牛生産農家の現状は、高齢化や後継者不足と依然厳しい状況であるため、生産保護と飼養規模拡大に向けた大胆な政策の検討・導入が望まれる。
				19	6,108	2,751	2,751	3,357		316714		595328							
	20			4,155	2,896	2,896	1,259	287855	581526										
	21			6,627	3,270	3,270	3,357	千円	円										
	農林水産課																		
421403	子牛流死産互助共済事業	和牛生産者	子牛の生産事故に対し、農家の経済的損失を補い、生産意欲の向上と経営安定を図る。	18	2,161	941	941	1,220	加入率	97.6	支払給付金額	174	4	4	4	3	A	継続	美方郡広域事務組合の家畜共済引受時に併せて全農家に申込みを促し、円滑な加入推進に努める。収支状況を勘案しながら、共済掛金(要綱)の改正を検討する必要がある。(前回14年度に改正)
				19	1,264	904	904	360		96.9		186							
	20			1,274	914	914	360	96.7	214										
	21			2,173	914	914	1,259	%	万円										
	農林水産課																		
421404	子牛共進会	和牛生産者	飼育・生産継続、増頭意欲の高揚、畜産技術の向上	18	1,627	407	407	1,220	出場頭数	109			4	4	3	3	A	継続	早期の出場牛決定通知また、当日の審査及び褒章授与式の円滑な進行に努める。
				19	1,684	425	425	1,259		98									
	20			1,086	427	427	659	90											
	21			1,741	482	482	1,259	頭											
	農林水産課																		
基本	4-2(2)①地域産品物の開発を支援します																		
422110	地産地消	地産:生活研究グループ・朝市直売所 地消:町民	町民が町内で生産された農水畜産物並びに加工品を町内で消費する。町民の地場農産物に対する生産と消費の意識を高める。	18					近畿地産地消優良活動表彰		研修参加者数		4	4	3	3	A	継続	生産者の安全・安心な農水畜産物の生産・販売意識の拡大(多品目生産量の増加、生産履歴記帳)。消費者ニーズへの対応。農業改良普及センター・JAとの連携。行政の情報・広報活動の継続。
				19						1									
	20			959			959												
	21							団体数											
	農林水産課、産業建設課																		
施策	4-3交流型産業を振興するまちづくり																		
基本	4-3(1)①観光資源を整備・充実・活用します																		
431102	公共トイレ維持管理(温泉地域)	温泉地域の公共トイレ	利用される方が気持ちよく使えるように管理する	18	3,010	2,461	2,461	549	苦情件数	0			4	4	4	4	A	継続	トイレを設置してからかなりの年数が経過しており、修繕が必要である。北駐車場はH19年度に改修工事を行った。H20年度ポケットパークトイレを整備した。
				19	3,406	2,857	2,857	549		0									
	20			3,011	2,472	2,472	539	0											
	21			4,027	3,488	3,488	539	件											
	振興課																		

## 平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
431103	観光施設維持管理	温泉地域内観光施設 5箇所	利用される方が気持ちよく使えるように管理する	18	3,469	2,493	2,493	976	苦情件数 0 件		4	4	4	4	A	継続	ライトアップのランプを類似品を使用するなどしてコストの削減を図る。	
				19	4,472	3,557	3,557	915										
	20			3,613	2,474	2,474	1,139											
	21			4,415	3,216	3,216	1,199											
431104	夢千代館維持管理	夢千代館	来館者が興味を持って見学できるよう管理する	18	6,410	5,739	5,739	671	入館者数 31404 27441 人	33532		4	4	4	4	A	継続	来館者数が湯村温泉の入込客の減と共に年々減少している。観光協会等と連携を取り、湯村温泉への誘客策を検討する。
				19	6,533	5,862	5,862	671										
	20			6,006	5,586	5,586	420											
	21			6,282	5,862	5,862	420											
431105	生涯学習のむら維持管理	生涯学習のむら	利用される方が気持ちよく使えるように管理する	18	7,652	7,225	7,225	427	宿泊棟利用人数 4487 4253 人	4375		4	4	4	4	A	継続	週末及び夏季の利用は安定して多いが、平日の利用が少ないので団塊の世代等、平日動ける人の利用を促すPRを行う。
				19	6,309	5,882	5,882	427										
	20			5,947	5,527	5,527	420											
	21			5,432	5,012	5,012	420											
431106	まちづくり交付金事業	湯地区	湯村の町並みを整備し、中心街の賑わいを再生する	18	43,658	40,486	86	3,172	観光客(入込数) 1271 1299 1344 千人	整備率	49.6 94.1 100	4	4	4	4	A	終了	20年度で整備が終わったので整備した施設の有効利用を図り、入込客の増につなげる。
				19	446,032	442,860	160	3,172										
	20			58,324	52,570	3,170	5,754											
	21			376	16	16	360											
431107	マリンポーチ管理運営事業	マリンポーチ	休館中の施設の維持管理と早期再開館	18	3,624	818	818	2,806	施設に対する参加人数 苦情件数 件			4	3	4	3	A	内容拡大	ジオパークの拠点施設としての改修工事
				19	10,477	7,671	7,671	2,806										
	20			3,559	502	502	3,057											
	21			59,580	56,523	1,881	3,057											
431109	温泉町観光協会補助	温泉町観光協会	温泉町観光協会の自立を図る観光客の入込を増やす。	18	21,335	20,969	20,969	366	温泉地域観光客入込数 785 775 819 千人			3	4	4	4	A	継続	かなり改善されてきているが、まだ行政頼りの傾向がある。原因の一つには会員の意識が低く会長・事務局任せで事業に協力的でない会員が多い。会員の意識啓発が必要である。
				19	16,960	16,594	16,594	366										
	20			18,017	15,500	15,500	2,517											
	21			16,923	14,406	14,406	2,517											



平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案			
						一般財源														
431110	兵庫県立但馬牧場公園管理運営事業	来園者	但馬の自然を活かし、但馬牛のPRと生産振興の拠点として、但馬牛やヤギ・ヒツジなどの動物や自然とのふれあいを通じて、四季を通じて都市と農村の交流を促進することにより、地域の活性化を図る。	18	116,569	116,569			達成率		4	4	4	4	A	継続	但馬牛のPRと生産振興の拠点として、また四季を通じて都市と農村の交流を促進を図るよう、より一層職員一丸となって創意工夫しながら、H21年度から3か年指定管理の基本協定を締結し、継続して運営を行っていく。			
				19	107,646	107,646		91.3												
	20			90,936	90,936		90.6													
	21			91,223	91,223	1,402	%													
431111	浜坂海岸レクリエーションセンター管理事業	交流人・町民	健全な運営を行い利用者の増につなげる	18	6,762	5,786	1,893	976	利用者数		4	4	4	4	A	継続	町民の公衆浴場、コミュニティの場であり利用料の据え置き			
				19	6,617	5,641	1,757	976										8296		
	20			6,827	5,568	1,525	1,259	8545												
	21			7,042	5,783	2,283	1,259	人												
431112	公衆トイレ維持管理事業	公衆トイレ	利用者に快適な公衆トイレの提供を行う	18	3,489	2,513	2,513	976	苦情件数		4	4	4	4	A	継続	観光客が主で利用している			
				19	3,402	2,426	2,426	976												
	20			3,394	2,435	2,435	959													
	21			2,828	1,869	1,869	959													
基本	4-3(2)①魅力ある交流イベントを開催します																			
432101	但馬牛まつり	但馬の人々及び訪れる交流人	但馬の人々及び但馬を訪れる交流人が心をつなげて集い、楽しみ、交流を深めるため交流人の増を目指す。	18	5,953	1,500	1,500	4,453	参加者数	23000	造形物コンテスト参加団体数	8	4	4	3	4	A	継続	今年で第16回目を迎えるが、マンネリ化の声も有る。半面毎年楽しみにしているとの声もあり、基本的には軸となるものはそのまま他のイベント内容を少しずつ変えて開催していく方向で進めていく。	
				19	5,953	1,500	1,500	4,453												20000
	20			5,376	1,000	1,000	4,376	20000												7
	21			3,577	1,000	1,000	2,577	人	団体											
432102	かくれんぼ大会	交流人	町外からの参加者との交流を深めるとともに湯村温泉の魅力年全国に知ってもらうとともに交流人の増を目指す。	18	3,801	1,300	1,300	2,501	町内施設への宿泊者数	56	参加者数	500	4	4	4	4	A	継続	参加者の23%が町内に宿泊しており、現行どおりかくれんぼ協会に委託し継続していく	
				19	3,501	1,000	1,000	2,501												649
	20			3,258	800	800	2,458	162												744
	21			3,258	800	800	2,458	人	人											
432103	イベント企画事業	観光客・都市部住民	イベントを通して、新温泉町の良さを感じていただき、何度も訪れていただけるようPRしていきたい。	18					観光客(入込数)	1271		4	4	3	3	A	継続	メディアや企業主催のイベントが多く、経費負担も少ない割に大型のイベントであるため、宣伝効果も高い。但馬広域でのイベントについても、他の市町と比べ人的負担も少ない。今後においても最小の経費で最大の効果が図れるようなイベントを取捨選択していく。		
				19	3,742	692	692	3,050											1299	
	20			3,807	510	510	3,297	1344												
	21			4,030	434	434	3,596	千人												

## 平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
432104	日本酒まつり	町民、交流人	多くの方に日本酒の素晴らしさをPRし、日本酒消費の拡大を図る。	18	1,001	330	330	671	入場者			4	4	4	4	A	継続	但馬杜氏組合事業として実施する。
				19	968	297	297	671										
	20			360			360											
	21			360			360											
	商工観光課																	
432105	都市との交流事業	交流人	町外の人との交流を深めることによって新温泉町の魅力をアピールし、交流人を増やす。	18	3,539	550	550	2,989	温泉地域観光客入込数 千人	785		4	4	3	4	A	継続	雪のプレゼント・足湯出張は、新温泉町をPRする有効な事業であり今後も継続していくべきだが、イベント時の観光PRの方法を検討する必要がある。
				19	3,439	450	450	2,989		775								
	20			2,248	450	450	1,798											
	21			450	450	450												
	振興課																	
432106	交流事業	観光客・都市住民、小学校	イベントによる交流や体験交流事業などを通して、情報発信を行い誘客を促進するとともに地域の活性化を図る。	18					参加者数 人			4	4	4	4	A	継続	全国の小学生を対象として、長期宿泊体験を進める「子ども農山漁村交流プロジェクト」が始まった。本町においては、受け入れ体制の整備を図るため、協議会の設置を行い体験プログラムの実施を図る。
				19	2,255	730	730	1,525		400								
	20			2,634	476	476	2,158	160										
	21			4,247	770	770	3,477											
	商工観光課																	
432108	ふるさとおんせん会	交流人	町外の人との交流を深めることによって新温泉町の魅力をアピールする	18	3,539	550	550	2,989	ふるさとおんせん会 会員数 口	221		4	4	4	4	A	継続	雪のプレゼント・足湯出張は、新温泉町をPRする有効な事業であり今後も継続していくべき。 ふるさとおんせん会については、現在の補助金の中での交流イベントは難しい状態であり、会員からの実費徴収でのイベント開催となると金額が高くなり参加者が見込めない。実施主体の見直しが必要。
				19	3,439	450	450	2,989		195								
	20			1,829	450	450	1,379	200										
	21			450	450	450												
	商工観光課																	
基本	4-3(3)①若年層の定住化と団塊の世代等の受入れを図ります																	
433101	町営住宅管理	町営住宅及び入居者	施設の良好な状態維持と家賃の適切な納入	18	7,078	5,248		1,830	家賃収納率 %	99.5	苦情件数 件						継続	期限内の家賃徴収と計画的な施設修繕を行い、適切な管理運営を行う。
				19	4,008	2,544		1,464		100								
	20			4,241	2,742		1,499	100										
	21			4,057	2,558		1,499											
	建設課																	

## 平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性				
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					一般財源															
基本	4-3(4)①都市部への情報発信を充実します																			
434101	広域観光PR事業	観光客	本町に観光客を誘客する	18	4,582	1,593	1,593	2,989	入込数	1271000							継続	京阪神等で観光キャンペーンを実施する。		
				19	4,788	1,799	1,799	2,989		1299000										
	20			5,350	2,713	2,713	2,637	1344000												
	21			5,228	2,591	2,591	2,637	人												
	商工観光課																			
434102	新温泉町観光大使	新温泉町の出身者	積極的に新温泉町の観光PRをしてもらい誘客につなげる	18	2,254	276	276	1,978	送客件数								継続	現在、大使が100名近くいるが本当に活動をしていただける方に絞り込む必要がある。また、観光協会主催で企画実施してもらう。		
				19	2,007	29	29	1,978		11										
	20			1,661	42	42	1,619	1												
	21			1,933	434	434	1,499	件												
	商工観光課																			
施策	4-4商工業を活性化するまちづくり																			
基本	4-4(1)①商店街を活性化します																			
441101	商工会補助	浜坂町商工会・温泉町商工会	商工会が実施する経営改善普及事業等を支援していく。商工会合併に向けての指導を行っていく。	18	17,575	15,867	15,867	1,708	会員数	682							継続	商工会と連携をとりながら、各種事業において助成を行っていく。平成22年の両商工会合併に向け活動を継続していく。		
				19	17,670	15,962	15,962	1,708		662										
	20			17,940	15,962	15,962	1,978	646												
	21			17,495	15,517	15,517	1,978	人												
	商工観光課																			
基本	4-4(1)②中小企業を活性化します																			
441202	中小企業振興資金融資制度	町内の中小企業者	中小企業の資金供給を低金利で資金運用し、経営の安定と健全化を図っていく。	18	140,671	140,000	140,000	671	融資貸付件数	99	融資貸付金額	337370						継続	年々利用が減少傾向にある。金融機関、商工会と融資内容を検討し利用しやすい方向で実施していく。また預託金の見直しを行う必要がある。	
				19	140,671	140,000	140,000	671		90		325301								
	20			140,959	140,000	140,000	959	89		326913										
	21			140,959	140,000	140,000	959	件	千円											
	商工観光課																			

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案	
					総事業費	事業費	一般財源	人件費										
政策	5<<快適・生活環境>>住みたくなる環境づくり																	
施策	5-1自然を守り育てるまちづくり																	
基本	5-1(1)①うるおいのある森林づくりを進めます																	
511101	森林保全管理巡視事業	町全域の森林	災害等の異常状況を把握して、早期の対応を図る。	18	515	210	210	305	指摘件数	20							継続	当面現在の状態で継続する方針である。今後は不法投棄の状況の確認等、他所管との連携を図ることも検討する必要があると考えられる。
				19	210	210	210	24										
	20			570	210	210	360	件										
	21			210	210	210												
	農林水産課																	
511102	環境対策育林事業	町・関係者	公益的機能増進を図るため、間伐・枝打・抜切等の施業推進を行う	18	10,511	10,145	7,767	366	総事業量	919.05							継続	CO2削減問題等により、今後事業の意義が重要になりつつある。(場合によっては、事業拡大の方向となる可能性がある)
				19	10,866	10,866	8,324	1084.05										
	20			11,205	10,845	8,246	360	ha	1273.69									
	21			10,845	10,845	8,246												
	農林水産課																	
511103	森林整備地域活動支援事業	森林組合・森林施業者	施業(枝打・間伐・抜切等)の推進を図る	18	18,805	18,439	4,610	366									継続	
				19	17,429	17,429	4,358											
	20			17,789	17,429	4,358	360											
	21			17,429	17,429	4,358												
	農林水産課																	
511104	林業振興対策事業	林業研究グループ	町内1団体の活動推進を図る	18	710	222	222	488	取組み面積	185							継続	今後は、団体の統合に向けた調整を行ってゆく。
				19	217	217	217	190										
	20			1,446	187	187	1,259	ha	190									
	21			177	177	177												
	農林水産課																	
511105	治山地すべり対策事業	山林、林野	災害から守り、または被害を除去軽減し、地すべり等を未然防止する。	18					進捗率		概成地区数						継続	地区住民からの要望、情報提供などを的確に確認し、県の担当課へと要望していく。
				19														
	20			420			420											
	21			420			420											
	産業建設課																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案	
					総事業費	事業費	一般財源	人件費										
基本	5-1(1)②松くい虫被害の予防と早期駆除をします																	
511201	松くい虫特別防除事業	受益者	松くい虫被害の蔓延防止を図る	18	4,473	3,558	1,221	915	被害量	43						B	内容縮小 現地での効果が見込めない箇所については、随時実施面積の減を行ってゆく。	
				19	2,482	2,482	541			58								
	20			2,695	2,036	361	659	m <sup>3</sup>	68									
	21			2,414	2,414	739												
	農林水産課																	
511202	養蜂群移動保護事業	養蜂業者	養蜂被害の回避	18	631	631	315		被害数							A	継続 特別防除事業の実施に伴い、必ず実施する必要がある。特別防除事業が廃止にならない限り継続実施する。	
				19	749	749	375											
	20			1,102	742	368	360	件										
	21			756	756	378												
	農林水産課																	
511203	松くい虫地上散布事業	浜坂県民サンビーチ	松林を松くい虫から守る	18	1,017	407	31	610	被害量	9.6							A	継続 今後も他事業と連携をとりながら、浜坂県民サンビーチを守ることになる。
				19	420	420	44			6.6								
	20			859	200	1	659	m <sup>3</sup>	9.5									
	21			260	260	61												
	農林水産課																	
511204	松くい虫伐倒駆除事業	町・受益者	松くい虫被害の拡大防止	18	1,702	1,397	419	305	被害量	43							A	継続 松くい虫防除(空中散布)事業を縮小する代わりに、伐倒駆除事業で対応するようにする。
				19	1,445	1,445	440			58								
	20			2,108	1,449	456	659	m <sup>3</sup>	68									
	21			1,634	1,634	689												
	農林水産課																	
511205	松くい虫被害市町計画策定	地区(関係者)	地区住民及び関係者に事業の周知を図り、事故防止を図る。	18	355	50	12	305	事故回数								A	継続 松くい虫特別防除事業を行う限り、継続して事業実施してゆく。
				19	60	60	23											
	20			420	60	35	360	件										
	21			60	60	35												
	農林水産課																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案	
					総事業費	事業費	一般財源	人件費										
基本	5-1(1)③恵みのある農地を保全します																	
511301	中山間地域等直接支払事業	対象地域において取組内容を定めた協定締結集落及び協定参加者	耕作放棄の防止並びに農地の持つ多面的機能の維持 将来にわたる営農活動の担い手の育成	18	89,807	89,807	22,383		協定対象地内耕作放棄地		29	4	4	3	3	A	継続	他の関連施策(耕作放棄地・担い手育成)との連携によって、集落の営農活動の維持並びに将来的な活動の継続が可能となるよう方向付けを行っていく 次期対策について国のほうでもまだ未定のため国からの方向性が示されてからの事業推進となる。
				19	89,765	89,765	22,380	0		29								
	20			96,245	89,712	22,406	6,533	0		29								
	21			89,623	89,623	22,322		ha	集落									
511302	有害鳥獣防除事業	有害鳥獣捕獲班	農作物被害の防止、住宅地等への野生動物出没にかかる被害防止を図る	18	3,205	2,229	2,229	976	捕獲頭数		174	4	4	3	3	A	継続	有害被害は増加の傾向にあり、クマ・シカ・アライグマ等新しい被害動物の出没も増えている状況の中、捕獲班は高齢となり特に銃猟所持者は近年に激減することが予測される。その対策を早急にとる必要があるが、現在有効な手立てを見出していない。
				19	2,165	2,165	2,165			222								
	20			4,317	2,039	2,039	2,278			190								
	21			2,350	2,350	2,350		匹										
基本	5-1(2)①貴重な自然環境を保全します																	
512101	自然公園清掃美化推進活動	自然公園	自然環境を清潔に保持し、利用者に快適な環境を提供する。	18	4,575	1,769	1,769	2,806				4	3	4	3	A	継続	モラルの改善がみられない。(ゴミが減らない)
				19	3,369	563	563	2,806										
	20			2,335	477	477	1,858											
	21			2,344	486	486	1,858											
512102	自然公園施設管理事業	自然公園利用者	自然公園等施設の維持管理に努め、公園を快適に利用してもらう	18	3,376	570	570	2,806	苦情件数			4	3	4	3	A	継続	継続実施し、公園を快適に利用していただく
				19	3,369	563	563	2,806										
	20			2,934	476	476	2,458											
	21			2,944	486	486	2,458											
512103	上山エコ施設管理事業	上山高原ふるさと館他2施設	上山高原エコミュージアムとの連携による取り組みをとおして自然環境保全、自然との共生をはかる。	18	9,134	5,657	5,657	3,477	参加人数	5497	4	3	4	3	A	継続	かけがえない自然を次代に継承するとともに地域の活性化に寄与する。また、ジオパークエリア内の施設としてのあり方も検討していく。	
				19	6,190	2,713	2,713	3,477		7266								
	20			5,530	2,713	2,713	2,817	5315										
	21			5,531	2,713	2,713	2,818	人										

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案	
					総事業費	事業費	一般財源	人件費										
施策	5-2快適な生活ができるまちづくり																	
基本	5-2(1)①美しいまちづくりを進めます																	
521101	こころ豊かなまちづくり推進事業	町民(浜坂地域)	飾花等、花に関する事業を通じ、こころ豊かな町づくり・人づくりを図る	18	1,410	800	800	610	ボランティア団体の数	47							継続	町合併により、浜坂地域・温泉地域で別々の事業展開となっている。早期の事業一元化検討を図る。
				19	800	800	800		48									
	20			1,160	800	800	360		47									
	21			800	800	800		個										
	農林水産課																	
521102	花いっぱい推進事業	住民、花づくりをしている活動グループ(自治会、婦人会、老人会等)	花と緑に包まれた美しい町づくりの一環として、地域の美化と住民の花を育てる情操を育み、快適で活力ある生活環境を創り育てる運動を推進する。	18	1,917	1,307	1,307	610	無償配布数	12910							事業のやり方改善	国、県道沿いの花壇については、国道ボランティアサポート並びにひょうごアダプト事業の認定を受け、国、県費による花壇管理に方向転換し、コストを削減する。町直営方式(温泉地域)を委託方式(浜坂地域)に一本化した。(H22より実施予定)
				19	1,760	1,150	1,150	610		11982								
	20			2,270	951	951	1,319	11930										
	21			2,340	1,021	1,021	1,319											
	産業建設課																	
521103	屋外広告物条例推進事務	屋外広告物設置許可申請者	兵庫県屋外広告物条例を遵守し、適切に屋外広告物を表示・掲出するよう指導する。	18	1,552	27		1,525	是正指導件数	63	100	4	4	4	4	A	継続	市町の担当部局だけでなく、道路管理者、警察等関係機関と合同によるパトロールを実施し、課題の共有を図る。違反広告物に対しては、1市町単独ではなく、地域協議会で一斉指導を行うなど、連帯した取り組みを行う。
				19	1,577	52		1,525		0	100							
	20			1,268	69		1,199	9		100								
	21			1,259	60		1,199	件		%								
	建設課																	
521104	景観形成事業	新温泉町の優れた景観や快適な環境	守り、育て、創り出すため、魅力ある郷土の形成と秩序ある開発を促す	18	2,504	1,284	1,284	1,220	景観形成補助金交付件数	12	7	4	4	4	4	A	内容拡大	浜坂地域の景観形成地区拡大の進め方として、味原川周辺地区の指定を起点として住民意識の醸成を図り、範囲の拡大を進める。
				19	2,255	1,035	1,035	1,220		16	2							
	20			2,922	1,124	1,124	1,798	14		4								
	21			2,925	1,127	1,127	1,798	件		件								
	建設課																	
521109	海岸環境美化清掃事業	県民サンビーチ	海岸に打ち上げられたゴミ及び漂着物等の収集運搬及び処分	18	2,305	2,000	1,000	305	清掃面積	21700		4	4	4	4	A	継続	漁港海岸の景観の保持、美化のため維持管理を継続実施する。
				19	2,305	2,000	1,000	305		21700								
	20			2,305	2,000	1,000	305	21700										
	21			2,305	2,000	1,000	305	m <sup>2</sup>										
	農林水産課																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
521110	漁港環境整備施設維持管理事業	緑地等維持管理面積 A=9,100㎡	施設の維持管理を行う	18	2,217	1,912	956	305								継続	漁港環境施設の景観の保持、美化のため維持管理を継続実施する。
				19	2,217	1,912	956	305									
	20			2,092	1,912	956	180										
	21			2,092	1,912	956	180										
521111	開発行為総合調整	開発行為者	適切な開発を行うよう指導する。	18	610			610	開発行為指導件数	0						継続	引き続き、開発行為者との事前協議を十分行うよう努める。関係諸法令に関する事項について、関係課との迅速な連絡調整に努める。
				19	610			610	0								
	20			899			899	1									
	21			899			899										
基本	5-2(1)②憩いのある公園づくりを進めます																
521201	健康公園維持管理	健康公園・町民	利用される方が気持ち良く使えるように管理する	18	22,913	22,181	22,181	732	入園者数	87172						継続	20年度繰越事業で健康公園の電気系統の営繕工事を行ったが、開園後かなりの年数が経過しており修繕必要箇所が増え、年次計画で修繕の必要がある。
				19	40,081	39,349	22,349	732		86103							
	20			23,076	22,656	22,656	420		84644								
	21			25,258	24,838	24,838	420	人									
521202	白馬公園維持管理事業	浜坂白馬公園 (面積A=2.14ha)	環境の美化を図り、快適な公園空間を維持する。	18	3,515	763	763	2,752	苦情・要望件数	1						継続	現状の維持管理体制を見直し、より効率的な方法について検討する必要がある。また老朽化してきている施設の修繕等、状況を見ながら行う必要がある。
				19	17,277	14,525	14,525	2,752		0							
	20			2,812	688	688	2,124		1								
	21			3,100	976	976	2,124	件									
基本	5-2(1)③土地利用を明確化します																
521310	建築確認申請事務	建築物	敷地、構造、設備、用途について、建築基準法に則している建築物となるよう指導することにより、住民の生命・財産の保護を図り、公共の福祉に資する。	18	1,220			1,220	確認申請進達件数	87						継続	現状の事務執行体制を継続するものとするが、平成21年度から県の窓口が但馬県民局新温泉庁舎から豊岡総合庁舎へ移転し、遠方となったこともあり、事務の効率化等検討の余地がある。
				19	1,220			1,220		69							
	20			1,499			1,499		64								
	21			1,499			1,499	件									



平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
521311	登記事務	公共の用に供するために取得した土地	公共の用に供するために取得した土地又は払下した土地の物理的状況、権利関係の登記申請を行う。	18	1,830			1,830	登記済率	100	4	4	4	4	A	継続	平成19年度中に当地域所管の法務局がオンライン指定庁に指定されたが、官公庁によるオンライン申請は確立されていないため申請行為を集約化し、事務の効率化を図る。
				19	1,525			1,525		100							
	20			2,098			2,098	100									
	21			2,098			2,098										
	建設課																
521312	官民有地境界協定事務	町道敷、里道敷、水路敷	町道敷、里道敷、水路敷と隣接土地の所有権の範囲を確定する。	18	3,050			3,050	協定率	100	4	4	4	3	A	継続	境界協定を実施した場合、道路敷地等の財産管理が容易となるため今後も積極的取組む。
				19	2,135			2,135		100							
	20			3,297			3,297	100									
	21			3,297			3,297										
	建設課																
521313	法定外公共物管理事務	里道敷、水路敷	道路法、河川法の適用を受けない里道敷、水路敷等の財産管理を行う。	18	1,220			1,220	占用料徴収率	100	4	4	4	4	A	継続	占用料の賦課時期について可能な限り年度当初に行い徴収事務を円滑に行う必要がある。用途廃止物件は短期間で処分できるよう引続き関係課と連携を密に行う。
				19	2,135			2,135		100							
	20			2,997			2,997	100									
	21			2,997			2,997										
	建設課																
521314	地籍調査事業	土地(新温泉町全域:224.20km <sup>2</sup> ) 〔但し、国土調査法19条5項指定区域及び国有林面積:16.80km <sup>2</sup> を除く:241.00-16.80=224.20km <sup>2</sup> 〕	地籍事業の推進により、土地境界の明確化を図る。併せて、未登記用地の登記処理を促進する。当面、池ノ尾線用地対象箇所を実施し、用地の県移譲推進を図る。	18					実施率	0.05352364	4	4	4	4	A	継続	①事業の円滑な進捗を図るべく、事業実施の取組み方(直営現地調査実施での人件費の検出)による補助予算の調整を行い、臨時職員を確保することにより事務処理(特に権利者調査・戸籍調査)の軽減は図れてきたが、現地調査直営事業による現場負担の増加が課題となっている。しかし、当面の間(2～3年)は本年度のやり方を継続しながら、委託・直営事業の配分調整について検討してゆく。
				19	5,809	4,502	2	1,307		0.704727921							
	20			30,544	24,011	11	6,533										
	21			33,730	27,197	2,197	6,533										
	農林水産課																
基本	5-2(2)①中心市街地の活性化を進めます																
522102	街路事業(浜坂西線)	都市計画道路浜坂西線	計画に基づく構造に整備することにより、車両通行の円滑化と安全な歩行空間を確保する。	18					事業進捗率		4	4	4	4	A	継続	国道178号との交差点計画及び都市計画変更に向けた関係機関協議
				19													
	20			2,238	1,339	1,339	899	0.4									
	21			899			899										
	建設課																
522103	駅前広場整備事業	既存浜坂駅前広場	将来整備予定の駅南駅前広場との機能分担を明確にし、環境空間機能、交流機能及び景観機能等の向上を図る。	18					事業進捗率		4	4	4	4	A	継続	将来の整備に向けて調整を進める。
				19													
	20			2,785	1,886	1,886	899	0.4									
	21			899			899										
	建設課																

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			事業進捗率	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案			
						一般財源	補助金										必要 性	有効 性	達成 度
522104	浜坂駅南北自由通路整備事業	浜坂駅南北自由通路	浜坂駅に近接して整備し、浜坂中心市街地の活性化及び住民の安心安全な生活の実現を図る。	18					事業進捗率		4	4	4	4	A	継続	自由通路の詳細設計を実施する。		
				19															
	20			2,785	1,886	1,886	899	0.4											
	21			14,899	14,000	14,000	899	%											
	建設課																		
522105	駅南交通ターミナル整備事業	浜坂駅南駅前広場	既存の駅前広場との機能分担を明確にし、駅南駅前広場に求められる機能整備を図る。	18					事業進捗率		4	4	4	4	A	継続	自由通路の詳細設計と併せて広場整備計画を作成する。		
				19															
	20			2,785	1,886	1,886	899	0.4											
	21			899			899	%											
	建設課																		
522106	都市計画街路事業(浜坂駅港湾線)	都市計画道路浜坂駅港湾線	計画に基づく構造に整備することにより、車両通行の円滑化と安全な歩行空間を確保する。	18	44,025	42,500		1,525	事業進捗率	100	4	4	4	4	A	継続	事業主体である兵庫県と協力しながら、事業の推進に努める。また、歩道の構造物に住民の意見を取り入れ工夫するとともに、街路樹の選定にも住民意見を取り入れる。		
				19	17,525	16,000	800	1,525										3.3	
	20			57,149	56,250	2,813	899	29											
	21			45,899	45,000	2,300	899	%											
	建設課																		
522110	中心市街地活性化推進事業	浜坂中心市街地のエリア(面積A=140ha)	中心市街地における購買力の増大、商業活力の強化により、中心市街地を活性化させることにより生活環境の改善と町のアイデンティティの回復を図る。また、全ての住民がより安全に安心して暮らせるまちづくりを目指す。	18	924	9		915	都市再生整備計画策定	1	4	4	4	4	A	継続	財政部局と調整を図りながら、まちづくり交付金事業の実施に向け調整を進める。		
				19	4,334	3,419	3,419	915											
	20			4,603	1,906	1,906	2,697	1											
	21			25,615	22,918	22,918	2,697	式											
	建設課																		
基本	5-2(2)③土地区画整理を進めます																		
522302	土地利用規制等対策事業	行政区域内の土地	投機的取引や地価の高騰を抑制するとともに、適正かつ合理的な土地利用の確保を図る。	18	617	7		610	土地売買等届出書の進達件数	3	始末書に係る進達件数	1	4	4	4	3	A	継続	届け出制(国土利用計画法)の存在自体が十分認識されていない状況があると考えられるため、広報を強化する必要がある。
				19	617	7		610											
	20			305	5		300												
	21			305	5		300	件											
	建設課																		

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	一般財源	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費													
基本	5-2(3)①交通手段の多様化を図ります																				
523101	湯村温泉へりポート管理	湯村温泉へりポート・町民	適正に管理する	18	8,114	7,870	260	244	発着回数	7	利用人数	45	4	3	2	2	B	終了			
	19			8,114	7,870	260	244	2		8											
	20			3,680	3,500	3,500	180	3		16											
	21							回		人											
	振興課																				
523102	ゆめぐりエクスプレスバス運行事業	観光客	観光客の利便性の向上を図る	18					利用人数(平均乗車人員)	3.77	利用者延べ人員	16497	3	3	3	3	B	事業のやり方改善	住民が利用しやすいダイヤの見直しを進めるとともに、鳥取砂丘への観光客をゆめぐりエクスプレスを利用して湯村温泉に誘致する。		
	19							3.7		12608											
	20			7,159	6,500	6,500	659														
	21			6,659	6,000	6,000	659	人		人											
	企画課																				
523103	バス対策(県単独路線維持)費補助事業金	バス利用者	バス路線の維持により利便性の向上を図る	18					延べ利用者				3	3	3	3	B	事業のやり方改善	効率的なダイヤの検討		
	19			13,876	13,876	6,938															
	20			2,618	1,959	980	659														
	21			—				人													
	企画課																				
523104	航空機利用助成事業	町民	各市町とも連携し、利用促進を目的とした助成制度等により利用促進を図る。	18					利用人数(一般)	27			3	3	3	3	B	事業のやり方改善	但馬空港は但馬地域の空の交通と防災拠点として、重要性を増してきており、羽田空港の滑走路増設に伴い東京直行便も検討されている。各市町とも連携し、利用促進を目的とした助成制度等により利用促進を図る。		
	19							28													
	20			2,812	2,153	2,153	659														
	21			2,474,400	2,474	2,474	659	人													
	企画課																				
523105	余部橋梁架け替え事業	町民	列車の定時性確保による信頼性向上により、観光客の増加と通勤、通学者の足の確保を図る	18	898	898	98		進捗率				4	4	4	4	A	継続	平成22年度末の完成に向けて整備が進んでいる。住民の長年の懸案でもあり、県、近隣市町との連携により新橋完成時には新型の列車を走行させることが現実となっている。完成で終わりではなく、今後の利活用促進に向けた取り組みを加速させる。		
	19			12,268	12,268	668		40.1													
	20			15,993	15,334	834	659														
	21			25,577	24,918	1,318	659	%													
	企画課																				
523106	総合交通事業・町民ふれあいの旅	町民	浜坂駅の活性化	18					参加人員				3	3	3	3	B	事業のやり方改善	取り組み開始後20年以上が経過。参加者と行き先に限られる。団体旅行の時代でもない。個人旅行への助成に切り替えるなど、はまかぜの更新にからめて検討する。		
	19																				
	20			747	88	88	659	102													
	21			747	88	88	659	人													
	企画課																				

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性	
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
523108	町民タクシー運行事業	対象地域の世帯	路線バス等公共交通機関が運行されていない交通手段の乏しい地域に居住する世帯の日常生活支援	18	3,013	1,732	1,732	1,281	利用回数		3	3	3	3	B	事業のやり方改善	対象地区世帯への利用促進に向けたPRに努めるとともに、交通政策全体の中で、町民バス路線が最低需用基準1人超/便に満たないバス路線については、町民タクシーへの転換を進め、効果的な公共交通のあり方を検討
				19													
	20			2,636	1,977	1,977	659	1639									
	21			3,009	2,350	2,350	659	回									
523109	町民バス事業	町民	町の身の丈にあった持続可能な交通体系	18					利用人員		3	3	3	3	B	事業のやり方改善	3か年の実証運行期間中にデマンドバスを活用するなど効率的なダイヤ編成に努める。22年度が実証運行の最終年度であり、期間中に得られたデータを参考に最低需用基準1人超/便に満たないバス路線については、別の手法への転換を進めることとするなど検討を重ね、23年度以降の本格運行につなげる。
				19													
	20			66,914	63,917	34,708	2,997	112620									
	21			127,160	124,163	80,424	2,997	人									
基本	5-2(3)②安全で効率的な道路網を整備します																
523202	町道維持管理	町道	町道を良好な状況に保つ	18	29,616	27,786	27,786	1,830	修繕件数	要修繕件数	4	4	4	4	A	継続	効率的に適正管理(修繕)を行う。
				19	28,141	26,555	26,555	1,586									
	20			36,548	25,097	25,097	11,451	57									
	21			119,888	108,437	108,437	11,451										
523203	町道除雪・消雪	冬期間の生活道路(町道の車道・歩道)除雪	消雪施設及び機械除雪により交通を確保する。	18	40,119	39,204	39,204	915	出勤率		4	4	4	4	A	継続	民間業者も含め安定的な除雪機械の確保を行う。
				19	77,827	74,782	74,782	3,045									
	20			49,272	43,187	43,187	6,085										
	21			72,682	66,597	66,597	6,085	%									
523204	町道改良事業	町道	町道を改良することで、生活環境・利便性の向上を図る。また、緊急車両等の迅速な移動を確保し、安心・安全なまちづくりに寄与する。	18	36,794	33,744	33,744	3,050			4	4	4	4	A	継続	過疎地域自立促進計画等に基づき、引き続き道路改良工事を行う。
				19	48,200	44,052	44,052	4,148									
	20			12,833	8,877	8,877	3,956	4									
	21			30,456	26,500	26,500	3,956										
523205	集落内狭小道路整備事業	国県町道以外の集落内道路	全幅2m未満を2m以上に改良する。	18					狭小道路整備率(単年)		4	4	4	4	A	継続	事業要望件数は少ないが、狭小な生活道路を拡幅することにより、車両の通行が可能となるため、快適な生活環境を創出し民生向上が図れる。
				19	1,061	1,000	1,000	61									
	20			756	696	696	60										
	21							%									

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案	
						一般財源												
523206	町道簡易舗装材料支給	集落などの受益者	町が材料支給をして、集落などの受益者が事業実施することで最少経費で町道の利便性を図る。	18	421	360	360	61	簡易舗装延長	100	4	4	4	4	A	継続	各地区などの受益者が事業実施することで経費が軽減でき町道の利便性が図れるので、継続実施する。	
				19	737	255	255	482	50									
	20			439	319	319	120	59										
	21			457	337	337	120	m										
	建設課																	
523207	浜坂地区下夕山公共建設残土処分場運営事業	建設残土の処分を必要とする国・県・町及び民間事業者	国道178号東浜居組道路改良事業により発生する建設残土、及びその他の町内の公共事業等で発生する建設残土を受け入れる処分場を県、町共同で確保、運営し、公共建設事業等の円滑な遂行に寄与する。	18	319,308	304,736	△ 14,572	14,572	受け入れ土量	312658	4	4	4	4	A	継続	第1期(県協定期間 16年度～20年度)の居組インター土工を核とする、大量、一括した建設残土の受け入れであったが、平成21年度の事業推進については、一般利用分のみ取り扱いとなる。一般利用規模の具体的数量の掌握は現時点では困難であるが、公共建設事業縮小の流れのなかで、今までどおりの使用料収入確保は困難であると推測される。今後は、事業終了時期を視野に入れ、事業規模を縮小、見直しながら継続検討します。	
				19	121,082	104,935	△ 16,147	16,147	121275									
	20			63,421	55,603	△ 16,196	7,818	67392										
	21			56,156	48,338		7,818	トン										
	建設課																	
523209	用地取得事務	公共の用(町道)に供するために必要な土地	公共の用(町道)に供するために必要な土地を取得する。	18	6,100			6,100	契約率	85	4	4	4	4	A	継続	道路拡幅改良を進めることにより一層の利便性と安全性の向上を図る。	
				19	7,625			7,625	100									
	20			8,691			8,691	100										
	21			8,691			8,691	%										
	建設課																	
523210	温泉地区下十字谷残土処分場運営・管理事業	温泉地域発生 の処分を必要とする国・県・町及び民間事業者建設残土受け入れ	町内の公共事業等で発生する建設残土を受け入れる処分場を確保、運営し、公共建設事業等の円滑な遂行に寄与する。	18					受け入れ土量	23367	4	4	4	4	A	継続	温泉地域内での大型プロジェクトがほぼ完成を見、緊縮財政の中で公共事業の減少が大きくなるのが考えられる。	
				19	35,631	33,562	33,562	2,069	21525									
	20			26,813	24,744	24,744	2,069	19391										
	21			28,871	20,154	20,154	8,717	m3										
	産業建設課																	
基本	5-2(4)①安全で安定的な水道水を供給します																	
524104	水道施設の維持管理	水道施設	施設を効率的かつ適正に維持管理し、安心・安全な水を安定的に供給するとともに、経費の節減を図る。有収率の向上を図る。	18	348,010	338,250		9,760	有収率	82	水質の確保	4	4	4	4	A	継続	日・週・月・随時、施設点検を行い、施設の運転状況等の異常の早期発見に努め、水道法等に基づく内部・外部の水質検査を実施する。
				19	356,243	346,788		9,455	85									
	20			211,169	201,938		9,231	87										
	21			260,216	250,985		9,231	%										
	上下水道課																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18～20決算額・H21予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性		
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費				人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
						一般財源											
524105	水道使用量検針	水道使用者	使用水量を適正かつ効率的に検針し、公平で適正な水道料金を算出し収入を図る。経営基盤の安定化を図る。有収率の向上を図る。	18	4,909	3,079		1,830	適正検針率		4	4	4	4	A	継続	各戸検針については、より正確かつ効率的に検針するため、ハンディターミナルを導入する。
				19	4,767	2,937		1,830									
	20			5,578	3,900		1,678	100									
	上下水道課			21	9,838	8,151		1,687	%								
524106	水道施設整備計画	水道施設	安心・安全な水を町民に安定的に供給する	18					施設整備計画策定		4	4	4	4	A	継続	安心・安全な水を町民に安定的に供給するため、早急に水道施設の整備を実施する。
				19													
	20			2,817			2,817	3									
	上下水道課			21	2,817			2,817	件								
524107	水道工事の設計・施工・監督	水道施設の工事	安心・安全な水を安定的に供給できるようにライフラインを確保する。	18					工事完了		4	4	4	4	A	継続	水道の供給は、町民の生命に関わり、水道施設を良好に保つための設計・施工・監督は重要なものであるため、今後も継続する。
				19													
	20			9,419	4,144		5,275	12									
	上下水道課			21	97,860	92,585		5,275	件								
524110	給水設備の適正審査	屋内給水工事	各戸の屋内給水工事について、給水装置基準に基づいた施工の推進を図る。水道水の漏水、装置のトラブルなどを防ぎ水道施設の保護を図る。	18	3,660			3,660	許可		4	4	4	4	A	継続	公認業者からの給水工事申請書の審査を行い、適正な給水装置の設置を推進している。さらに、指導等により公認業者の育成に努める。
				19	3,538			3,538									
	20			3,417			3,417	35									
	上下水道課			21	3,417			3,417	件								
524111	水道使用料等徴収	水道使用者	水道使用料を正確かつ効率的に検針し、公平で適正な水道料金を算出し収入を得て経営基盤の安定を図る。徴収率の向上を図る。	18	12,184	4,864		7,320	徴収率		4	4	4	4	A	継続	複数の徴収班を編成し、滞納対策の強化を図る。給水停止も視野に入れ検討する。
				19	12,522	5,202		7,320									
	20			11,408	5,953		5,455	98									
	上下水道課			21	12,586	7,131		5,455	%								
524112	水道使用料改定	水道使用料	公平で適正な水道使用料に改定し、経営基盤の安定を図る。	18					料金回収率		4	4	4	4	A	終了	
				19													
	20			1,618			1,618	80.33									
	上下水道課			21					%								

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額			指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	単位:千円				人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案	
						事業費	一般財源											
524114	温泉配湯施設の維持管理	温泉施設、源泉	安定的な湧出量・湧出温度を確保し、配湯量の安定供給を図る。安定的・効率的な稼働を維持し、経費節減を図る。	18	46,451	41,571		4,880	湧出量・湧出温度	100							継続	安定的・効率的な稼働を維持し、経費節減を図る。有収率の向上を図る。
				19														
	20			41,808	37,852		3,956		100									
	21			52,571	48,615		3,956	%										
	上下水道課																	
524115	温泉使用量検針	温泉配湯使用者	使用湯量を正確かつ効率的に検針し、公平で適正な温泉使用料を算出し収入を得て経営基盤の安定を図る。	18	2,177	957		1,220	適正検針率								継続	各戸検針については、より正確かつ効率的に検針するため、ハンディターミナルの導入をする。
				19	2,166	946		1,220										
	20			1,832	753		1,079		108.99									
	21			2,313	1,234		1,079	%										
	上下水道課																	
524116	温泉使用料等徴収	温泉配湯使用者	使用湯量を正確かつ効率的に検針し、公平で適正な温泉使用料を算出し収入を図る。経営基盤の安定を図る。徴収率の向上を図る。	18	2,175	955		1,220	徴収率	99							継続	複数の徴収班を編成し、滞納対策の強化を図る。給湯停止も視野に入れ検討する。
				19	2,225	1,005		1,220										
	20			4,584	1,407		3,177		98									
	21			4,611	1,434		3,177	%										
	上下水道課																	
524117	配湯設備の適正審査	屋内配湯工事	各戸の屋内配湯工事について、配湯装置基準に基づいた施工の推進を図る。温泉の漏湯、装置のトラブルなどを防ぎ配湯施設の保護を図る。	18	1,525			1,525	許可								継続	公認業者からの配湯工事申請書の審査を行い、適正な配湯装置の設置を推進している。さらに、指導等により公認業者の育成に努める。
				19	1,342			1,342										
	20			1,319			1,319		2									
	21			1,319			1,319	件										
	上下水道課																	
524118	温泉配湯施設整備計画	温泉配湯施設	安心・安全な温泉水を町民に安定的に供給する	18					診断報告書								継続	安心・安全な水を町民に安定的に供給するため、温泉配湯施設整備計画の検討を継続する。
				19														
	20			3,289	1,850		1,439		1									
	21			1,439			1,439	件										
	上下水道課																	
524119	温泉配湯工事の設計・施工・監督	温泉配湯施設の工事	安心・安全な温泉水を安定的に供給できるようにする。	18					工事完了							継続	温泉配湯施設を良好に保つため、設計・施工・監督を継続実施する。	
				19														
	20			4,059	2,441		1,618		1									
	21			3,543	1,925		1,618	件										
	上下水道課																	

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性					
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						総事業費	事業費	一般財源	人件費	必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案
					総事業費	事業費	一般財源	人件費													
基本	5-2(4)②生活排水の浄化に努めます																				
524201	下水道施設維持管理事業	処理施設、ポンプ施設、管路施設	生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るべく、安定した処理機能ならびに良好な放流水質を確保する。	18	174,038	168,548		5,490	処理水量(流入) 【浜坂地域】	901658	処理水量(流入) 【温泉地域】	467391	4	4	4	4	A	継続	委託内容については平成21年度が長期継続契約の最終年度であり継続となる。長期継続契約がコスト縮減に繋がったことを踏まえて次回の委託についても長期契約の準備を行なう。		
				19	157,339	150,629		6,710													
	20			182,062	176,187		5,875														
	21			198,759	192,884		5,875														
	上下水道課							m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>											
524202	下水道接続促進事業	未接続施設の所有者	85%の接続目標を設定し、早期接続を促進する。	18	9,991	3,891	3,891	6,100	接続率 【浜坂地域】	69	接続率 【温泉地域】	60.1	4	4	4	4	A	継続	留守等により未調査となっている未接続施設の調査を継続する。		
				19	6,506	1,016	1,016	5,490												71.7	66.3
	20			3,896			3,896	73.7	69.8												
	21			3,896			3,896	%	%												
	上下水道課							%		%											
524205	排水設備工事申請・検査事業	接続予定者及び町排水設備指定工事店	宅内排水設備工事の適正な設計施工を確保する。	18	2,745			2,745	適正工事割合 【浜坂地域】	100	適正工事割合 【温泉地域】	100	4	4	4	4	A	継続	排水設備計画確認申請書について、設計審査、完了検査を行うことで適正な設計施工を確保されているので継続する。		
				19	2,013			2,013												100	100
	20			4,675			4,675	100	100												
	21			4,675			4,675	%	%												
	上下水道課							%		%											
524206	合併処理浄化槽設置整備事業	戸別処理区域(春来、高山、数久谷、竹田・後山、熊谷、伊角、松尾、宮脇、内山、越坂、海上、前、青下、霧滝)にある専用住宅が対象。	合併処理浄化槽を設置し、水質汚濁防止を図る。	18	10,065	7,320	5,902	2,745	接続率				4	4	4	4	A	継続	平成20年度に補助金要綱を改正し継続。		
				19	8,985	6,240	5,064	2,745													
	20			6,732	6,013	4,867	719	71.4													
	21			1,601	882	882	719	%													
	上下水道課							%													
524207	水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給事業	水洗便所等改造資金融資対象者	下水道接続率の向上	18					接続率	66.1			4	4	4	4	A	継続	水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給(H19~H21適用)を継続し接続促進を図る。		
				19																70	
	20			1,527	28	28	1,499	72.4													
	21			1,913	414	414	1,499	%													
	上下水道課							%													
524208	水洗便所等改造奨励金交付事業	旧温泉町集合処理区域内の住宅の所有者又はその所有者の同意を得た使用者で、住宅の水洗便所等の改造を行う者	平成25年度85%の接続目標を設定し、接続を促進する。	18					接続率	60.1			4	4	4	4	A	終了			
				19																66.3	
	20			380	80		300	69.8													
	21							%													
	上下水道課							%													



平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有 効 性	達 成 度	効 率 性	総合	区分	改革・改善案		
					総事業費	事業費	一般財源	人件費											
524209	下水道負担金・分担金・ 使用料の賦課・徴収事業	下水道使用者	下水道使用料を正確かつ効率的に検針し、公平で適正な下水道料金を算出し収入を得て経営基盤の安定を図る。徴収率の向上を図る。	18					徴収率		4	4	4	4	A	継続	使用量を正確かつ効率的に検針し、公平で適正な下水道料金を算出し収入を得る。滞納者に対しては、訪問等徴収対策を継続。		
				19															
	20			11,424	3,152		8,272	99.5											
	21			12,338	4,066		8,272	%											
基本	5-2(5)①地域情報基盤の整備と充実を進めます																		
525101	CATV推進事業	町民	高速通信網の整備による地域情報化	18					加入見込み		2	4	3	4	C	事業のやり方改善	住民の合意形成を図りつつ、事業のやり方について検討する。		
	19							900											
	20			34,988	23,000	23,000	11,988												
	企画課			21	5,994			5,994	戸						C	事業のやり方改善	情報通信基盤整備事業のやり方について検討するとともに、住民の合意形成に努める。		
525102	CATV加入促進	CATV、各種サービスの未加入者	加入者を増やし、自主財源確保をする。	18					体験広場参加者人数		3	4	4	4	A	継続	継続して各種サービスの加入者促進を図る。		
	19																		
	20			3,120			3,120	47											
	21			3,120			3,120	人											
	CATV事業室								件										
施策	5-3地球環境に優しいまちづくり																		
基本	5-3(1)①ごみの減量化を進めます																		
531101	ごみ収集業務	町内住民・事業者	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	18					収集量	4642	一人1日 当り(事業所収集含む)	703	4	4	4	4	A	継続	更なるごみ出しのルールを排出者に周知し、リサイクル率の向上を図る。
	19			90,327	89,168	89,168	1,159	4486		692									
	20			94,037	89,943	89,943	4,094	4223		662									
	21			93,998	89,904	89,904	4,094	t		g									
	町民課																		
531104	生ごみ自家処理容器購入助成事業	申請者	家庭から出される生ごみの減量、再資源化の推進を図る	18					設置数		3	3	3	3	D	廃止	所期の目的を達成したため廃止		
	19			873	507	507	366												
	20			1,506	726	726	780	1567											
	21							件											
	町民課														D	廃止	一次評価どおり事業を廃止する。		

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		単位:千円						必要 性	有効 性	達成 度	効率 性	総合	区分	改革・改善案		
					総事業費	事業費	一般財源	人件費											
基本	5-3(1)②ごみを適正に処理します																		
531202	ごみ処理施設運営	ごみ排出者 (全町民及び 町内事業所) 17,477人	廃棄物を適正に処理することにより町内の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る	18					処理量	移動停止 延日数		4	4	4	4	A	継続		
				19															
	20			130,292	96,023	96,023	34,269	5585	55										
	21			156,494	126,395	126,395	30,099	t	日										
	町民課																		
531203	し尿処理施設運営	町内(生し尿、 浄化槽汚泥排出者)	町内で発生した、生し尿及び浄化槽汚泥を収集運搬し、適正に処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	18					処理量			4	4	4	4	A	継続		
				19															
	20			54,632	24,011	24,011	30,621	4589038											
	21			53,839	23,218	23,218	30,621	リットル											
	町民課																		
531204	クリーン大作戦の実施	町民	自然環境の保全と美化意識の高揚を図る。	18					回収量	18.52	参加人数	4	4	4	4	A	継続	住民参加によるクリーン作戦を継続、拡大していく。	
				19	17	17	17												15.9
	20			420			420	17.69	3950										
	21			420			420	t	人										
	町民課																		
531205	不法投棄対策	町民	不法投棄ごみの撲滅	18					回収個数	134		4	4	4	4	A	継続	担当課だけではなく、警察や区など関係機関と協力し、不法投棄ごみを撲滅する	
				19	211	211	211												51
	20			510	30	30	480												
	21			3,469	2,989	2,989	480	個											
	町民課																		
基本	5-3(1)③公害防止を進めます																		
531301	河川水質検査	町民	河川の汚れ具合を調査し、水環境の保全を図る。	18					環境基準 値外数			3	3	3	3	B	事業の やり方 改善	検査対象河川の見直しをする。	
				19	549	549	549												0
	20			644	524	524	120												
	21			456	336	336	120	件											
	町民課																		

平成21年度(H20実績) 事務事業評価結果一覧表

※二次評価実施…『NO欄』を網掛けしている事務事業  
 ※今後の方向性…上段:一次評価、下段:二次評価

No	事務事業名 担当課	目的		年度	H18~20決算額・H21予算額				指標1 (成果指標)	指標2 (成果指標)	評価					今後の方向性			
		対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		総事業費	事業費		人件費			必要性	有効性	達成度	効率性	総合	区分	改革・改善案		
						一般財源													
531303	新温泉町環境保全推進協議会運営	新温泉町環境保全推進協議会委員	ごみ問題を始め、環境問題全般について協議いただき、快適な生活環境の推進と保全を図る。	18					協議件数		4	4	4	4	A	継続	快適な生活環境の推進と保全を図るため、今後も協議を継続する。		
				19	40	40	40	5											
	20			287	47	47	240												
	21			307	67	67	240												
	町民課																		
531304	ゴルフ場公害監視	ゴルフ場下流住民	農業用水や水道水を安心して使用できる	18	1,932	1,017	1,017	915	水質検査基準超過回数		2	4	4	4	C	事業のやり方改善	業務のやり方改善 「ゴルフ場の農業は安心です」と言っても信用を得られない、水質検査数値を示しても理解が難しい。 ゴルフ場の農業に関する住民知識の向上		
				19	1,805	1,005	1,005	800										0	
	20			1,171	494	494	677	0											
	21			1,981	1,304	1,304	677												
	住民福祉課													A	継続	公害の発生を未然に防止し、町民の生活環境を保全するため継続実施			
基本	5-3(2)①ごみの資源化を進めます																		
532101	資源ごみ集団回収運動奨励事業	区、町内会、婦人会、子ども会、PTA、老人会、青年団、学校等の各種団体	新聞、雑誌など町が分別収集をしていない品目について、資源回収では対象品目となっており、資源の再利用のため、本事業を活用していただき、ごみの減量を図りたい。	18	3,753	3,753	3,753		回収量	944429		4	4	4	4	A	継続	集団回収活動は、資源化・減量化という観点で有効であるばかりでなく、地域のコミュニティの育成にも役立つものであることから、今後も奨励金を継続する。	
				19	3,634	3,634	3,634												922318
	20			2,925	2,625	2,625	300	891705											
	21			3,130	2,830	2,830	300	kg											
	町民課																		
基本	5-3(2)③温泉を保護し、有効に活用します																		
532302	地熱対策事業	源泉保護	温泉の保護	18	3,592	2,616	2,616	976	協議件数		異常源泉		4	4	4	4	A	継続	事業があれば実施
				19	1,563	587	587	976											
	20			1,856	1,257	1,257	599												
	21			2,726	2,127	2,127	599												
	商工観光課																		